

平成30年

予算特別委員会

3月13日

豊明市議会

予 算 特 別 委 員 会 会 議 録

平成30年 3 月13日

午前10時00分 開議

午後 6 時22分 閉議

1. 出席委員

| | | | |
|-----|----------|------|---------|
| 委員長 | 近 藤 善 人 | 副委員長 | 鵜 飼 貞 雄 |
| 委員 | 富 永 秀 一 | 委員 | 後 藤 学 |
| 委員 | 郷右近 修 | 委員 | 清 水 義 昭 |
| 委員 | 近 藤 ひろひで | 委員 | 蟹 井 智 行 |
| 委員 | 宮 本 英 彦 | 委員 | ふじえ 真理子 |
| 委員 | 村 山 金 敏 | 委員 | 近 藤 千 鶴 |
| 委員 | 早 川 直 彦 | 委員 | 山 盛 さちえ |
| 委員 | 杉 浦 光 男 | 委員 | 毛 受 明 宏 |
| 委員 | 近 藤 郁 子 | 委員 | 三 浦 桂 司 |
| 委員 | 一 色 美智子 | | |
| 議長 | 月 岡 修 一 | | |

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

| | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 議会事務局長 | 石 川 晃 二 | 議事課長 | 鈴 木 美智雄 |
| 庶務担当係長 | 長 野 直 之 | 議事担当係長 | 水 野 美 樹 |
| 議事課主事 | 荻 正 幸 | | |

4. 説明のため出席した者の職、氏名

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 市 長 | 小 浮 正 典 | 副 市 長 | 坪 野 順 司 |
| 教 育 長 | 伏 屋 一 幸 | 行政経営部長 | 石 川 順 一 |
| 市民生活部長 | 吉 井 徹 也 | 健康福祉部長 | 藤 井 和 久 |
| 経済建設部長 | 相 羽 喜 次 | 消 防 長 | 土 屋 正 典 |
| 教 育 部 長 | 加 藤 賢 司 | 経済建設部次長 | 岩 瀬 雅 哉 |
| 経済建設部次長 | 麻 生 亨 | 秘書広報課長 | 平 下 義 之 |
| 企画政策課長 | 小 串 真 美 | 財 政 課 長 | 伊 藤 正 弘 |

| | | | |
|-----------|-------|-----------------|-------|
| 総務課長 | 佐藤浩一 | 税務課長 | 加藤健治 |
| 市民課長 | 服部英俊 | 健康推進課長 | 二宮眞由美 |
| 産業振興課長 | 宇佐見恭裕 | 土木課長 | 鈴木英樹 |
| 都市計画課長 | 近藤潔 | 下水道課長 | 花木喜久治 |
| 環境課長 | 相羽敏明 | 消防総務課長 | 稲垣聡 |
| 消防署長 | 毛受淳一 | 学校教育課長 | 馬場秀樹 |
| 学校支援室長 | 下出修史 | 生涯学習課長 | 高木安司 |
| 図書館長 | 糸和広 | 企画政策課長補佐 | 浦倫彰 |
| 企画政策課長補佐 | 杉本英二 | とよあけ創生 推進室長 | 川島康孝 |
| 防災防犯対策室長 | 石川賢治 | 市民課長補佐 | 有川尚子 |
| 健康推進課長補佐 | 川原静恵 | 産業振興課長補佐 | 石川悟 |
| 地域活性化推進室長 | 秋永亘正 | 土木課長補佐 | 加藤忠 |
| 土木課長補佐 | 星子恭士 | 都市計画課長補佐 | 中野忠之 |
| 市街地整備推進室長 | 河北裕喜 | 下水道課長補佐 | 外山紀元 |
| 環境課長補佐 | 西山紳 | 環境課長補佐 | 堅田直寛 |
| 消防総務課長補佐 | 相木義博 | 消防総務課長補佐 | 羽場浩一郎 |
| 消防総務課長補佐 | 和藤健 | 消防総務課長補佐 | 秋田公泰 |
| 学校教育課長補佐 | 後藤明紀 | 学校教育課長補佐 | 石川広 |
| 生涯学習課長補佐 | 青木由美枝 | 生涯学習課長補佐 | 稲熊篤子 |
| 財政担当係長 | 萩野昭久 | 防災担当係長 | 寺村健一 |
| 商工・観光担当係長 | 山田康晴 | 地域活性化 推進担当係長 | 塚谷友昭 |
| 計画建設担当係長 | 北川宜志 | 市街地整備 推進担当係長 | 松本祐介 |
| 図書担当係長 | 吉澤由美 | | |

5. 傍聴議員

なし

6. 傍聴者

なし

午前10時開議

○予算特別委員長（近藤善人議員） おはようございます。定刻に出席をいただきましてありがとうございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから予算特別委員会を開会いたします。

昨日の続き、4款より始めさせていただきます。

本日は総括の質疑まで行いたいと思いますので、皆様の御協力よろしくお願いたします。

なお、傍聴については、申し合わせに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴の入室を許可いたします。

それでは、4款 衛生費について、順次説明を願います。

二宮健康推進課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） それでは、平成30年度一般会計予算のうち、4款の健康推進課所管分につきまして、主なものを御説明申し上げます。

歳出より御説明をいたしますので、予算書の160、161ページをごらんください。

4款 衛生費、1項 保健衛生費、保健衛生事業は、前年度当初予算より541万8,000円減額しています。これは、尾張東部地域救急医療対策協議会負担金及び不妊検査及び不妊治療費助成金を組み替えしたためです。

2目 母子保健費、1 母子保健活動事業の説明欄をごらんください。3段目、各種診断等業務は、前年度当初予算より育児休暇保健師の代替職員分の506万円を減額しております。下から9段目、上から12段目です。乳児及び妊婦健診委託料は、産婦健診2回分となり、前年度予算より314万6,000円の増額です。下から2段目、不妊検査及び不妊治療費等助成金は、保健衛生事業から組み替えをしたものです。

2 子育て予防接種事業、子どもの予防接種及び大人の風疹予防接種の分になります。予防接種委託料、ロタウイルスの予防接種委託分を前年度より122万5,000円増額し、予防接種等費用助成金では、ロタウイルスの予防接種の122万5,000円分を減額しております。

162ページ、163ページをごらんください。

3目 健康推進費です。1 健康推進活動事業、こちらは各種がん検診等健康推進事業分になります。説明欄4段目をごらんください。消耗品費では、乳がんの自己検診の推進のため、セルフチェックシート及び乳がん自己検診グローブ分を計上しています。概要の24ページに記載しております。8段目、成人病診断等委託料は、前年度当初予算より1,147万8,000円増額しております。主たる要因は、はつらつ健診及び胃の内視鏡検査の受診人数の増加を見込んでおります。

164ページ、165ページをごらんください。

5目 保健センター運営費は、前年度より58万5,000円の減額です。こちらはファミリー・サポート・センターの保険及び公用車に関する修繕費、保険等につきまして、母子保健活動費に計上しましたので減額になっております。

166ページ、167ページをごらんください。

6目 休日診療所運営費は、前年度より289万6,000円の増額になっています。主たる要因は、説明欄下から3段目、尾張東部地域救急医療対策協議会負担金を保健衛生事業費から組み替えをしたためです。また、10段目の医薬材料費50万円も増額しております。30年度は休日診療所の開設日が1日ふえ、72日になるため各報酬が増額されております。

続きまして、歳入について御説明をいたします。

36ページ、37ページをごらんください。

12款 使用料及び手数料、1項 使用料、3目 衛生使用料、1 保健衛生使用料、休日診療所の窓口収入及び各種保険から入る使用料になります。

続きまして、46、47ページをごらんください。

下の段、13款 国庫支出金、2項 国庫補助金、3目 衛生費国庫補助金、1 衛生費補助金、母子保健衛生費補助金につきましては、産婦健診、産後ケア事業の2分の1の補助金になります。

続きまして、80ページ、81ページをごらんください。

19款 諸収入、5項 雑入、説明欄一番下の後期高齢者医療広域連合受託事業収入3,338万4,000円は、後期高齢者医療連合受託事業の健診の受診者の増加見込みから前年度当初予算より619万3,000円の増額を見込んでいます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 続けてお願いいたします。

相羽環境課長。

○環境課長（相羽敏明君） それでは、環境課所管の平成30年度当初予算について、主に大きく変更のあった点について御説明いたします。

それでは、初めに、歳出から説明いたします。

当初予算書の162、163ページをお開き願います。

まずは、4目 環境衛生費の環境衛生事業については、大きな増減はありません。

次に、166、167ページです。

7目 公害対策費の公害対策事業は、前年度比約190万円の増額ですが、これは説明欄の下のほうにあります生活排水対策推進計画策定業務委託料を計上しているためでございます。

す。

1枚はねていただき、4款2項1目 清掃総務費の清掃人件費は、前年度比約140万円の増額ですが、これは職員1名増によるものでございます。その下、東部知多衛生組合負担金事業は前年度比約2億8,000万円の増額でございますが、これは東部知多衛生組合で行う新ごみ処理施設建設工事費用の増額によるものでございます。その下の清掃事業は、前年度比約160万円の減額ですが、これは資源回収交付金を実績により見直したことによる減額が要因でございます。

1枚おめくりいただき、2目 塵芥処理費、塵芥処理事業は、前年度比約1,170万円の減額ですが、これは前年度において塵芥車購入費を計上していたことが要因でございます。

その下の塵芥処理事務事業はほぼ同額ですが、この中に消耗品費として、当初予算の概要25ページにあります主要事業に、食品ロス削減PR事業として、食品ロス削減のためのPRグッズ購入費用が含まれております。また、最下段の有機循環推進事業は前年度比約210万円の減額ですが、これは土地等借上料として山田試験農園の借地終了及び堆肥センターの土地借用期間の減少による減額が要因でございます。この土地等借上料については、堆肥センターの借地分として6カ月分計上しております。堆肥センターについては、解体工事と農地造成工事の費用を昨年6月にお認めいただきましたが、この予算の策定時までに土壌調査が完了していなかったため、重大な支障が発生することも想定し、汚染土壌処理のための工事期間、工事延長による借地延長も考えました。しかし、年度内での工事完了の予定ですので、これの執行予定はありません。

また1枚おめくりいただき、172、173ページにあります3目 し尿処理費については大きな増減はありません。

以上で歳出予算の説明を終わります。

次に、歳入予算の主なものを説明いたします。

ページを戻していただき、40、41ページをごらんください。

最下段の環境衛生手数料、前年度比約52万円の減額は、し尿くみ取りの件数の減少による手数料の減額及び次のページの上から3つ目にございます粗大ごみ収集手数料の減額が要因であります。

次に、84、85ページをお開き願います。

諸収入、雑入でございます。右側85ページ、説明欄の上から2つ目の環境課雑入からページの中ほど、草刈機貸付料までが環境課分でございます。

以上で環境課所管の予算説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 続けてお願いいたします。

服部市民課長。

○市民課長（服部英俊君） それでは、市民課所管の30年度当初予算について御説明いたします。

歳出予算からお願いします。

予算書の164ページ、165ページをお開きください。

4款1項3目 環境衛生費、右のページの中ほどにあります。2 火葬場等使用委託事業の987万5,000円は前年と同額です。知立市の火葬場の使用料でございます。

続きまして、歳入予算を御説明します。

81ページをお開きください。

19款 雑入、5項4目6節 雑入、説明欄の下から9行目、火葬場等使用実費徴収金987万5,000円は、歳出予算で説明しました火葬場等使用委託料と同額を計上しております。その下の火葬場等使用料滞納繰越分17万円は、前年度以前の火葬料未徴収分に係るものです。

以上で市民課所管の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。

4款 衛生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 当初予算の概要の24ページの下です。

乳がん早期発見啓発事業27万円についてお聞きします。下の2行に、乳がん検診受診者と若い世代を対象にセルフチェック、グローブを配布という御説明がありましたが、若い世代、どのぐらいまでの年代と、あと幾つ、いつ、どこでもらえるかということの説明をお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 若い世代につきましては、保健センターで実施してる2歳3カ月児の歯科健診の場で保健師が問診をとる場で、お一人ずつに説明をしながらお渡しする予定です。大体、出生数になるので550から600人と予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 概要の44ページ、塵芥処理費、4項2項2目 塵芥処理事務事業、食品ロス、こっちのほうがわかりやすいですね。25ページ、食品ロス削減PR事業ということ

で、223万円のうち24万円を事業に充てるということですが、先ほどPRグッズと言いましたけども、紙芝居は既に作成していることと聞いておりますので、ほかのPRグッズは何か考えておられますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 今年度は、委員の言われたようなもの以外に食品ロス削減のPRのためにチャック式ポリ袋を作成いたしました。来年度につきましては、飲食店向けにPRしていきたいというふうに考えておりました、例えば食品ロス削減協力店を明示したのぼりだとか、コースター、ポップなどを考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 先ほどのふじえ委員のところの関連、24ページの下の乳がんの検診のことなんですけども、これは2歳3カ月健診の間診のときだけにお渡しするという事で間違いなかったですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） グローブについては、2歳3カ月児健診のときにお渡しします。セルフチェックシートにつきましては、乳がん検診を受けた受診者の方に乳がんの自己検診法の教育をして、その場でお渡しします。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じところなんですけども、これ、新規・臨時・既存拡大等予定事業というホームページに上がっているやつを見ると、臨時ということになっているんですけど、これは1年とかの予定ですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） できれば継続を、担当としてはしていきたいと考えております。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 167ページ、1項7目 公害対策費の生活排水対策推進計画策定業務委託料の中身って何でしたっけ。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） まず、この計画なんですけれども、平成5年当時に、境川流域の生活排水による水質汚濁の防止のため、県のほうから生活排水重点地域ということで指定をされました。これは水質汚濁防止法に基づきまして、指定された地域につきましては、生活排水対策推進計画というものを策定する義務がございます。それによって、この流域の例えば公共下水道の整備や浄化槽の整備というものを掲げて水質の浄化を図ると、水質汚濁を防止するという、そのような内容でございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 生活排水ということなので、何か抽出を何件かして、家庭の生活排水とか成分だとかをはかったり、あとそれで何か対策を考えたりとかいうことではないんですかね。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 毎年、ため池だとか排水路、あと河川について、毎年定期的に検査をしております。それらの数値をもちろん使用して、この計画に反映させていくということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 豊明市は広域下水が入っていますし、今後農水も広域下水に接続していくということで、生活排水が直接川の、境川の汚染というか質の悪化につながるというのはそんなにかないのかなと思っていたんですが、下水に直接つながっていない調整区域の一部のところの対策という、そういうことになってくるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 生活排水で、例えばくみ取りの家庭だとか、あと単独の浄化槽の家庭もございます。それらを、公共下水あるいは家庭浄化槽への移行というようなこ

とも含めて計画をつくっていくということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 例えば、合併浄化槽だと毎年予算で計上されてるんですが、目標値としてどれだけを合併浄化槽に入れかえたいとか、そういう部分まで細かく計画を練って、次年度以降の予算に反映させるということなんでしょうか、この計画は。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 詳細については決めてまいりたいと思います。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 今、答弁の中で、合併浄化槽のその汚水というか排水されたものも広域下水に接続するようなことも含めて計画の中でと言われたというふうに聞いたんですが、ということは、公共下水の流域というか区域を拡大するという計画もこの中に入ってきちゃうということですか。もう一度お願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 合併浄化槽ということではなくて、単独の浄化槽を合併浄化槽に誘導していくというようなことでございますので。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 合併浄化槽が、補助金を出して、奨励といいますか推進しておるわけですが、私の知っているところでも、合併浄化槽を設置しているのに、近くを通ると排水が物すごくにおうようなところがあるんですけども、ああいう合併浄化槽の定期点検とかそういったようなことは環境課のほうで指導はしてみえるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 浄化槽については、監督官庁が県ということとなっておりますので、私どものほうにその調査結果というものは参りますけども、個々に指導はしておりません。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 予算書43ページの手数料収入について、2件お伺いします。

上から3段目の粗大ごみの収集手数料の件数が、去年も3,405件からことし3,184件というふうで……。

（円の声あり）

○近藤ひろひで委員 円か、ごめんなさい。じゃ、円だ。300万か。340万5,000円からこの金額になって、粗大ごみが、こういうふうに予算を縮小して、当然何か要因があって毎年減らしてて、実績もそうになってきていると思うんですけど、そのこういう予算組みをした要因を教えてほしいのと、その下の狂犬病の予防手数料の金額は全く同額なんですけど、これは実績的にそうなのかな。それと予算なんですけど、これ、隠れペット保有者というのはすごくいるんですね、登録せずに。そういうところもいろいろ努力されて、そういうことも含めたこの件数、予算ということなんですか。2点教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） まず、粗大ごみの収集手数料でございます。個数も年々減っているということでございます。このような積算となって、昨年と減らしているということでございます。

狂犬病予防手数料につきましては、同額ではございますが、これについては年々上がったり下がったりというようなところもございますので、昨年と同額とさせていただいたということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 今回の粗大ごみのは、実質下がってきてるからこの予算を組んでるということでもいいんですね。年々粗大ごみというのは下がりつつあるということなんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 年々下がっております。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 概要の44ページのさっきの塵芥処理費のところ、有機循環推進事業の、これ、堆肥センター廃止に伴う半年分と聞いたんですけど、今、これ、167万というのは、土地借上料ですけども、工事が終了しないと思って計上したんですか。ちょっと説明のほうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 今年度、土壌調査を実施しましたが、予算の策定時において、まだ土壌調査が完了していなかった。そうすると、まだ何が出るかわからない、重大な支障が出るかもしれないと、そうすると工期が延びるといことがございますので、その安全を見て6カ月分の借地の予算をとったということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 じゃ、実際は利用しないということで捉えてよろしいですか。執行しない。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 執行の予定はありません。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 予算書の170、171ページの一番下のところにある3の有機循環推進事業の一番下、生ごみ堆肥化推進容器等購入補助金について聞かせてください。堆肥センターも廃止されて、この事業はもうちょっと力を入れていくのかなと思ったんですが、平成28年が3万6,000円の予算、29年が10万、30年が6万円と逆に下がってしまったということで、これ、10万から6万にした根拠とか理由というのは何かあるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 委員の言われるとおり、堆肥センターを廃止したということで、この生ごみ堆肥化促進容器等補助金について、29年度については増額をさせていただきましたが、今年度の執行を見ると、これはちょっと望めないということで減額をさせて

いただいたということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 望めないというのは、思ったより利用、ニーズがないということなのか、それとも市民の方が、例えば水を切って絞って出してくださいといつも一生懸命周知しているのはわかるんですが、何かニーズがないというふうに判断した理由というのがあるんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 広報等で御案内をさせていただいておりますが、申請のほうがないということで要望がないというふうで見込みました。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 概要の44ページの環境衛生費の火葬場等使用委託事業ですが、火葬場の未徴収があると聞いたんですけども、何例ぐらいあるかちょっとわかりますかね。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

服部市民課長。

○市民課長（服部英俊君） 予算書の手数料、雑入のところを見ていただきますと、17万円ですね。未徴収のものにつきましては、後ほどお答えします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

服部市民課長。

○市民課長（服部英俊君） 済みません。5件でございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 17万円の予算がついてるんですけど、去年が29万4,000円で、その前が5万円の予算で、未徴収17万円を回収するというこの根拠というか、何をもって17万円というのを上げられてるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

服部課長。

○市民課長（服部英俊君） 平成24年度分からの未徴収のものを徴収しまして、それを差

っ引いたものが17万円になります。

(いやいや、よくわからないの声あり)

○市民課長(服部英俊君) 年度ごとの。

(17万円の根拠の声あり)

○市民課長(服部英俊君) 根拠ですか。

(過去の実績とかいろいろあるでしょうの声あり)

○予算特別委員長(近藤善人議員) 時間かかりますか。

○市民課長(服部英俊君) ちょっとお調べしてお答えします。

○予算特別委員長(近藤善人議員) ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書の165ページで、環境衛生費の一番最後の住宅用地球温暖化対策設備設置費の関連なんですけど、FITの買い取り制度の関係で、1件当たりの上限額がある蓄電池設置のお話がこの費用でしたっけか。

○予算特別委員長(近藤善人議員) 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長(相羽敏明君) これについては、昨年度の名称として新エネルギーシステム設置等補助金ということでございましたが、県の補助要綱に合わせてこの名称にさせていただいたということでございます。内容については、燃料電池システム、エネファームの補助金ということでございます。

終わります。

○予算特別委員長(近藤善人議員) ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 168ページ、169ページの東部知多衛生組合の負担金事業について聞かせてください。たしかこれ、6億8,573万8,000円なんですけど、ここのこの年がたしかピークで、来年、再来年はたしか4億円台、約4億というふうに私、記録してるんですが、それで間違いないでしょうか。

○予算特別委員長(近藤善人議員) 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長(相羽敏明君) 東部知多のほうから出されている今後3カ年の計画によりますと、4億を下回る、4億ぐらいの数字でございます。

終わります。

○予算特別委員長(近藤善人議員) 早川委員。

○早川直彦委員 今回は、これ、全てが一般財源のところに書いてあります。29年度予算では、4億円の中で起債をするということを当初では検討していました。途中でやめたんですが、この年が一番ピークとなるところで、これ、一財ということは、これは臨財債を充てるという考え方なんでしょうか。それとも、ほかのところのやりくりなのか。その辺ところを説明願います。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） こちらについては、一般財源で行う予定でございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 一般財源といってもかなりの、2億8,000万もプラスさせようと思うと、一般財源の中でも臨財債を充てるという考え方なんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

伊藤財政課長。

○財政課長（伊藤正弘君） 一般財源ということで間違いはございませんが、このたびは、おおむね繰入金のほうの増額分が2億8,000万円、ここ近年5億円ずつ繰り入れているところ、7億8,000万円とさせていただいておりますので、見合いのものとしてはこちらの部分がそこに相当するのかなというふうに計上させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 169ページの一番上の清掃人件費ですが、29年度は14名でしたが、30年度は15名で予定している予算になっていますが、1名増員の理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 今、ごみ減量推進係のほうで進めております、食品ロスを初めとするごみ減量を進めていくということでの増員でございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 171ページ、2項2目 塵芥処理費のごみ集積場整備工事費の中には、何か新たに資源ごみを集める拠点の場所がふえるとか、その整備なんかというのは見込ん

であるでしょうか、140万円の中に。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） こちらについては、毎年地元のほうから上がってくる見込みということで、頭出しのようなものでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

服部市民課長。

○市民課長（服部英俊君） それでは、宮本委員のほうから質問がありましたことについてお答えします。滞納分17万の内訳につきましては、全部で5件ありまして、そのうちの1件が、1件3万7,000円になるんですけど、1件分が3万7,000円のうち1万円が分納されておりまして2万7,000円、それから、もう一件が3万7,000円のうち5,000円が入金されておりまして、それが足しますと5件で17万円ということになります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 ということは、分納分を全部足したら17万という、そういう計算ですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 服部課長。

○市民課長（服部英俊君） 未納分と分納分のものを合計しまして、その17万円になります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 予算書の169ページの下のほう、資源回収の関係なんですけども、資源回収の下から2つ目の枠の関係なんですけども、その中の一番下の資源回収交付金は前年より200万ぐらい減っておるんですね。ということは、回収量が減っておるのかなと思うんですけども、一番上の資源回収委託料などは逆に100万ぐらいふえておるということで、この辺の資源回収量とその費用の関係についてちょっと御説明をいただきたいと思います。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 資源回収委託料、こちらについては増額をしておりますが、これは資源を集めるための人件費ということでございます。ですから、年々、今回上げさ

せていただいたのは、県の労務単価の上昇、そして実績を見ながら上げさせていただいたというものでございます。

一方で、資源回収交付金については、資源の量によって増減するものでございます。近年の資源の回収状況を見ると若干減少傾向でございます。ですから、資源回収交付金については減額させていただいたということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 回収量が同じであれば、人件費がふえる分委託料がふえるというのはわかるんですけど、回収量が減っているのに回収の委託料がふえているというところがおかしいなと思うんですけども、その辺はどうなんです。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 先ほど申し上げましたとおり、資源回収委託料については、人件費相当ということで確認していただければ結構かと思えます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

村山委員。

○村山金敏委員 概要書43ページ、中段の予防事務事業、これ、組み替えということでしたけど、29年度と同額ぐらい30年度に組み込んでおるわけですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 予防費についてでよろしかったでしょうか。

（予防事務事業1,766万7,000円の声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 消耗品で27万円増額してますが、あとここに載ってる予防事務、大体同額ですが、食生活改善事業委託料も2万円というふうで少し減額をしているところもありますが、ほぼ同額です。

以上で終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほど伺いました清掃人件費の14から15人に1増した件です

が、説明では食品ロスのための事業がふえたと言われるんですが、職員が1人朝から夜まで毎日食品ロスについて業務をするほど食品ロス事業の内容がふえたんでしょうか。本当に1増分必要なのか、もう一度説明をお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 食品ロスを初めとするごみ減量に取り組むということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 同じ関連してなんですけど、食品ロスを含めたごみ減量、1人分、じゃ、どんなことをされるのか、その1増してもらうために人事に交渉した内容があるかと思いますが、もうちょっと詳しく説明してください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 市全体で、ごみ減量、食品ロスを初めとするごみ減量に取り組むということで、1名増となったということでございます。環境課のほうから要望したということではございません。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 小浮市長。

○市長（小浮正典君） 食品ロスの取り組みについては、環境課というよりも基本的には市長、副市長以下、市全体の問題として捉えております。

平成30年度については、高齢者福祉課が中心になって取り組んできたように、職員が地域に出向いて、地域と一緒にあって、食品ロスについての取り組みを一体となってやっていくような形で、地域に出向かせる形で考えています。それは自分も含めて行くんですけども、それは自分はある意味、客寄せパンダじゃないですけども、そういった役割しかありません。実際の実務をやるのは環境課でございます。環境課の職員がそういった形で一生懸命やる形で。なかなか数字としてまだあらわれてないんですけども、その数字としてあらわせるために平成30年はそういった形でやっていきたいなと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 食品ロスにそうやって力を入れていただけるのは大変いいことだと思うんですけども、前年度で有機循環のほう、有機循環といいますか、生ごみ堆肥化の事業はやめて、その分仕事が少なくなっているわけですし、それから、29年度から30年度は14から15で1名増ですけども、その前の年も13人から14人で1人ふえておるんですよ。そういうふうで1年さかのぼれば2人ふえることになる、生ごみ堆肥化の事業も減っていく、そういう中でこれだけふやす必要があるのかどうなのか、私も疑問に思いますので、その辺の説明をお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川部長。

○行政経営部長（石川順一君） 前者のほうからお話しさせていただきますと、平成30年は東部知多衛生組合のほうに管理者を1名派遣するんですが、こちらは環境課として、いわゆるこの人件費の中に含んでおりますので、その1名と先ほど環境課のほうで申し上げた食品ロスとかそういった部分で必要な人件費をふやしておるといふ部分でございまして、さらにで申し上げますと、今まで再任用でやっておった職員を非常勤一般職に切りかえたりしておりますので、増減して1名増という形でございます。あくまでもこれは予算計上時の考え方でございますけども、そういった形で1名増とさせていただいておるといふことでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 環境審議会の議事録を見ておりますと、今、市長のほうから諮問されますよね、ごみ減量について。有料化もそのメニューの中の1つとして、それも含めた全体としてどうやってごみを減らすのかということを諮問されておりますが、そのこともやはり関係ありますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） 今、環境審議会につきましては、今、検討中でございます。もう既に諮問を受けて、その内容については、何らかの答申をこれからの審議会の中で決定することでございますので、まだここでお答えできるだけの回答は持ち合わせておりません。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 今伺ったのは、その1増にしているというのはそういうものも含めてごみ減量についての業務がふえるからという意味ですかということですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） もちろん、それが直接的な原因で増ということではございません。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 160ページ、161ページと162と163とちょっと確認したいんですが、子育て予防接種事業のところと高齢者予防接種事業、昨年度の予算書だと、予防接種事業で1つでまとめたものを多分予算で今年度は2つに分けたのかなと思うんですが、昨年の実績が1億8,472万7,000円となっております。今年度ですと、昨年と同等なのかふえてるのか減ってるのか、ちょっとこれ、分かれちゃったからわかりにくいですので、その辺の説明をお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 予防接種につきましては、高齢者も子どもも同額で予算を組んでおります。

以上で終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 予算書の161ページの真ん中より少し下ですけども、乳児及び妊婦健診委託料7,620万余りですけども、昨年度が7,300万ほどで計上してましたけども、この300万増の要因、特に先ほど説明がありました産後健診の2回にかかわる分でふえたのかということをお聞かせをお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 妊婦健診の委託料ですが、2回分にした分がまずふえた分が1つ、それから、14回、産婦さんに健診分を発行してる分が1人分について400円、14回分について400円上がりました。その分が委託料として増加しております。

以上で終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じところですが、産婦健診が2回になったことによる増額はどれぐらいですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 2回分にした増額は、今回委託料として増額した分が290万増額させております。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 概要の7ページをお願いします。

10番目以降、保健センター運営事業として、施設に係る委託関係が載っておりますが、そのうちの10番目のほうですけど、保健センター運営事業、施設清掃委託として、平成28年の実績でいうと、実績報告書だと133ページですけど、そこを見ると、この年が189万2,160円ということで、予算では263万9,520円ですから39%アップしてます。平成27年のときの予算との比較でも、244万1,880円でしたから、8%ではありますが上がっております。その理由についてと、これ、まとめて聞きますね。

12番目のほうの空調設備保守業務委託のほうは、これ、実績報告書の同じ枠の一番下にあるんですけど、それだと98万4,960円ということで決算額と同じなんです。決算額と同じだけ今回予算化されてる、同じじゃないか、ちょっとだけ上がってるんですね。予算と比べると、平成27年のときの予算が101万5,200円でしたから、そこから3%下がった金額が決算額、つまり契約額になっていて、それをキープされてるわけですね、今回ね。こうあってほしいなと思うわけですけど、その次、13番目については、一方で13番目については、電気工作物保守委託、これは実績報告書を見るとこの年分が11万2,320円、予算は18万6,840円ということで、66%大幅アップしてます。これは平成27年の予算のときの13万9,320円と比べても34%というアップになってます。

特に10番目と13番目について、アップの理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） まず、10番目についてですが、施設清掃委託料です。これも業者から見積もりをいただきまして、今回いただいた金額をこちらのほうに上げて

おります。中身を見ると、仕様書の内容は変わってませんが、人件費が上がっております。10番目です。

それから、13番目については、総務一括で見積もり徴集をしていただいて、今回保健センター分ということでこちらの金額が上がっています。確認したところ、やはり人件費の上昇に伴うものだというふうにお聞きしております。

以上で終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 人件費で39%アップというのはかなり大きいと思うわけですが、特に13番目のほうというのは66%アップしてるわけですね、実績からいうと。結構これ、電気工作というのは本当に場所によって上がり幅が全然違うんですけど、この場合には、例えばPCB含有なんかの処理の関連があるとかそういうことではなく、ただ人件費という説明ですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 人件費というふうにお聞きしてますが、あくまでも予算ベースで上げてありますので、入札ではまた下がるかなというふうには予測はしております。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 予算書の47ページ、歳入の一番下ですけども、母子保健衛生費補助金、これの中に産後健診の2回分によってもたらされる歳入というのはどれぐらいになりますでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 産婦健診が2回になることで、予定としては250万が産婦健診に該当すると考えております。

以上で終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 167ページ、ちょっと戻ってしまいますけど、先ほど環境課の公害対策事業の生活排水対策推進計画策定業務委託料、これ、現在でも毎年ため池、排水路、河川と

いうことで調査をされておるんですけど、この数に増減というのは今後出てくるんですかね。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） 数の変更の予定はございません。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 予算書の162、163、1の健康推進活動事業の成人病健診等委託料についてお聞かせください。これも12月の補正増で2,200万円余り増額しました。たしかその理由が胃がんの検診が予想以上に多かったということで補正増をしたと思います。先ほど説明の中でもはつらつ健診と胃がん検診の増を見込んで補正増したということなんですが、これ、12月の補正がちょっと珍しいのかなという、検診で物すごくふえるというのが、周知がよかったのか、そういう部分なのか、年々検診がふえてってとか、何かこの金額で本当に大丈夫なのかというのがちょっと心配ですので、その辺について聞かせてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） まず、受診人数が伸びてきているのは、はつらつ健診については、年1回、個人通知をしています。胃のほうについても、今は節目の方に個人通知したりして受けていただくような体制で、予算的にこれが大丈夫かと言われると、今、はい、大丈夫ですというのは言えませんが、予測としては、12月補正を組んだ後の状況とかを考えると、今回上げた予算でいけるのではないかと見込んでいます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算の概要24ページの乳がん早期発見啓発事業なんですが、自分で発見するための自己チェック以外に、いわゆる検査とともに精密検査と、それから、一度検査を受けた人の再受診の勧奨の事業なんかは予定していないのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 乳がん以外でも、がん検診で要精密検査になった方については、その後検診の結果が来なければ、受診勧奨しながら結果の把握に努めておりま

す。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどの清掃人件費の件でもう一回聞かせてください。1人、人をふやして、地域に出向いてごみ減量を進めるために頑張るんだと、それは大変意味のある必要なことだと思いますが、そのことが東部知多衛生組合への豊明市のごみの処分の処分費というか負担金の減少に貢献するようなことがあるかどうかということと、それから、もう一つ、171ページの先ほど来言われてます生ごみ堆肥化促進の容器のほう、これを6万円に減らした件ですが、地域に出向いてごみ減量を進めれば、当然この容器等の推進というか利用も進むんじゃないかと思うんですが、なのにこれを減らしているということがちょっとよくわからない。それから、今までのメニューよりもっといろんな家庭で生ごみついたりとか減量するものがあると思うんですが、そういうように補助のメニューを変えていくというようなことも以前議会から提案があったと思いますが、そういったことの変更はこの6万円の中で行われているかどうか教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） まず、1点目の話の中で、当然のことながら、豊明市から出るごみ発生量が減れば当然分担金は減ってくる推移です。これは間違いのないと思います。ただ、1つ、いろいろ言われた中で、じゃ、有機循環のためにどういうことをするかというのは、私どももまず1つは、生ごみを市内から少しでも量を減らすこと、量だけではなくて重量も減らしたい、こういうことは、逆に言うと、市民の皆様個別にやっぱりこういうふうにしたらいんですよということは出向いてでも説明をしていきたい。それが相対的に、逆に言うと、豊明市から発生するごみを少しでも減らせるという事業であるというふうに考えて、今回こういうような形で予算組みをしておるということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（済みません、答弁漏れ。6万円にしたこととの関係も含めての声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 小浮市長。

○市長（小浮正典君） 今の部長の説明を補足しますと、そもそも生ごみになる量を減らそうとしてます。だから、無駄な買い物をしない、あるいは買ったものはきちんと食べて

もらう、その努力をまずしてもらう、それについての啓発活動をします。生ごみになります。生ごみになった部分については、生ごみのコンポストを利用してもらう方ももちろんですけども、我々実は幾つかのほかの研究も進めています。いろんな自治体が先進事例を持っています。それについて環境課長も実際に御家庭でやっています。そういった形、私も今始めたばかりですけども、そういったこともきちんとした実績として示せる状態になれば市民の皆様に幾つかの選択肢として提供したいというふうに我々は考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 ということは、今回の6万円に補助金を減らしたんですが、その内容、補助対象のいろんな容器についての変更は今回はされてない。今後可能性があるという、そういう理解でいいですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 我々が研究しているものは補助をしなくても、要するに全くお金を使わずに、御家庭にある使っていないものを利用した形で生ごみを処分できる、御家庭で。そういったことを研究しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 少しページは戻るんですが、159ページの保健衛生人件費の18人ですけども、保健センターに今までいらっしゃった職員の何人が本庁舎のほうにいらっしゃるのか。この18人は保健センターの職員全員の人数ですよ。子育て系で東館のほうにいらっしゃる人数も含めて、これ、18人という理解でまずいいかどうか。その場合、どういふふうに分かれて仕事をすることになるのか。ちょっとその辺を説明してください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 18名は、環境課の職員5名分も入ってますので、保健センター職員分が13名になります。この後、30年度4月に子育て支援課と健康長寿課に分かれますが、何人ずつ行くかは、まだ辞令が出てませんので、同じ人数で予定はしていますが、今のところわかりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 辞令はあるかもしれませんが、その業務的に保健センターでやる業務と市役所でやる業務というのは分かれてくると思うんですが、それはどのくらいの、じゃ、割合になるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

二宮課長。

○健康推進課長（二宮眞由美君） 今、保健センターでやってる母子保健に関係する事業で、母子手帳交付、出生手続、あと任意予防接種とかの助成金、予防接種の広域化というものが市役所の中が窓口になります。ただ、乳幼児健診やマタニティークラス、事業については全て保健センターで実施します。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 予算書163ページの一番下の枠、1目 環境衛生事業の4つ目ですけど、新エネルギー推進委員会の委員報酬が、これが7万5,000円減となっております。これは回数を減らすのか委員を減らすのか、3月補正でも26万5,000円も減されてるんですね。7割未執行となつたわけですけど、この報酬を払う人が減った、あるいは回数減、どういう理由での減でしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽課長。

○環境課長（相羽敏明君） こちらについては、回数の減ということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 以上で4款 衛生費の質疑を終わります。

ここで10分間の休憩といたします。

午前10時58分休憩

午前11時8分再開

○予算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を始めます。

続いて、5款 労働費の説明をお願いいたします。

宇佐見産業振興課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） それでは、5款 労働費の歳出から御説明をさせていただきます。

事業別に主なものを説明欄を中心に説明させていただきますので、予算書のほう、172、173ページをお願いいたします。

5款1項1目 労働諸費の労働事業1,515万4,000円、143万6,000円の増の主な要因は、特定建築物定期調査業務等委託料、勤労会館2階部分のトイレの一部洋式化に伴う改修工事費でございます。

説明欄1行目、412万円は、非常勤一般職員4名分の人件費です。単価の見直しにより5万9,000円の増額となっております。

5行目、光熱水費24万8,000円の減額は、包括支援センターの開設から1年が経過し、おおむね使用料が安定してきましたので減額をさせていただきます。

下から5行目、特定建築物定期調査業務等委託料63万9,000円は、建築基準法第12条に基づく定期報告の必要な建物であり、専門技術者に調査を委託するものでございます。

下から2行目、勤労会館トイレ改修工事費115万8,000円は、2階部分の男性・女性トイレを一部洋式化するための改修工事費です。

次に、5款 労働費の歳入の御説明をさせていただきます。

ページを戻していただきまして、36、37ページをお願いいたします。

12款 使用料及び手数料、1項4目 労働使用料の主なものは、説明欄1行目、勤労会館施設使用料332万6,000円です。

以上で労働費の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。

5款の労働費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

早川委員。

○早川直彦委員 172、173ページの一番上のところ、勤労会館管理業務についてお聞かせください。先ほど4名分で計上されてると、例年どおりの予算執行になるんですが、勤労会館1階の部分の会議室が今、貸し出すことがもう不可能になりました。それで、同じ状況でずっとやってくということで、この辺は借りれるスペースは減ったものの、従前どおりの管理体制というか、人数体制でやってくということで間違いはないでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） おっしゃられるとおり、現状のままの人数で、貸し出し部分が減ったといっても、中における作業自体はそんなに変わらないものですから、同じ形でいきたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 勤労会館の管理委託料の115万の中に、29年度は移動観覧席を動かしてたんですが、これは動かすのをやめるか、まだ動かすのか、この辺が管理費の中に含まれるのか、説明をお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 勤労会館の管理委託料のほうは、こちらは夜間の受付でシルバーの人件費となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 概要の7ページですけれども、これは幾つか載ってる勤労会館の関係のうち、17番目の電気工作物のことだけ伺います。これは平成28年の実績報告書の136ページを見るとこの年分で7万3,440円となっているのが、予算では11万2,320円と、53%アップしている。また、平成27年のときの予算の9万1,368円と比べても23%アップしているということで、このアップの理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちらのほう、電気工作物のほうは総務の一括入札ということになっておりまして、総務課さんのほうが見積もりを徴収されております。その見積もり金額をもって予算計上しておりまして、実際には人件費アップ分というようなイメージで考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 先ほどの続きなんですが、じゃ、予算上には移動観覧席の維持費が計上されてないということで、動かさないということよろしいんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） そちらのほうは予算計上しておりません。

（動かさないってことですかの声あり）

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 動かす予定はございません。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 173ページの特定財源のその他のところで343万6,000円計上されていて、今、説明だと、入のほうで勤労会館の使用料ということで332万8,000円なんですが、その差額が10万8,000円ありますが、これは何でしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちらは、包括支援センターさんのほうの光熱水費を面積割で入れていただこうと。こちらのほうは一般会計と特別会計の違いということで、光熱水費分だけを面積割でいただくということで計上しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 その分は予算の入のどこに計上されてますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 予算書の83ページ、雑入のほうで計上させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） これにて5款 労働費の質疑を終わります。

続いて、6款 農林水産業費の説明をお願いします。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） それでは、6款の農林水産業費の歳出のほうから御説明をさせていただきます。こちら事業別に主なものを説明欄を中心に説明させていただきます。

予算書174ページ、175ページをお開き願います。

6款1項1目 農業委員会費の農業委員会事業730万4,000円で、右側のページ、上から7行目、電算関係委託料10万8,000円は、農家台帳システムの新元号対応のための改修委託料でございます。

ページを1枚おめくりいただきまして、176、177ページをお願いいたします。

6款1項2目 農業総務費、右側のページ、上から3段目の3目 農業総務事務事業は286万9,000円で、33万1,000円の減額です。主な要因は、当初予算の概要の45ページにも記載をしておりますが、水土里情報システムの使用を中止することによるものでございます。その下の段、農業振興事業は1,268万3,000円で、129万8,000円の減額です。主な要因として、当初予算書の概要、こちらも45ページに記載がありますが、5年間の新規就農給付金事業の終了によるものでございます。

ページを1枚おめくりいただきまして、178、179ページをお願いいたします。

説明欄2行目の電算関係委託料23万7,000円の増額は、検索システムの新元号対応によるシステム改修費でございます。

次に、8行目、米生産調整推進対策奨励費補助532万8,000円は、国の政策において、主食用米の生産数量目標配分は廃止をされましたが、米の直接支払交付金も支払われなくなりますが、転作を奨励するために補助を継続させていただきます。

次に、ページを2枚おめくりいただきまして、182、183ページをお願いいたします。

下段、1目 林業費の林務事務事業は、森林管理システム創設に係る会議等が増加するため、普通旅費を7,000円増額するものでございます。

次に、農林水産業費の歳入の御説明をさせていただきます。

ページをお戻しいただきまして、36、37ページをお願いいたします。

最下段、12款 使用料及び手数料、1項 使用料、5目 農林水産業使用料、1節 農業総務使用料は、改善センター使用料58万円、行政財産目的外使用料28万1,000円は、敷地の一部をシルバー人材センターに駐車場として貸している使用料でございます。

48ページ、49ページをお願いいたします。

最上段、13款 国庫支出金、2項 国庫補助金、4目 農林水産業費国庫補助金の農業費補助金228万円の主なものは、説明欄1行目の転作事務等を担う地域農業再生協議会の事務経費に充当する水田農業経営所得安定対策推進費補助金193万円でございます。

58ページ、59ページをお願いいたします。

最下段、14款 県支出金、2項 県補助金、4目 農林水産業費県補助金の産業振興課所管のものは、説明欄1行目、農業委員会交付金140万円で、農業委員会職員5人分の人件

費。その下、認定農業者の設備投資で借入れをした資金に対する利子補助の農業経営基盤強化資金利子補助金 9 万 6, 000 円。

ページを 1 枚おめくりいただきまして、説明欄、上から 2 行目、環境保全型農業直接支払交付金の 1 万 8, 000 円、その下、森林所有者情報活用推進事業費補助金 10 万 3, 000 円でございます。

82、83 ページをお願いいたします。

19 款 諸収入、5 項 雑入、主なものとして、説明欄、下から 7 行目、農村環境改善センター等で実施する生活講座受講料 8 万 4, 000 円、その下、市内 5 カ所の市民菜園利用料 67 万 3, 000 円でございます。

以上で農林水産業費の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 続けてお願いいたします。

鈴木土木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） それでは、6 款の農林水産業費のうち、土木課所管の主なものについて、歳出から御説明しますので、予算書の 178、179 ページをお開きください。

6 款 1 項 5 目の土地改良事業につきましては、1 枚めくっていただきます。180、181 ページをお願いします。

右上段の説明欄の 6 行目にあります土地改良施設設計等委託料は、荒巻下池の護岸改修工事のための詳細設計に係る委託料として 176 万円の増額をしまして、550 万円を計上しております。

説明欄の中ほど、農業土木工事費は、阿野排水機場の主力ポンプのオーバーホールが完了しましたので、1, 600 万円の減額をしまして、1, 010 万円を計上しております。

3 行下に下がっていただきまして、農業農村多面的機能支払事業補助金 617 万 4, 000 円は、農業農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動を実施している勅使水系環境保全の会に対しまして補助するものでございまして、対象面積が減少したため 136 万 3, 000 円を減しております。

最下段の県営たん水防除事業負担金 750 万円ですが、大久伝排水機場の更新事業に伴います設計委託に対する負担金で、事業費の 15% を計上しております。

5 目 農地事務事業の説明欄に移ります。

1 行目、農地作業業務の 110 万 2, 200 円は、排水機場及び農業施設の維持管理業務等のために非常勤一般職を 1 名雇用するものでございます。

次に、6 款の歳入を御説明いたしますので、予算書 58、59 ページをお開きください。

14 款 2 項 4 目 農林水産業費県補助金の農業費補助金の主なものは、説明欄 3 行目、土

地改良事業費補助金1,013万5,000円では、単独土地改良事業による用排水路工事に対する補助と排水機場の点検管理等に係る維持管理事業費の県負担分並びに緊急農地防災事業による荒巻下池の護岸改修事業費に対する補助金となっております。

60ページ、61ページをお願いいたします。

1行目、農業農村多面的機能支払事業補助金459万8,000円は、先ほど歳出で説明しました勅使水系環境保全の会への補助金に対しまして4分の3が補助されるものでございます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 続けてお願いいたします。

花木下水道課長。

○下水道課長（花木喜久治君） それでは、引き続きまして、下水道課所管分について御説明申し上げます。

歳出でございます。

予算書の180、181ページをお開きください。

最下段の6款 農林水産業費、1項6目 総合整備事業費200万円は、農村集落家庭排水施設特別会計への繰出金でございます。

詳細につきましては、特別会計のほうで御説明申し上げます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。

6款 農林水産業費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

村山委員。

○村山金敏委員 予算書179ページ、農業振興費の中の説明欄、一番上から8段目、米生産調整推進対策奨励費補助金ですけど、いかほどの減作を予定してます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちらのほう、平成30年度産の主食米への国からの直接支払交付金というのがなくなりました。今回、なくなったことによって自由につくってもらえばいいよという話なんですけども、ただ、こちらのほう、愛知県としては、生産の目標の配分ではなく生産の目安というような形で、豊明では目安のほうが示されておまして、こちらのほうは昨年と同じ面積になっておりますので、生産量については昨年と同等というふうな形になると思われまして。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 予算書の180ページ、181ページ、農地費のところの土地改良施設設計等委託料と下のところの県営たん水防除事業負担金の2つについてお聞きします。上のほうが荒巻池の工事の委託料550万、下のほうが大久伝排水機場の設計委託750万、委託料としてはかなり額が出てるものですが、どのようなものを調査するのか、もう少し詳しく教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 上のほう、まず初めに土地改良施設設計等委託料につきましては、こちらのほうは、先ほども言いましたように、荒巻の護岸が崩れておりますので、それを改修するために設計を委託する費用になっております。

県営たん水防除事業負担金のほうは、大久伝排水機場の更新に伴い県が詳細設計を行うに当たる負担金になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 設計で、31年度以降は実際に工事に入る予定だと思うんですけど、事業費としてはかなり大きなものになるということなので、どれぐらいの事業費を予想してるんでしょうか。池の護岸工事もかなりの額になると思うし、排水機の入替えでもかなりの予算を伴うと思うんですけど、どれぐらいの規模のものなんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 荒巻池の護岸に関しましては、約3,000万ほどの工事費になるかと推定しております。

以上です。

（下のほうもの声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 今、あくまでも予想なんですけど、全体で20億ぐらいになる予定です。

以上です。

(20億の声あり)

○土木課長（鈴木英樹君） はい。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 今回の大久伝排水機場の関係ですけれども、大久伝は東海豪雨のときに非常に水が出たところなんですけれども、今回のその更新で、排出量といいますか、それはどのくらいアップされる計画なのか、その点について教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 現状ではまだはっきりはわかりませんが、今の現状の排水機能力よりは上回るというふう聞いております。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 概要の45ページの農業委員会の報酬ですけれども、農業委員の人の報酬はわかりますけれども、ちょっと名称は忘れたんですけれども、実際に現場で目視していただける方はここにいますよね。その人のここに入っているのかどうか、人数もちょっとお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちらのほうに、これ、最適化推進委員さんのことだと思いますけど、こちらは6名分ということで、こちらのほうに入っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 181ページの農地事務事業の農地作業業務112万2,000円についてですが、これは新たに発生した業務に対する非常勤なんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 先ほども言いましたが、来年度より大久伝の排水機場の事務等がふえてまいります。そのために排水機場等知識の豊富な方にいていただくということでふえておるそうです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 122万円ですが、週何回とか1日何時間とか、これ、どのくらいの分ですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 1名で週4日を考えておりました、1日6時間というふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書179ページ、1項3目で、29年度予算にはあった新規就農給付金の150万円で、昨年、委員会の所属で視察にも行かせていただいたこともあって気がついたんですが、これはどこかに移動してるとか、何かあるでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちらは対象の方が5年前に認定を受けまして、5年間国のほうからいただきました。これが終了によって、今回は落ちております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 この新規就農の交付金というのは、制度としてはまだこれからも続いていって、新たにそういう人が出てくれば交付されるということでしょうか。ちょっと確認です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 制度自体は引き続き続いていきます。ただ、条件のほう若干厳しくなってきたというようなことは聞いております。現在も、こちらに該当するような方、どんどん豊明のほうも出てきそうですので、またいずれ対象の方が来られましたら申請をしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 175ページの一番下の枠の農業総務人件費ですが、29年度は7名でしたが、新年度は8名予算になっていますが、その1人増員した理由は何ですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちらのほうは人件費ということで、こちらは8名という記載がございます。これ、一応、課長以下の給与分というふうに聞いておりますが、こちらのほうに、8人になるのか7人のままなのかというのは、まだ人事異動のほうが決まっておらないということで確定はしておりませんので、基本的にふやしていただけるということは非常にありがたいとは思っておりますが、8名になるのか7になるかということはまだ確定はしておりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 予算上8名になっているので、ちょっとその説明は全然だめです。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 石川部長。

○行政経営部長（石川順一君） 平成30年に農業政策課ということをつくります。それで、農業政策課の職員として8名を予定したと、予算計上で予算を予定したということございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 その農業政策課という機構改革の関係ということですが、業務がふえたからその必要があるのかどうか、そこが重要なので、そこを説明してください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちら、業務がかなりふえるというふうに予想しておりまして、現在考えられておるのが、まず確実に始まるのが森林管理システムというのの構築というのがございます。こちらは、森林の台帳を整備しまして、森林の有効活用をしていくと、実際には農地の中間管理機構の山版みたいな形で、要は個人で森林を持っておる方が活用ができない場合に自治体が管理をして、その自治体が有効活用するように林業者に貸与したりだとかというようなことを国は考えておりまして、こちらのほうが始まります。

それから、来年度から、森林環境税と、それから森林環境譲与税というのが始まります。こちらのほうの対応も始まってくるかなというふうに考えております。

それから、もちろん、先ほども申しましたけども、新規就農者とか担い手の育成のほうも力を入れていかなきゃいけない、それから、あとは農地利用の最適化推進委員さんをお願いをさせていただきまして、農地の集積や耕作放棄地対策というのもし引き続きやっていますので、事業はふえるというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書183ページ、2項1目 林業費にはないのでないんだろうなとは思いますが、去年起きた嵐による倒木などを想定した伐採の事業の予定はあるでしょうか。ないよな。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 特に森林の伐採というようなことは予算は組んでおりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 概要の7ページのところでですけども、今回は農村環境改善センターの管理事業についてですけど、これ、電気工作物保守委託が、実績報告書、平成28年の決算の実績報告書だと137ページですが、これが、この年分が6万9,120円で、予算では11万2,320円ということで63%アップとなっている理由と、あと平成27年の概要にはこの部分が掲載されていません。3年契約だとしたら載ってるはずなんですけど、ほかは載っているのに不思議なんですけど、なぜ載っていないのか、後で追加されたのか、そのあたりの事情と、あと予算がわからなくて比較ができませんでしたので、予算の段階のがわかれば教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 先ほどの労働費のところでもお話しさせていただきましたが、こちらのほうは我々のほうで見積もりをとったわけではございませんので、ただ、こちら先ほどと一緒に、人件費の増額というふうな考え方でおります。

それから、27年度のほうの概要に載ってなかったという点については、済みません、少しお時間をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどの人件費のところ、森林管理台帳を作成するという説明がありました、それは30年度ですよ。だとすれば、済みません、ちょっとその台帳をつくることに関する事業費は出てないんですが、これは職員がというか内製で行うということなんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちらは、今まで台帳のほうは愛知県のほうが具備しておりました。愛知県のほうからデータをこちらのほうにいただきますので、そのデータを適正に、要は完全にうまく加除ができていないような状態のデータだもんですから、こちらのほうを職員のほうで直しまして、具備するというような形で考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 大もとはできているけれども、じゃ、確認をして正確なものにするということが主で1人ふえるんですか。その方は朝から晩まで毎日そのことに業務されるんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） もちろんそれだけではございません。森林台帳の具備のというよりも、先ほども言いました森林環境システム、要は台帳とは別にシステム化していくというようなことで、こちらのほうは新たな事業として森林の保全だとか管理みたいなどころというのが出てきますので、そちらのほうもあわせてやっていただく、もちろん、こちらがどれぐらいの事務量になるかということは今の段階では想像ができませんので、人件費のほうにはうまく反映できるかどうかというのは、ちょっと今の段階でははっきりとしたことは言えません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 先ほどの林業のところと同じで、予算に何も載ってないので、載ってないで伺うんですけど、自分で持ってるガイドで、国が18年度1億円計上されて、花粉症対策の関係で苗木の対策だとか、飛散防止剤の実証実験とか、杉、ヒノキの着花状況調査なんかがあるというふうに書いてあるんですけど、愛知県とか豊明市では対象外だからこの予算に書いてないという、そういうことなんでしたっけ。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 恐らくそうでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 済みません、先ほどの富永委員さんからの御質問で、概要のほうの27年のほうに載ってなかったということなんですけど、こちら、25年度に事業仕分けで廃止という方向が出たときに単年度の契約に変えましたので、27年の時点では長期継続じゃなかったというようなことでお願いしたいと思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 179ページの上の枠の真ん中から少し下の、先ほど郷右近議員が質問された米の生産調整推進対策奨励金のことですが、国の補助が廃止になったということですけども、そうすると、この532万8,000円は全て市単ということになるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちらの補助金は、昨年までもずっと継続しておったんですが、これまでもずっと市単でありまして、これはずっと市単でやっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 先ほど長期継続ではないというお話だったんですけど、実績報告書の137ページの該当のところを見ると、電気工作物保守委託は長期継続契約と書いてありますが、実際はどうなっているのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

(発言する者あり)

○予算特別委員長（近藤善人議員） 先ほど山盛委員が質疑のときに、郷右近委員と言われましたけども、村山委員。

○山盛さちえ委員 失礼いたしました。訂正をお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 済みません、先ほどの答弁で、事業仕分けでということでしたが、概要のほうは計上漏れというか、記載漏れでございました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 概要の7ページの今度は土地改良事業について、2つ伺っていきます。浄化槽保守委託、これが実績報告書の138ページに載っていますが、これだと、この年分が3万4,560円で、予算では4万2,120円で22%アップしています。これは、これまでの長期継続契約の予算段階では1年当たり1万2,000円だったのが3倍近い価格で契約をされています。今回、それにさらに増額してですので、平成27年の予算、予算と比較すると3.51倍になってるわけですけど、この増額の理由を教えてください。これまでは、決算資料にも予算資料にも大脇、阿野の排水機場という記述があったんですが、今回はないですが、2カ所なのか、その理由も教えてください。

同じように、電気工作物保守委託、これも138ページに載っていますが、長期継続契約で、この年分は31万1,040円、予算では51万1,920円ということで65%アップしてます。平成27年の予算との比較でも38万6,208円でしたから、予算、予算で見ても33%増となっている理由ですね。これもまた決算資料にも予算資料にも、阿野、大脇、大久伝だとか、3排水機場とか記述があったんですが、今回はなくなっている理由も教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 土地改良事業の浄化槽保守委託につきまして、あと下の電気工作物保守委託につきまして、こちらのほうも総務課のほうが見積もりをとって予算計上の単価を示されておりますので、その分で計上しておりますので、多分先ほどと一緒にですが、人件費分のアップと考えております。

場所については、上の浄化槽については、委員が言われるとおり、大脇排水機場と阿野排水機場、電気工作物は、3カ所の排水機場になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 これまでと同じ理由だとすると、予算段階で1万2,000円だったのが、契約が3万4,560円となっていて、さらに今回それが大幅アップになっている、3.51倍になっている理由がわかりません。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 人件費相当分だと考えております。

以上です。

（3.51倍の声あり）

○土木課長（鈴木英樹君） ということだと思います。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 契約金額から上がってるのはもしかしたらそうかもしれませんが、1万2,000円の予算だったのが3倍になって、そこからまたさらに増額になってるので、これまでは人件費相当分といっても、かなり高いけれども予算だからということである程度わからなくてもないですけど、増額分が非常に大きいので、精査していただいたほうがいいかと思えます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

○土木課長（鈴木英樹君） 済みません、しばらくお時間いただきます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 予算書の177ページの水土里情報システムが、あっ、そうか、ここには載ってないって話か、抜けたので載ってないんですけど、水土里ネット愛知から抜けた理由について教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちら、主に農地の地図情報をとるためのシステムでございました。こちらが農地情報公開システム、国のほうが提供している農地ナビというのがございまして、そちらのほうを活用することで一括管理というか一元管理が可能になっていくというようなことで、今回離脱をさせていただいたというような形で考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 先ほどの富永委員の御質問の回答、ちょっと時間がかかりますので、その部分だけ、申しわけないですけども、6款部分から保留させていただいて、まだ土木課所管の部分はこの後もありますので、そこで土木課長から答えさせます。昼休みをとられるのであれば、それは昼休みの間にきちんと調べさせます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 今、そういうことなんですけども、次の款に入らずにということ。

じゃ、ここで休憩……。

（発言する者あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 6款について、ほかに質疑はありますか。

富永委員。

○富永秀一委員 181ページをお願いします。予算書ですよ。これの一番下のところ、これも特別会計でもいいんですけど、農村集落家庭排水施設特別会計繰出金200万ですけど、これ、3月の補正予算で、もともと400万の予算だったのが全額減になってるわけで、つまり繰り出し不要となっているわけで、今回ももう最初から繰り出しは予定しなくてもいいのではないかと思うんですが、必要だとなぜ判断されるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

花木下水道課長。

○下水道課長（花木喜久治君） 確かに、3月、全額補正減ということで繰り出しはなくしておりますが、30年度予算の編成に当たりまして、元金及び利子の償還事業、こちらのほうに予算が必要だということで、200万円のほうの計上をさせていただきました。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 前年度予算についてもそういう理由で計上していたのかなと思うんですけど、結局繰り出し不要としているわけですよ。今回はなしでもいいのではないかなと思われんですけど、なぜでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

花木課長。

○下水道課長（花木喜久治君） 最初、3月補正の段階では、当初の予算に比べて入がふえる、あと出が減るといふようなところで、相殺という形で補正減できたわけですが、当初予算編成に当たりましては、そこら辺を、出のほうの見込みを立てますと、どうしても200万ほど必要ということで予算計上させていただきました。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） では、会議の途中ですけども、ここで午後1時まで休憩といたします。

午前11時49分休憩

午後1時再開

○予算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 午前中、富永委員から御質問いただきました概要書7ページの19番、20番の長期継続契約についてお答えします。

19番の浄化槽保守委託については、3年前の契約時に比べ、やはり人件費の上昇と、もう一つ、保守委託の施設が減ったために全体委託の費用が増加して、これが要因となっているということですね。

（施設が減ったの声あり）

○土木課長（鈴木英樹君） 要するに、保守委託の施設が減って、その減ったことによって、要するに経費等、対象施設が減りましたので、全体でちょっと経費とか何かが高くなっていく分の割合がふえたということになります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 以上ですか。

（もう一つの声あり）

○土木課長（鈴木英樹君） もう一つ、20番のほうの電気工作物保守委託ですが、こちらのほうは、高濃度PCB含有電気工作物に該当するかというような項目が追加されたのと、もう一つが先ほども言いました人件費の上昇と、こちらも同じように施設が減少して、要するに全体の1個の割り当てがふえてしまったということです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 予算、予算で3.51倍になった件は。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） それは3年分足して、合計長期の3年分ということをして3倍してないと、ではないということでしょうか。そんなことはないですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 27年の当初予算の概要を見ると、単年度で1万2,000円、3年で3万6,000円という予算になっています。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちらのほうも人件費の上昇ということだということ、先ほどの答えと一緒にです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 ほかのはわかるけれども、これが3.51倍になってるのはなぜですかということを知ったので、その今の休憩中、それについてもわかるようにしてもらえたんだと思ったんですけど、それは調べておられないということですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） もう一度調べさせていただきます、済みません。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 予算書の37ページの一番下のところに、改善センター施設行政目的外使用料28万1,000円が上がっています。これ、シルバー人材センターの駐車場等の部分だというふうに思ってるんですが、この28万1,000円を導き出したその根拠というか、計算はどんなふうにしたのかをお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちらのほうは、市有財産評価審議会のほうで単価の決定をさせていただいております。そのときの単価が1平方メートル当たり938円という金額で決まりました。今、お貸ししておる面積なんですけれども、300平米ということで、こちら、車24台分の駐車スペースということで、300平米掛ける938円ということで、28万1,400円というような数字にさせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 予算書の181ページの下から2つ目の枠の農地事務事業ですけど、その中
の下から2つ目の設計単価利用料というのが、これ、倍増してますけど、これ、またこの
枠の一番上に農地作業業務というのが新しく入っていますが、これは関係があるのか。倍
増された理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちらのほうは関係ありません。

以上です。

（倍増されたわけ、設計単価利用料の声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 設計単価利用料ですが、こちらのほうは当初、経済調査会へ
の使用料だけでしたが、来年度から建設物価調査会というのが1個追加になりましたので、
2個の調査会への利用料となります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

先ほどの質問の答弁は時間がかかりそうですか。

（まだかかると思います。申しわけございませんの声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） それでは、暫時休憩といたします。

午後1時5分休憩

午後1時11分再開

○予算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

お諮りいたします。6款の先ほどの富永委員の答弁以外については終結し、次の7款に
移りたいと思いますが、いかがいたしましょう。

（異議なしの声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 異議なしと認めます。

続いて、では、7款 商工費の説明を願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） それでは、7款 商工費のうち、産業振興課所管分の

歳出から御説明をさせていただきます。

歳出について、事業別に主なものを説明欄を中心に説明しますので、184、185ページをお開きください。

7款 商工費、1項 商工費、1目 商工総務費の商工総務事務事業は2,271万1,000円で、1,524万5,000円の増額です。主な要因は、ふるさと納税関係の事業が移管されたことによるものでございます。

説明欄1行目、ふるさと納税関係事務67万7,000円は、非常勤一般職員の人件費。3行目、消耗品費831万円は、ふるさと納税の返礼品購入費。その4行下、通信運搬費は、ふるさと納税返礼品の配送料。その9行下、電算関係委託料38万9,000円は、ふるさと納税管理システムの保守料。その2行下のふるさと納税関係システム使用料64万8,000円は、ポータルサイトであるふるさとチョイスの使用料でございます。

ページをおめくりいただきまして、186、187ページをお願いします。

2目 商工振興費の商工業振興補助事業は3,101万2,000円で、77万円の減額です。主な要因は、説明欄4行目の街路灯等電灯料金補助金55万円は、商工会の設置する街路灯のLED化によって節電に努め10万円の減。その3行下、小規模企業等振興資金信用保証料助成金225万円は、利用実績に応じた予算額として18万5,000円の減。下から3行目の社宅整備支援事業補助金50万円は、申請見込みを下方修正し、50万円を減額します。その下の段、商工業振興預託事業は8,300万円で、2,100万円の減額です。主な要因は、市内金融機関が小規模企業に対して融資する実績によって預託金を配分いたしますが、融資額の目標に満たない金融機関もあり、預託額を見直し、2,000万円の減額でございます。

最下段、3目 観光費、観光事務事業は307万5,000円で、188万円の減額です。主な要因は、市制45周年記念桶狭間シンポジウムの終了による開催委託料の減額です。

ページをおめくりいただきまして、188、189ページをお願いいたします。

説明欄1行目、修繕料55万5,000円は、のぶながくん、よしもとくんの着ぐるみ修繕で、足部分とクリーニングを実施いたします。9行下、観光プロモーション協賛金50万円は、民間事業者が中京競馬場において開催するスポーツイベントに対しての協賛で、シティープロモーションの機会とするものでございます。

下の段、4目 消費者行政推進費の消費者行政推進事業は317万4,000円で、383万2,000円の減額です。主な要因は、消費生活センター設置が完了したことで、工事費や備品購入費の減額でございます。説明欄1行目、消費生活相談員等謝礼175万円は、今年の10月から消費生活センターを週4回、4日間開設しており、開設日の増加による消費生活相談員への謝礼の37万5,000円の増額でございます。

次に、7款 商工費の歳入を御説明いたします。

ページを前にお戻しいたきまして、60、61ページをお願いいたします。

上から2段目、14款 県支出金、2項 県補助金、5目 商工費県補助金の商工振興費補助金163万3,000円は、説明欄にあります地方消費者行政活性化交付金で、歳出で御説明いたしました消費生活センター運営に必要な相談員の謝礼、研修費等に対する交付金でございます。

66、67ページをお願いいたします。

14款 県支出金、4項 県交付金、3目 市町村事務移譲交付金のうち、産業振興課所管分は、説明欄、下から6行目、商品量目立入検査関係事務等交付金12万円と、その下、商工会法事務交付金は昨年と同額でございます。

次に、74ページ、75ページをお願いいたします。

下段、19款 諸収入、3項 貸付金元利収入、1目 商工業貸付金元利収入は2,100万円の減額で、小規模企業等振興資金貸付金元金収入8,000万円は、金融機関への預託金の返戻金です。

2節 商工組合貸付金元利収入300万1,000円は、商工組合中央金庫貸付金300万円の返戻金と利息収入でございます。

以上で商工費の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 続けてお願いいたします。

秋永地域活性化推進室長。

○地域活性化推進室長（秋永亘正君） 続きまして、地域活性化推進室所管分を御説明いたします。

歳出のうち、主なものを説明いたします。

予算書184、185ページをお願いします。

7款1項1目 商工総務費、地域活性化推進事務事業の予算歳出額は1億858万9,000円です。

1枚おめくりください。

187ページ、右側1行目、企業立地意向調査委託料167万4,000円は、工業団地を含めた豊明市への企業誘致活動のための本市への企業の立地意向アンケート調査の委託費用です。

次に、4行目、企業再投資促進補助金の1億134万1,000円については、平成28年10月1日に制定しました愛知県と連携した制度である豊明市企業再投資促進補助金です。これは、工場等の新增設を行う従業員25人以上の中小企業に対して、土地を除く固定資産取得費用の10%を補助するものです。

その1つ下の、中小企業再投資促進補助金470万9,000円については、今年度4月1日に制定しました市単独の補助制度である豊明市中小企業再投資促進補助金です。これは、工場等の新增設を行う従業員25人未満の中小企業に対して、土地を除く固定資産取得費用の5%を補助するものです。

次に、歳入について説明します。

予算書60ページ、61ページをお願いします。

14款2項5目 商工費県補助金、新あいち創造産業立地補助金5,067万円です。これは、先ほど歳出のところで御説明しました、愛知県と連携した制度である豊明市企業再投資促進補助金交付要綱に基づく愛知県の負担額で、全体補助率10%のうちの半分に当たる5%相当額です。

以上で地域活性化推進室所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。

7款 商工費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いします。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書187ページ、1項1目 商工総務費の中小企業再投資促進補助金は、1件当たりの投資額条件が3,000万円以上で補助率は5%以内ということなので、5%だと考えると、1件当たり150万円以上の金額になるのじゃないかなと思うんですが、そうすると3件程度なのかなと思うんですが、件数が何か少ない気がするのと、あと1件当たりの補助限度額が1,000万円という規定なので、1件当たりの補助限度額の半分ぐらいにもなっていないという点でいうと、見込みがどんなものなのかなと思って。30年度の見込みをちょっと教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永室長。

○地域活性化推進室長（秋永亘正君） こちらのこの470万9,000円というのは、1件の1企業に対しての補助額でございます。ですので、この5%分というのが470万9,000円ということになります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 これは、この上も下も去年の予算にはなくて、特に下は途中からできるので当然なんですけど、結構具体的な細かい金額になってるということは、もう見込み

があって、そこについてはこれぐらいかかりそうだからということで今回予算化したという考え方でいいですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永室長。

○地域活性化推進室長（秋永亘正君） どちらも平成29年度中に認定申請書というものが出てきております。その認定申請書の中に設備投資金額と補助対象金額というものが書かれます。ですので、この金額というのは、平成30年度に支出する金額でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 こういった補助をするのは、それによって税収増が見込めるといようなことも考えてのことだと思いますけれども、今回のこの補助金、何年ぐらいで回収できるというふうに見込んでおられるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永室長。

○地域活性化推進室長（秋永亘正君） 試算では、おおむね9年から10年ほど、これは固定資産税のみに限られますけれども、9年から10年後で補助金を上回る税収が見込めるといふふうに考えております。ただし、建築物や償却資産などの内容によっては年数が変わってくるというふうには考えられます。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 185ページの一番上に商工人件費がありまして、これ、29年度は9人、30年度は8人ということで、1減になっておりますが、その理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川部長。

○行政経営部長（石川順一君） 何度も申し上げておるんですけども、これ、予算の人員でございまして、平成29年度9名ということで予算措置しておりますけども、現行8人でやっております、8人でいけるということで、30年度も8人という形で予算上つけさせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員　じゃ、実態としては8名で変わらずということですが、その下にふるさと納税が新たに事業としてこちらのほうに移管されてきた、それから、今、質疑されておりました企業再投資の補助金だとか、促進補助金とか、新しい事業もふえてきていますが、こういったこともありつつも、現状のままの8人でやっていくということになるんでしょうか。先ほどの、ちょっとよその款ですが、環境の部分だとか、そのほかのところ、そっちは人をふやしながらか、こっちは仕事がふえても人をふやさないというのは何かよくわからないんですが、その辺についての説明を求めたいと思います。

○予算特別委員長（近藤善人議員）　答弁願います。

石川部長。

○行政経営部長（石川順一君）　全体の予算の中で考えておるんですけども、基本的には商工関係についてはこの人数でやっていきたいということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員）　ほかにございませんか。

杉浦委員。

○杉浦光男委員　多くの議員が聞かれましたが、これの概要の25ページ、企業立地支援事業で、2つありますが、上のほうの10%を愛知県と連携して補助しますというので、これはどういう工場かと、土地はわかるんですが、工場の種類はいろいろありますよね。豊明としてもどんな工場が来てくれてもいいということじゃないと思うんですが、工場に制限があるかどうか、工場の種類にね。業種というかな。

○予算特別委員長（近藤善人議員）　答弁願います。

秋永室長。

○地域活性化推進室長（秋永亘正君）　それぞれお答えいたします。

まず、企業再投資促進補助金のほうです、県との連携のものですけれども、これは自動車関連の金属製品の熱処理等を行う製造業でございます。

もう一方、中小企業再投資促進補助金のほうは、プラスチック金型の設計、製造などを行う製造業でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員）　ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員　予算書の186、187の1の商工振興補助事業の空き店舗活用事業補助金、社宅整備支援事業補助金、小規模企業再投資補助金、3つについて同じような内容で聞き

ますので、あわせて聞かせてください。

真ん中の社宅整備支援事業補助金は3月の補正で80万円マイナスになって、100万の予算が、80万が減って、100万が20万という執行で、それを見越して下方修正したというのは理解できるんですが、空き店舗のほうも50万補正減して半分の執行になってます、今年度は。小規模のほうも200万のところを60万円減し140万となっておりますが、真ん中の部分は実績において下方修正したんですが、上と下の部分については現状維持のままとした理由を聞かせてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 空き店舗のほう、少し希望的観測というのも実際にはありまして、一昨年に三崎で1件の実績しかなかったんですが、その1件の実績のところがいい形で、今、周りが変わってきておるといふようなところもありますので、この形の流れがほかのところへもできればいいなという少し希望的な観測もございまして、何とかこのまま続けていきたいなというところで2件分。

それから、小規模事業者の再投資補助金、こちらは水回りの関係なんですけど、今回、補正減させていただきましたけども、引き合いのほうは事業者さんがかなり多いということを知っております。ただ、なかなか小規模店舗さんですと、トイレの改修とかをするときにお店を閉めなきゃいけないということで、ちゅうちょされたということも聞いておりますので、続けてこういう補助金を出していくよということを継続していくことで、年間でこのときに工事をしようかなというようにもちょっと考えておりますので、そのような形で、現状の維持でいきたいということで考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございせんか。

早川委員。

○早川直彦委員 社宅のほうは難しいという結論から下げたということによろしいんでしょうかね。募集をかけてもなかなか実績どおりにはいかないと。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 今年度も2件の実績がございまして、それは1社の申請で2件ということになっております。実際に社宅を持って会社運営していくというように大きな企業さんがなかなかないのかなというのもちょっとありまして、市外の事業者さんであっても豊明市内に構えていただければということで予定しておる補助金ですので、

こちらも何とかできるだけ使っていただきたいという気持ちはございますけども、少し下方修正させていただいたというような形でございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 同じで187ページの下の方、下から2つ目の枠の市観光協会の補助金ですけれども、先ほど桶狭間シンポジウムがなくなったからというような説明だったかというような記憶がありますけれども、桶狭間シンポジウムはその下の事務事業で前年組まれておるんですよね。それで、この観光協会の補助金は、前年のを見ると古戦場まつりがあるからということで、その前の年、709万円だったものが1,310万円にふえているということで、本来この709万円の水準まで戻るべきものではないかと思いますが、何か特別に含まれておるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 昨年の1,300万円とその前の700万円というのは、七百数十万円だったときは、地方創生の加速化交付金というのを充てさせていただいた関係で、観光協会の補助金自体、市単で見たものが七百数十万円だったということで、実際には、その前の年までは1,250万円という形で観光協会の補助金を計上させていただいておりました。昨年も、市制45周年ということで、若干事業を上乗せさせていただいたということで、1,310万円であったんですが、来年度、新年度は40万円下げて1,270万ということで、20万円ほどちょっとふえてはおるんですけども、そちらのほうは加速化交付金というのを活用して作成した観光協会のウェブページがございまして、そちらのウェブページのサーバーの借上料等が若干ランニングコストが出ますので、20万上乗せさせていただいたというような形でおります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 同じく187ページの下から4つ目の升の商工中金預託金と小規模企業等振興資金預託金の8,000万と300万ですけれど、先ほどの説明で、減額の説明が融資目標が満たないためということでしたけれど、この預託金の例えば商工中金でいけば300万ですけど、実際に融資されてる残高というのは、この預託金の何倍というケースだと思うんですけど、ここの本市の制度、預託金の300万の実際に融資されてる残高はわかります。その割合の、上限4倍までいいとか、そういう制度、仕組みでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 商工中金さんのほうは、どれぐらいの貸し付けがあるかということは、こちらでは全然把握をしておりません。その上の小規模企業等の振興資金のほうは、制度としては、市が預託金の3分の1、愛知県が3分の2ということで、実際には昨年までは市が1億出しておりますので、愛知県のほうから2億来ているということで、3億円の資金を市内の金融機関のほうに預託として預けております。融資の目標額としては、その預託額の2倍ということで設定をさせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 商工中金も2倍ということでもいいんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 基本的には同じでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 同じページの一番上ですけど、企業立地意向調査委託料の167万4,000円ですけど、これまでも同じような企業に対する立地意向の調査というのは行われていたようにも思うんですけど、今回の調査は例えば対象が違うとか、何か違いがあるのかどうか伺いたいと思います。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永室長。

○地域活性化推進室長（秋永亘正君） 例えば、産業立地推進計画を作成する段階では、企業さんの動向調査的な意味合いで投資の計画などを調査するようなアンケートは行っておりました。今回やるのは、豊明市に対して投資の意向があるのかなどのより具体的な内容に踏み込んだアンケートをするものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 その調査の対象は豊明市に対してというのは、市内の企業が市に対してですか。それとも市外を広く調べて豊明市に興味ありますかと、そういう聞き方になるん

ですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

秋永室長。

○地域活性化推進室長（秋永亘正君） 市内だけではなくて、市外あるいは県外も含めて調査を行いたいと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 187ページ、1項2目 商工振興費の最初、小規模事業指導費補助金の部分が、市内の業者の方々の相談だとかアドバイスだとかということに対する補助金なのかなと思っているんですけど、以前お話を聞いた市内の中小業者の方の存続のお話だと、後の後継者、担い手がいなくてということが困り事になっていたという話だったと思うんですが、相続の税の優遇制度なんかがあるらしいということなので、今年度でそういった相談事業を行ったり、あとはそういう啓発だとかということがこの2,000万円の中で行われる予定とかというのはあるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） こちらのほうは、商工業者への振興と発展を図るためということで、商工会の職員への人件費の一部補助ということになっておりますので、商工会の事業の中でそういうようなものはやっておりますので、十分にあると思われま。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 今と同じところですけども、この2,000万円ですけども、29年において、その補助事業のメニューの中の1つの記帳というんですか、パソコン等で帳簿をつくるのを手伝ったりする業務の部分で、確定申告まで商工会でやってしまわれた関係でトラブルが起きていたことは、今も起こっていることは承知だと思いますけれども、今回のこの補助の事業のメニューの中に、同じものが同じような状態かどうか、内容で含まれているのか、改善されるような、そういったようなことになっているのかどうか教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） 今回、この予算組みの中で、昨年と同じような枠組みでいってはおりますけども、もちろん、これから商工会のほうから申請書が上がってまいりますので、そちらのほうで精査をさせていただきたいなと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 ごめんなさい。精査というか、市が補助する事業として、その補助のあり方とかやり方としてふさわしいかどうかというのは、相手が言うんじゃないくて、市がそれを認めるか認めないかだと思うんですが、それはちゃんと確認の上のこの2,000万円の補助金になっているんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） まずは、まず2,000万円という予算ありきという話になってしまうんですが、まず2,000万円というところで予算計上させていただきます。商工会さんのほうから同じメニューの申請が出てきたときに、ここら辺の事業はどういうふうに考えておるかということは十分に精査をさせていただきたいということで、まずは、別に全く同じというような意味合いではなく、補助金の申請が上がってきた段階でそのトラブルであったようなこととかはどういうふうに改善するのかということは聞き取りをさせていただきたいと思っておりますので、まずは2,000万円という予算の計上をさせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 それが、今、御自身が言われたように金額ありきじゃないんですか。まず2,000万は確定しておいてということになっちゃうので、もしその改善がされなかったような状態であれば、この2,000万はそのまま執行されず、その事業の部分については削減する、あるいは見直すということもありという、そういう理解でいいんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） はい、もちろんそういう形で準備、そのとおりでございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 予算書の189ページ一番上の枠の上から5行目のレンタサイクル管理委託料、金額は小さいですけど、これ、前後駅デッキ下のレンタサイクルじゃないかと思うんですが、これ、半分ぐらい中京競馬場駅のほうに持ってったのが、最近見るとまた戻ってきてるように思うんですが、これは冬だからということなのか、あるいは中京競馬場に移したときに効果があったのかどうかとか、運用状況も含めて、同じ予算が立ってるので、効果はあったのかどうかとか、今後どうするのかとか、教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

宇佐見課長。

○産業振興課長（宇佐見恭裕君） この自転車について、今、前後の駅のほうに保管しておるのは、時期的にガイドボランティア様が週末に待ち受けガイドというのをやっておりますので、その待ち受けガイドをやっておる計6カ月間ぐらいは中京競馬場のほうへ移動させていただきたいなというふうに考えてます。

それから、ことしも行ったんですけども、桜花学園の学生さんが自転車を使っている市の観光めぐり、なごrismさんというゼミみたいなのところがありまして、そちらが自転車を使っているいろいろと検証していただいておりますので、そちらのほうにも御利用いただきたいというようなことを考えておりますので、この保守料については、2,500円の2回掛ける12回ということで、保守の点検をさせていただくというようなイメージでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） これにて7款 商工費の質疑を終わります。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 富永委員の質問に答えさせていただきます。

平成27年度の予算概要を確認しましたところ、年1万2,000円という計上がされておりました。こちらのほうが誤りでして、実際は3万7,800円を計上するべきでありました。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 確認ですけど、そうすると年3万7,000円。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） そうです。

以上です。

(年3万7,200円の声あり)

○予算特別委員長(近藤善人議員) 鈴木課長。

○土木課長(鈴木英樹君) 年3万7,800円です。

(進行の声あり)

○予算特別委員長(近藤善人議員) 続いて、8款 土木費について説明をお願いします。

鈴木土木課長。

○土木課長(鈴木英樹君) 8款 土木費のうち、土木課所管の分について御説明させていただきます。

歳出から御説明させていただきます。

予算書189ページをお開きください。1枚めくっていただき、190、191をお願いいたします。

1項1目 土木総務費、土木総務事務事業の説明欄3行目、電算関係委託料129万6,000円は、平成29年度で土木積算システムの借上げに係る長期継続契約が終了しましたため、本年より保守委託として計上させていただいております。

2目 維持管理総務費につきましては、道路台帳管理事業の説明欄、道路台帳修正業務委託料883万円は、道路認定等及び前年度の工事並びに境界確定等により道路形態に変更があった箇所の手帳を修正する業務で、前年度と同額を計上しております。

下段、維持管理総務事務事業の説明欄8行目、電算関係委託料107万3,000円は、道路占用管理等システムの新元号に対応するためシステム改修費を計上して増額となっております。

192、193ページをお開きください。

上段の説明欄の下から3行目、急傾斜地崩壊防止事業負担金50万円は、このたび三崎町社地内の土砂災害警戒区域内において、急傾斜地崩壊防止事業の実施が決まりまして、県事業に対する負担金として計上しております。

2項1目の道路維持費のうち、道路維持事業の説明欄6行目、道路等維持作業委託料は草刈り、土砂回収、街路樹の剪定作業と前後駅前広場等の清掃及び苦情、要望に対する維持業務で843万5,000円増の1億2,278万5,000円。7行目の調査測量設計等委託料は新栄橋の橋梁補修設計及び橋梁点検委託で567万3,000円減の1,097万7,000円。8行目、道路等維持補修工事費は苦情及び要望に対する修繕工事費ですが、橋梁修繕、万場橋、若王子3号橋及び沓掛横断歩道橋の修繕が完了したため、1,552万5,000円減の9,982万2,000円を計上しております。また、工事立会費等負担金については、橋梁の定期点検作業時の防護等工事が完了したため計上はしていません。

次に、道路管理事業は、説明欄の2行目、調査測量設計等委託料は道路用地の寄附に伴う測量費や、区長要望工事等の境界確定及び境界復元に伴う測量業務費用として224万3,000円減の1,762万1,000円、3行目、道路用地購入費は、新田町南山地内の道路用地を買収するために500万円を計上しております。

続きまして、194、195ページをお願いします。

2目 道路新設改良費のうち、道路新設改良事業は、説明欄の2行目、調査測量設計等委託料は道路の調査測量設計費用として323万5,000円減の248万4,000円を、3行目、道路新設改良舗装工事費は、道路改良舗装事業の区長要望及び管理者施工に係る工事費として1,097万8,000円増の1億3,557万3,000円を、続いて4行目、支障移転補償費は、市道純掘荒巻線の歩道改良に伴う信号移転費用として295万円増の440万円を計上しております。なお、この道路新設改良舗装事業は、当初予算の概要26ページに記載してありますので、後ほど御確認ください。

次に、3目 交通安全施設費のうち整備事業は、工事費として、区画線、防護柵、カーブミラー等の設置のために81万8,000円増の1,900万円を、維持事業は修繕料として前年度同額を計上しております。

下段の3項1目 河川新設改良費のうち河川改良事業は、説明欄の1行目、調査測量設計等委託料は、豊明市総合治水対策基本計画策定及び雨水管渠実施設計委託業務費として2,017万6,000円増の2,647万6,000円を、2行目の河川改修工事費は、栄町寺前地内が完了しましたが、新たに前後町鎌ヶ須地内において排水路改修工事を実施する予定になっており、900万減の1,000万円を計上しております。こちらの総合治水につきましても、概要の27ページに主要事業として掲載しておりますので、後ほど御確認ください。

続いて、196、197ページをお願いします。

河川新設改良事務事業は、上段説明欄の5行目、雨水貯留施設設置補助金は、特定都市河川浸水被害対策法に基づかない500平米未満の土地に対して、雨水の貯留浸透施設を設置した場合に補助するもので、45万円を計上しております。

2目の河川維持費、河川維持修繕事業については、河川等維持作業委託料、修繕工事費で、排水施設等の維持管理、河川の草刈り、清掃作業等として前年度と同額を計上しております。

続きまして、歳入について御説明しますので、予算書の38、39ページをお願いします。

12款1項 使用料のうち、6目 土木使用料、1節 道路・河川使用料は、前年度とほぼ同額で、道路占用料を2,556万1,000円、公共用物使用料154万3,000円、駅前広場使用料5万6,000円、河川占用料5,000円を計上しております。

50ページ、51ページをお願いいたします。

13款4項 国庫交付金のうち、3目 土木費国庫交付金、1節の道路橋梁費交付金は、桜ヶ丘沓掛線道路改良工事費、橋梁点検及び市道の整備工事費を社会資本整備総合交付金として1億5,675万円を計上しております。

60、61ページをお願いいたします。

14款2項 県補助金のうち、6目 土木費県補助金、2節の道路橋梁費補助金は、市道純堀荒巻線の歩道改良工事費の補助金として500万円を計上しております。

82、83ページをお願いいたします。

19款5項 雑入の下から4行目、歩道橋命名権収入は、昨年8月から始めました歩道橋のネーミングライツに伴う収入として6橋分の64万8,000円を計上しております。その他の県委託金、交付金、雑入は、前年度とほぼ同額になっております。

以上で土木課所管分を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 続いてお願いします。

近藤都市計画課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 続きまして、都市計画課所管分について御説明申し上げます。

初めに、歳出について主なものを説明欄を中心に御説明いたしますので、予算書の198、199ページをお開きください。

8款4項1目 都市計画総務費でございます。2番、都市計画調査事業、説明欄の都市計画基礎調査等委託料277万6,000円は、都市計画法第6条に基づく、おおむね5年間でさまざまな項目の調査を実施するものでございます。

その下、3 都市計画事務事業、説明欄の都市計画基本図修正委託料1,579万円は、5年に1度、市内全域を対象とし修正するもので、現地調査や、航空写真を撮影し、都市計画図、白図等を修正するための委託料でございます。

続きまして、説明欄の住宅・建築物安全ストック形成事業補助金2,392万8,000円は、昭和56年5月31日以前に着工して建築された木造、非木造の住宅等に関して耐震診断及び耐震改修工事費の一部を補助するものでございます。

続きまして、説明欄の同居リフォーム促進事業補助金150万円は、新たに3世代以上で同居するために行う既存住宅の増改築やリフォーム工事に要する費用の一部を補助するものでございます。

続きまして、説明欄の親との同居・近居購入費補助金1,890万円は、親や祖父母、子や孫と同居や市内での近居を促し、そのために新たに取得する住宅のうち、家屋の固定資産税

相当額の一部を3年間補助するもので、平成28年度より実施しております。新年度で3年目となります。1年90件と見込み、3年間分の270件分の予算を計上しております。

続きまして、説明欄の空家等対策推進事業補助金50万円は新年度よりの新事業で、老朽化した空き家の解体工事費用の一部を補助することにより、市民の安全・安心で良好な生活環境の確保を図るものでございます。

続きまして、200、201ページをお開きください。

中段、3目 街路事業、1 桜ヶ丘沓掛線改良事業の説明欄、桜ヶ丘沓掛線改良工事費3億1,850万円は平成26年度からの継続費で、平成30年度分の年割額分の2億2,000万円と、市単独事業分として、信号設置が予定される北側、南側の交差点改良事業及び周辺対策工事等で9,850万円を計上するものでございます。

続きまして、202、203ページをお開きください。

4目 公園事業費の2 公園施設改修事業、説明欄の公園施設改修工事費2,347万円は、高鴨公園のリノベーション工事や公園施設の改修を行うものでございます。

続きまして、3 公園施設維持管理事業、説明欄、上から8段目、樹木剪定・草刈委託料7,793万6,000円は、公園緑地の樹木剪定や草刈り作業等の管理委託費で、57公園、1広場、3緑地を委託するものでございます。

下段、6目 都市改造費3,991万4,000円は、有料駐車場事業特別会計への繰出金でございます。

続きまして、204、205ページをお開きください。

上段、7目 緑化事業費の1 緑化対策事業、説明欄の緑化推進委託料50万円は、秋に開催いたしますグリーンフェスタ in 勅使水辺公園の会場設営委託料でございます。

続きまして、4段下の都市緑化推進事業補助金30万円は、愛知県のあいち森と緑づくり事業を活用し、民間が建築する住宅、工場等の緑地整備に係る費用の一部を愛知県よりいただき、間接補助にて補助を支払うものでございます。これにつきましては、市費の持ち出しはございません。現在のところ、候補事業はございませんが、申請を見込み、頭出しをさせていただきました。

続きまして、継続費について御説明いたしますので、259ページをお開きください。

8款 土木費の桜ヶ丘沓掛線改良事業でございます。平成26年度から平成30年度までの5カ年の継続事業で、総額13億円となっております。

続きまして、債務負担行為について御説明いたしますので、ちょっとお戻りいただきまして、13ページをお開きください。

上段、第2表、債務負担行為の最下段になります。豊明市土地開発公社公共用地先行取

得事業につきましては、大根若王子線の鶴根地区になります。今回、財政状況を勘案し、5年の継続をお願いするものでございます。

続きまして、歳入について御説明いたしますので、予算書の48、49ページをお開きください。

13款2項5目 土木費国庫補助金、2節 都市計画費補助金、説明欄の住宅・建築物安全ストック形成事業補助金1,317万9,000円は、住宅耐震診断及び住宅耐震改修に伴う補助金でございます。その下、空家再生等推進事業補助金25万円は、空き家の解体工事に伴う補助金でございます。

続きまして、50、51ページをお開きください。

13款4項3目 土木費国庫交付金の1節 道路橋梁費交付金1億5,675万円のうち1億890万円は桜ヶ丘沓掛線改良工事に伴う交付金でございます。

続きまして、60、61ページをお開きください。

14款2項6目 土木費県補助金の1節 都市計画費補助金、説明欄の市町村土木補助事業補助金330万円は、高鴨公園リノベーション工事の補助金でございます。その下、住宅・建築物安全ストック形成事業補助金644万円は、住宅耐震診断及び住宅耐震改修に伴う補助金でございます。その下、空家等対策推進事業補助金12万5,000円は、空き家の解体工事に伴う県費の補助金でございます。

続きまして、66、67ページをお開きください。

14款4項2目 土木費県交付金の1節 緑化事業費交付金、説明欄のあいち森と緑づくり事業交付金35万8,000円は、都市緑化推進事業の間接補助に係る県交付金でございます。

以上で都市計画課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 続けて説明をお願いします。

河北市街地整備推進室長。

○市街地整備推進室長（河北裕喜君） 続きまして、市街地整備推進室所管分について説明申し上げます。

歳出について、主なものを説明欄を中心に説明いたしますので、予算書198ページ、199ページをお開きください。

8款4項2目 市街地開発費です。市街地開発費は、本年度7,264万2,000円となり、前年度と比べて272万6,000円の増額です。事業1 市街地開発事業、説明欄の立地適正化計画策定委員報酬34万円は、策定を予定しております立地適正化計画の委員会の設置のための報酬です。続いて、業務代行選定委員会報酬9万円は、土地区画整理事業の業務代行予定者選定に向けた委員会を設置するための報酬です。その次、市街地整備アドバイザー報

酬92万2,000円は、市街地整備各事業を推進するためアドバイザーを委嘱するための報酬です。

ページをはねていただきまして、200ページ、201ページをごらんください。

立地適正化計画策定業務委託料815万4,000円は、平成30年度、31年度の2カ年で策定を予定しております立地適正化計画の策定に係る委託料です。続いて、都市計画決定図書作成委託料218万2,000円は、愛知県とともに進めております第6回区域区分見直しに係る委託料です。その下、調査測量設計等委託料6,040万8,000円は、市内4地区で進めております新市街地整備に係る各種調査、測量等に係る委託料でございます。

続きまして、歳入について説明をいたします。

48ページ、49ページをお開きください。

13款2項5目 都市計画費補助金のうち、一番下になります、集約都市形成支援事業費補助金です。こちらは立地適正化計画の策定に係る国からの補助金で、補助率は2分の1となっております。

なお、説明いたしました予算は、新年度、市街地整備課が引き継ぎます。

以上、説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 続けて説明をお願いします。

花木下水道課長。

○下水道課長（花木喜久治君） 続きまして、下水道課所管分について御説明申し上げます。

歳出でございます。

予算書の202、203ページをお開きください。

2段目の8款 土木費、4項5目 都市下水路費5億9,552万8,000円は、下水道事業特別会計への繰出金でございます。詳細につきましては、特別会計にて御説明申し上げます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） もう説明はよかったですよね。

会議の途中ですが、ここで10分間の休憩といたします。

午後2時2分休憩

午後2時12分再開

○予算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

8款 土木費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 予算書199ページ、都市計画事務事業の新事業の空家対策推進事業補助50万、これは、例えば規模等によって違うのか、1軒当たり幾らというふうに決まっているのか教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤都市計画課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） この事業は30年度からの新規事業となります。今回の50万という予算は一応1軒分を予定しておりまして、これは実を言うと国と県の補助も入っております。50万円を上限とし、国が2分の1、県と市が4分の1ということで……。

○近藤ひろひで委員 だから、1軒当たり最大で50万で、例えば、じゃ、25万で済んだとしたら、2軒申請があったら2軒できるという解釈でいいですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） これ、1軒当たりでございますので。

もう一つ縛りがありまして、工事費の5分の4というのがありますので、なおかつ50万円が上限ということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 これ、住宅建設安全ストックの形成で、例えば耐震の、56年5月31日までの耐震診断をして、1.0を下回るものについてやるものなのか、全く別なもので、特定空家に対するものなのか、これはどちらなのでしょう。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） これは別のものにして、特定空家そのものでございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 特定空家と指定されたものについて、それを使うことができるということとよろしいでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） この対象物件の条件がございまして、まず1年以上使用

されていない空き家というのがまず1つ目で、2つ目がまず木造であること、あとは不良住宅、住宅地区改良法に基づく不良住宅空き家であること、あとは個人が所有する空き家であることという以上の4つの条件がございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 189ページの一番下の土木総務人件費の14人分ですが、29年度予算は16人分となっていましたので、2人削減した理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川部長。

○行政経営部長（石川順一君） これも何度も申し上げておるんですけども、あくまで予算上ということで、実は、平成29年度も土木については15名体制でやっておりました。さらにもう一人減らしておるんですけども、こちらは、今回再任用の職員が65歳になって、今、再任用のやってる仕事を非常勤一般職として契約してやらせていただいた。職員数は2名減員になりまして、その部分、非常勤一般職として勤めていただいている部分を予算書、こちらでいうと農業土木費のほうに充てさせていただいておるということがございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書199ページ、4項1目 住宅・建築物安全ストック形成事業補助金2,390万円なんですけど、継続した事業だったと思うんですが、同時に、平成30年度から耐震補強の設計から改修までをパッケージングして、1戸当たり定額100万円で耐震改修工事費の8割を限度にするという支援の新制度があるらしいんですが、それとのかかわりというのはどういう状況なんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 今、委員が言われるとおり、昨年、29年までは1軒90万円が上限でした。国のほうの要綱改正に基づきまして100万円になりましたものですから、私どもにつきましても100万円を限度という形に変えさせていただいております。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 197ページの都市計画人件費の20人分は、前年度と比較すると1増になっていますが、その理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） これは、30年度から空き家対策が本格的に稼働してまいります。それに係る事務がかなり増大なものですから、それに対する1人増という形になっております。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 さっきの続きでして、そのことも含めて、2025年に耐震化が不十分な建物を解消するというのが国の目標ということらしいんですが、豊明市の現状と国の目標に照らし合わせる今後の、平成30年度の見通しを教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） なかなかこの耐震化というのは全国的に実際進んでないというのが現状でございます。愛知県の会議等に出ましても、愛知県も国に倣ってさらに力を入れていくということでございます。ちなみに豊明市の今、耐震化率というのがおおむね80%ぐらいになっておりますので。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 199ページの真ん中の都市計画事務事業ですが、ここに先ほど言われた1人、人をふやす理由になった空き家対策の関係の事業が入っているかと思いますが、この事業を、この中の空き家対策をすることで1人分が要るぐらいの事務量になるのか説明してください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） まだ実際に開始しておるわけではないので、しっかり、はっきりとはわかりませんが、今の問い合わせの状況だったりしますと、かなりいろいろな課に、空き家がふえておって環境面を損なっていると、いろいろなそういうお話をいただいておりますので、それを新年度からは都市計画課が一元化で窓口を、都市計画課が

代表で受け付けます。その事務でかなり、恐らく事務量も相当量ふえるということで1人分ということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

関連ですか。

富永委員。

○富永秀一委員 人との関係でかかわりがあるかどうかですけど、都市計画事務事業の一番上の空き家対策の協議会委員報酬なんですけど、これ、減ってるんですよ、10万円。これはいよいよ空き家対策で特定空家を壊すということも始まってくるというような時点で、これ、10万円減ってるんですけど、これは委員を減らすのか、委員会の回数を減らすのか、どういう意味合いなのか教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 協議会の回数是一緒でして、実をいうと10名の委員さんがみえるんですけど、そのうち報酬を御辞退された方がみえるので、10人の予算で見てたんですが、そのうち対象が6人になりましたものですから、6人の方に報酬をお支払いするという事になったものですから、その分が減ったということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 その辞退された方の補充はされないでいいという御判断ですか。

（報酬を辞退の声あり）

○富永秀一委員 報酬を辞退。済みません、間違えました。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の83ページの雑入です。

下から4行目、歩道橋命名権収入64万8,000円、これ、先ほど御説明で去年の夏からやっています。まだ命名、6つの歩道橋ということですが、まだ埋まっていないと思うんですが、ホームページに載せる以外にどのように募集をしていく予定でしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 現在、一応進んでおりまして、3月中にはでき上がります。

PRについては、商工会のダイレクトメール、各会員に配っていただくものに全部配布をさせていただいて、チラシを配布しました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書193ページ、1項2目 維持管理総務費の急傾斜地崩壊防止事業負担金50万円で、先ほどちらっと工事の中身もおっしゃったかもしれないですが、ちょっと聞き漏らしてもいい、具体的にどういった工事内容になるのかと、それから総額が、負担金が50万円ということなので、工事全体の金額がどういう規模なのかなというのが知りたいです。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちら、三崎町社で崖がありまして、そちらのほうは土砂災害警戒区域に入っていて、そこに擁壁、要するに土砂が崩れないよう擁壁をやっていくという工事なんですけど、こちらのほうは県がやっていた工事で、平成30年度はその調査測量費で50万円、10%ですから予算としては500万円ぐらいの委託になると思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 市内には複数箇所の急傾斜地で対策が必要な場所があったと思うんですけど、この工事で、もしくはその調査費用で全ての場所に対策が打たれることになるんですけど。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 今回、急傾斜地の対象になるのは、下に5軒以上の民家があったり公共施設があるということで、今回対象はこの1件だけです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

近藤千鶴委員。

○近藤千鶴委員 概要の29ページの下段をお願いします。

公園施設改修事業です。高嶋公園を地域とのワークショップにより時代のニーズに合った改修工事を行いますとありますが、もう少し具体的にお願いします。

もう一つ、ここで主な改修工事が3つ挙げられてて、下の遊戯施設改修工事とありますが、この改修工事をするのにどういう優先順位で行うかお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） このリノベーション工事ですが、30年度につきましては高鴨公園ということで、三崎区長さん初めとして町内会の役員さん、また、子ども会の役員さん等集まっていたきまして、約3回いろいろ打ち合わせをやらせていただきました。それに基づき要望等をお聞かせ願って、私どもの予算の範囲内で工事を進めていくということで現在進んでおります。

あと、もう一つのほうの改修の順位ですが、これにつきましては、私ども、定期点検をやっておりますので、そこである程度遊具の腐食ぐあい、そういうランクづけになりますので、そのほうの悪い部分から予算の範囲内でやっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 予算書の199ページをお願いします。

一番下の枠の真ん中、業務代行選定委員会の報酬ですけれども、9万円ということで非常に額が少ないんですけれども、非常に重要なことを決定していくことになると思うんですが、人数、回数、何回想定しておられるかということと、それから、決定までにどのようなふうに進めていくということになるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

河北室長。

○市街地整備推進室長（河北裕喜君） こちら、建設消防委員会で、条例の中にもございましたように、この選定委員会、10名以内で組織をするということで、そのうちの1名は少なくとも市の職員ということをお前提にしておりましたので、9名で2回ということで想定をしております。

そして、進め方としては、この2回のうち1回目で選定基準であったり募集の要項、こういったものの御議論をいただいた上で募集をかけます。その募集をかけたものを審査、決定をするのでもう一回ということで2回を想定しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 193ページの下から2段目の道路用地購入費500万、ちょっと語尾が聞こえなかったものですから、もう一度お願いしたいんですけど。新田町、その後ろが全然ちょっと聞こえませんでしたので、もう一度、済みません、お願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 新田町南山地内の中央小学校のすぐ横の部分で、新田70号に取りつく道路でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 あの辺だというの、わかりました。

195ページの道路新設改良舗装工事1億3,557万3,000円、先ほどの説明で、区長要望と管理者施工部分の工事代が入っているということですけど、内訳、わかるでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 内訳は、3分の2が管理者施工で、3分の1が区長要望というような割り振りですしておりますが、金額も言ったほうがよろしいでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 金額もですか。

○宮本英彦委員 いいです。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 予算書の194、195、河川改修事業のところの調査測量設計等委託料2,647万6,000円についてお聞きします。これ、去年は630万で、補正減で453万6,000円となるところですが、大きく設計をすると。先ほど説明では計画策定で雨水対策ということなんですが、どこかの地区に絞ってのこの調査なんですか。何か改めて工事をするための設計の調査なんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 先ほども言いましたが、総合治水対策基本計画のほうをやりますので、そちらのほうが大きなウエートを占めております。もう一件、雨水管渠の計画で荒井地区を予定しております。2本でこの金額になります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 荒井地区は工事をするから前年の設計で、まず設計の委託料でいうとどれぐらいなのかと、また、その荒井地区の設計が終わってどれぐらいの工事の規模になるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 額の3分の2ぐらいが総合治水の計画のほうの委託料になりまして、残りが設計委託ということです。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 2,600万の3分の2が計画のほうで、3分の1が荒巻のところの設計ということですね。

先ほど、もう一つ、どれぐらいの、荒巻は工事を予定してるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

（荒井でしようの声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 場所は沓掛町荒井地内で、150メートルぐらいの管渠の予定している工事を委託するという。

（どれぐらいの工事の予定になるんですかの声あり）

○土木課長（鈴木英樹君） これは、工事費は委託の中で積算して出しますので、今ちょっとはっきりは出ておりません。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 その195ページの調査測量の関係の治水対策のほうですけれども、これ、たしか平成14年にできたものだというふうに記憶しておりますけれども、どういうスパンで見直しをしていくことになるのか、何かちょっと中途半端な年度になるような気がしますけれども。その点と、それから、前回というか、現在の計画でできたのは池にオリフィスを幾つかつけたぐらいで、ほとんど書かれていることがやられてないんですけども、今回は何かこういうことをというようなことはこの計画の中に盛り込んでいるようなことは考えてあるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 平成26年に県のほうが境川の整備計画をつくりました。それがありましたので、今回も、ちょっとスパンはおかしいんですが、総合治水対策基本計画

のほうの見直しをしたいというふうで今回計上させていただきました。

あとは、広報等は、今後この策定でいろんな広報を検討していくことになります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 さっきの関連で、実施計画書には500万で、31年度、32年度が1,750万というふうに予定は、これはあくまでも実施計画上ですが。これ、2つ足しても3,500万ありますので、3,500万円以上の工事ということによろしいのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） そのとおりでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 概要の7ページ、一番下の21と22について伺います。

道路維持事業の排水施設等維持管理委託、これが実績報告書だと141ページに載ってるんですが、それだと今までは単年度でした。これが232万9,344円。これが今回、長期継続契約にしたんですけど、予算では269万600円と16%アップしてます。平成28年度の予算が見たかったんですが、道路等維持作業委託料1億935万の中に入ってますので、個別の予算というのがわかりませんでしたので直接比較はできないんですけど、予算、予算で見た場合に、長期継続契約にする目的というのが契約額の低減ということがあるわけですので、そうなっているのかどうかを教えてください。

もう一つ、その下の河川維持修繕事業、これの排水施設等維持管理委託ですが、これ、実績報告書だと143ページに載ってますが、この河川維持費の、単年度で112万6,656円だったのが、長期継続契約で130万1,300円ということで、こちらも16%アップしてます。これもやはり予算でいうと、河川等維持作業委託料1,083万円の中に入ってしまったので、予算、予算で比べられませんので、その比較をしたときに削減されているのかお答えください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） これは、業務の内容としては、道路維持のほうは地下道等の排水ポンプと電気のメンテナンス委託になります。河川のほうは調整池等の排水ポンプ等

のメンテナンス管理委託になります。今までは道路維持事業のほうで一括で出して発注をしていました。昨年度は河川と維持を案分して、それぞれで合算して発注をしておりましたが、今年度からはポンプの点検は4月からやっぱり1年間必要ということで、長期継続契約に切りかえて、予算上は2本になりますが、これを合わせて1本で発注する予定でいます。

単価のほうが上がったのは、人件費等上昇分でございます。

今回、長期継続するのは、単価が安くなるということではなくて、事務の効率化を図って長期継続にしたものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 これまでの、要するにごっちゃになっていてわからなかった部分があるんですけど、予算、予算で見た場合には、合わせた場合に、発注、予算段階で下がっているんですか、長期継続する目的の1つだと思いますけど。事務は別として、それも経費も下がっているのかどうかという金額の比較はできますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 単価が下がるということは、多分何とも言えないんですが、今回人件費で設計をしてるので、この単価になってきてるので、これが発注をした場合に下がる可能性はありますが、現時点では……。

（そういうことじゃない、聞いているのはの声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 お聞きしてるのは、前の28年度の予算のときには道路等維持作業委託料1億935万の中に入っているんで、多分これはいろんな事業を積み上げた金額になってるわけですよ。それを個別に書いてないので直接比較できないので、でも、それは持っておられるはずですよ、予算積算したときに。だから、その事業、その事業を足したときに、ちゃんと比較したときに予算、予算で見たら下がってるんですかというのを確認したかったということです。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

すぐに答弁できなければ、次の、ほかに質疑。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 人件費の上昇があるので、一概に単年度契約と比較すること

はできないと思います。今回、道のところが……。

(発言する者あり)

○土木課長(鈴木英樹君) 前の発注……。

ちょっとお時間ください。

○予算特別委員長(近藤善人議員) 三浦委員。

○三浦桂司委員 概要の28ページ、住居系・産業系市街地整備事業で6,040万8,000円か、これ、一般質問でもしておりますけども、全で一財でいくのでお聞きしますが、住居系の寺池と間米南部、寺池は業務代行方式を採用せずに事業が順調に推移しているようですが、間米南部は面積が広いとか建てつけ地があるということで、業務代行方式をこのたび導入しました。調査、測量、設計と書いてありますが、測量には数千万必要と思います。仮同意と本同意はちょっと違ってくるので、業務代行者と地権者と十分協議の上で測量まで今年度持っていきますか。間米南部だけで結構です。

それと、測量費用は幾らぐらい大体見込んでおりますか。間米南部だけで結構です。

○予算特別委員長(近藤善人議員) 答弁願います。

河北室長。

○市街地整備推進室長(河北裕喜君) この6,040万8,000円の調査測量設計等委託料のうち、間米南部地区に宛てがっておる、想定しておるのが約4,000万ほどとなります。その4,000万の内訳になりますが、先ほど御質問がございました測量という部分につきましては、平成29年度、今年度に現況測量というものは既に進めております。来年度予定しておりますのは地区界測量という、いわゆる施行区域の境を立ち会っていくという作業になります。こちらがおおむね900万円弱します。それ以外にも区画整理設計であったりだとか、あるいは市街化区域への編入に係る資料作成等がございますので、先ほど申し上げた金額になるということがございます。

以上です。

○予算特別委員長(近藤善人議員) ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 先ほど見込んだ金額というのは4,000万ということですか。ちょっと確認をお願いします。

○予算特別委員長(近藤善人議員) 答弁願います。

河北室長。

○市街地整備推進室長(河北裕喜君) お見込みのとおりです。間米南部地区で約4,000万ということで想定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

村山委員。

○村山金敏委員 それでは、概要書の195ページ、道路新設改良……。

（予算書の声あり）

○村山金敏委員 予算書、ごめんなさい、予算書。道路新設改良事業のうちの道路新設改良舗装工事費の中で、社会資本整備事業なんです、1億3,997万3,000円のうち、30年度へ3地区上がっておりますけど、この3地区、いかほどを予定しておられますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 約8,000万ほど予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 概要の26の下のほうで見ますと、道路新設改良舗装工事事業のことですけど、これ、前の年度と同じ枠は事業費が1億2,459万5,000円と書いてあって、今回はそれより上がっているということで、区長要望の工事が1,500万ぐらいふえたかなという感じがするわけですけど、全部がそうではないということですけど、実は大きくふえてるのを見ると、国県支出金になってまして、これが1,500万ぐらいふえているということで、一般財源はほとんどふえてないわけですけど、これだけ国県支出金がふえる見込みがあるのかどうかを伺いたいと思います。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 国、社会資本のほうの交付金、一応、市町村土木補助事業もありまして、合わせてこれだけの金額を要望していきたいということで上げております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 3月の補正で1,859万1,000円、国県支出金から一般財源に振り替えられてますけど、今回も期待してるだけもらえなかった場合には、それは一般財源に切りかえてでも工事はちゃんとやるということでいいですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） そのとおりでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 どの担当課になるのかがちょっとわからなかったんですが、住宅がかかわるし、空き家の活用がかかわるからここで聞いてみようと思ったんですけど、民泊新法が6月15日から始まるということで、マンションの民泊は住宅提供業者が行政庁へ届け出の……。

（予算書で示してくださいの声あり）

○郷右近 修委員 199ページの空家対策協議会について、後から言います。

住宅提供業者が行政庁へ届け出をすると、あさっての15日から受付が開始されるんだそう、それ以降はマンションの管理組合が民泊に対する意思決定をしないと業者の届け出がそのまま認められるんだそうなんですけど、先日、外国人がかかわったのではないかと思われる殺人事件の民泊を活用した件なんかがあったりして、住んでる人や市民がわからない間にそういうことが起こってる可能性なんかのことを考えると、実態の調査なんかは空家対策協議会でそういったことは検討の範疇に入るのか、もしくはそういった今のお話の中身なんかはどの担当課になるかだけでもちょっと教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） 今の質問につきましては、今の予算の中では想定はしておりません。ただ、担当課につきましては、今の、この段階で答えるとすれば、環境課もしくは都市計画課になろうかなということで、これについては担当課はまだ決めておりませんので、今の段階ではわかりません。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 先ほど村山委員が質問した195ページの道路新設改良舗装工事のうち8,000万ということなんですけど、この3地区上がってますが、3地区が継続ですと毎年やっておられる状況ですけど、3地区の進捗の状況あたりを教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 調べますので、少々お待ちください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 毛受委員。

○毛受明宏委員 それではもう一つ、これは概要でいったほうが早いと思います。29ページの公園施設改修工事。これも十数年続けて、連続でやられておる、市内を3地区に割って順番に回しているということですけど、この辺の進捗も教えていただきたいんですけど。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） リノベーション工事だと思いますが、対象公園が市内に24公園ございます。今年度につきましては、今、はざま公園をやっております、はざま公園が完了いたしますと12公園完了することになりますので、約5割が終わるということになります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 連続で、一括で質問しますがお願いします。

192、193の道路維持事業の道路維持作業委託料、これは道路の草刈りの関係の委託料、これが昨年度に比べると840万ほどふえてるものです。それとあわせて、河川のほうの草刈りの委託料が多分196、197の関係なんでしょうか、真ん中のところに河川等維持作業委託料、多分ここの部分の1,000万、これは昨年と同じものになってますので、河川のほうの草刈りの委託の状況。

あと、公園のほうで、202ページ、203ページの公園の施設維持管理事業、樹木剪定と草刈委託料は若干、ほぼ同額なんですけど、維持管理委託料については230万ほど増しております。

それぞれ、一般質問でもしましたが、草刈りの関係は毎年少しずつ人件費がふえたりとか、面積の関係でふえてるということなんですけど、30年度の状況についてそれぞれ教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 道路の維持作業も河川の維持作業のほうについても草刈りのほうは人件費がアップした分が反映されております。河川のほうは、予算の関係で面積等を減らして、前年度と同額ぐらいに減らしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございますか。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） それでは公園のほうも回答いたします。

まず、公園の草刈りのほうですけど、ほとんど予算としては同額でございます。前回の補正予算のときにもお話ししたんですけど、できるだけ職員のほうの頑張りでもやっていたいなというふうに思っております。

あともう一つ、維持管理委託事業ですけど、これが約230万ぐらいふえてるんですが、これにつきましては皆瀬川にかかっております人道橋という木の橋がございます。これは区画整理事業でつくったものなのですが、今、かなり老朽化しておりまして危ない状態になっておりますので、ここの部分の点検等と金額が入っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございますか。

早川委員。

○早川直彦委員 192ページ、193ページの道路維持作業委託料の843万の増は、これはほぼ人件費なんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 人件費もありますが、面積がふえた部分もあります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございせんか。

富永委員。

○富永秀一委員 予算書の197ページの一番上の枠ですけども、その中の一番下、雨水貯留施設設置補助金ですが、浸透ますだとか、浸透管だとか、透水性舗装だとか、あと貯留槽などが対象ということですけど、貯留槽というのは、いわゆる雨水タンクというのが広く含まれると考えていいか。あと、補助率であったり上限だとか、そのあたりはどのように設定される予定なのかお聞かせください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 施設については、先ほど富永委員が言われたとおり、浸透ますだとか浸透槽、あと、貯留槽は雨水タンクのことを想定しております。タンクと浸透槽については100リットル以上のものを対象にして、積算上では1カ所1万5,000円、または3分の2の費用の低いほうを補助するというようで、上限で1回15万円を限度という形で

考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 予算書の203ページをお願いします。

下から6つ目の枠の中ですけれども、下水道事業特別会計繰出金5億9,500万余が上がっておりますけれども、この財源の、全て一般財源ということになってますけれども、この中に目的税である都市計画税は幾ら入っておるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

花木課長。

○下水道課長（花木喜久治君） 都市計画税がここにどれだけ充当しておるかという件でございますが、これは以前からもお答えしておるかと思いますが、決算時で御報告しておるというようなことで、当初予算で幾ら入っておるかというのはちょっとお答えはできないでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 先ほどの雨水の浸透ますの、雨水の貯留施設の件ですけど、ページは197の上のところですけど、これ、多くのメニューが、雨水を浸透させると、もちろんこの予算の目的としてはそれなんですけど、ただ、雨水タンクの場合だと、水資源の有効利用という別の目的もできますし、また、震災時にトイレに流す水として使えるとか、そういう意味もあるということなので、できれば、ただ流すよりは雨水タンクを全面に出してPRするようなことはお考えになってますでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） こちらのほうについては、4月1日号の広報で載せていきたいなということで、今、予定をしております。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（中身はの声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 委員が言われるとおり、浸透ますだとか浸透槽、いろんなメニューがあります。今回初年度ですので、均等で、全体をどんなものがあるかというPR

をしながら、それによって浸透ますにシフトして、それをピックアップしたようなPRに、槽ですね、浸透槽のほうにシフトしていくことになると思います。貯留槽ですね。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 富永委員。

○富永秀一委員 これはやっぱり、例えば先ほどの話だと、最大で15万まででしたっけ、1件。ということは、3件あるともう埋まっちゃう可能性もあるわけですけど、そうすると、例えば応募が多い場合には、小さく産んで大きく育てるというふうなお考えもあるかどうか、年度内で。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） これも先ほど土木課長が説明したように、今後どういう形で推移するかというのはまだスタートしてみないとわからないものですから、それについては。ただ、他市町村の実績などを聞いてみますと、実際は、委員言われるように、貯留槽、いわゆるタンク、貯留タンク、これが実績的にお金も安いし、実益が一番大きいのかなという、そういうことが多いのでないかという見込みは考えてます。だから、そうすると単価も割合と安くなるので、今以上な人数分ではいわゆる交付できるかなと。最終的に、もし私どもが嬉しいような悲鳴を上げるのであれば、これは私どももまた補正予算なりをお願いをしていく、そういうような気持ちであります。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 今回の雨水の件ですけれども、既に答弁があったら済みません、聞き漏らしかもしれないんですが、補助の対象とする地域というのは、いわゆる上の地域というのかな、雨水を流す上流のところであらうのがより効果的だと、治水の関係からいくとね。だから、総合治水計画があって、今回それも踏まえて設計委託するというような話だったんですが、各家庭で雨水を即側溝に流さないということを思うと、どの地域でタンクを設置してあらうのがより効果的だという地域は、多分わかってるはずだと思うんですよね。なので、どこでも誰でもということではなく、ある程度地域を限定したほうが効果的かと思うんですが、そういうような考え方で進めていかれるかどうかを教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

相羽部長。

○経済建設部長（相羽喜次君） どの地区でということは今のところ考えてません。当然

のことながら、今、議員が言われるような、例えばどの地区で有効だというのは、往々に想像つくのは、当然流下速度が速いところというのはためれば当然のことながら効果が高い。ただ、周りに田んぼがあったりだとかそういうところというのは、そうしなくたって実際たまる要素もありますので。ただ、それをこの中に入れて補助するだとか、そういうことは今の段階では考えていませんということで。

もう一点、総合治水計画の中でという、そういう話ですよ。それについては、どちらかという個人だけではなくて、市全体でどの地域からどれだけ流出抑制をしたりだとか、それを総合的に見るということで、これはまだこれから、来年度、治水計画をつくっていくことなので、今の段階でどれだけどうという御返事はできるものではございません。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 より効果のある地域はおおよそわかっているけれども、そこに限定するわけじゃないという意味がわからなくて、逆にわかっているならそこにできるだけ補助するように誘導するのが本来じゃないですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 小浮市長。

○市長（小浮正典君） 山盛委員のおっしゃってることは正しいです。全然否定しません。明確な区域とかを、それを設けるのは非常に難しいです。先ほど部長も申し上げたように、田んぼがある地域は、別に必要な地域であっても田んぼがあれば、それは保水地域としては非常に有効なんですけども、それを完全にやるとすると、豊明市、2万9,000世帯ありますけど、2万9,000世帯それぞれを調べるという非常に非合理的な話になるので、我々としては市全域として考えていきたいというふうに思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 予算書の199ページの真ん中より少し下のところですけども、聞き漏らしたので教えていただきたいんですけど、親との同居・近居購入費補助金の件数、これの件数をもう一度教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 270件でございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 それは延べの件数ですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） これは28年度から事業が行われておりまして、3年間の継続事業ですので、30年度で3年目になるんですが、28年からの人は28、29、30で終わります。ですので、30年度に予算も必要です。29年の人は30年が2カ年目になりますし、30年度の人は初年度になるので、1年を約90件と見込みまして270件ということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 清水委員。

○清水義昭委員 そうすると、これ、700万増額してると思うんですけど、何件分をふえるというふうに見込んでいるんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 何件というよりも、実績としては28年度がたしか70件でした。29年度、今、まだ現在締めておりませんが、約80件弱ぐらいになると思います。

予算としては、先ほど申しましたように、1年を90件といたしまして、3年間という形で270件の予算をお願いしてるという状況でございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 清水委員。

○清水義昭委員 これ、要綱を見ると、1件につき上限が7万円だったと思うんですけど、7万円掛ける90件だと700万円に届かないと思うんですけど。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） これは29年度当初の予算のときと若干数が変わっておりまして、その分の差が出ておりますので、今年度少し件数的に見直しをさせていただきまして、3年目となりますので、1年を90件としたほうがわかりやすいということで、それで270件分という形で、上限を7万といたしまして、7万掛ける270件という形に30年度はさせていただきました。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 清水委員。

○清水義昭委員 概要のほうがわかりやすいので、概要の47ページのほぼ真ん中あたりになると思うんですが、親との同居・近居購入費補助金のところで、29年度と比較して700万円の増額というふうになっているんですね。これが90件の見込みだったとすると、予算が、積算がオーバーしてしまうことになるんですけどという質疑です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 申しわけありません。29から30に向けては100件分を足しておりますので、トータル的には3年間で270件ということで、ならしてさせていただきまして90件という形になります。申しわけありませんでした。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 同じところで聞かせていただきますが、これも補正減で260万、3月補正で減されて、実質は1,190万が930万となって、さらにそれで700万プラスという、30年度だけで大きくまた見込みがふえるのかというふうなのか、予算の査定の過程だから補正減のことまでは考えてなかったのか、その辺をちょっと詳しく説明してください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 先ほどもお話ししましたとおり、3年目の事業になりますので、今までは70件とか、いろいろそういう予算を立ててましたが、我々としては1年90件と、今、見込みをさせてもらいまして、今後進めていくという形にしたいと思っております。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 先ほど毛受委員が言われてました3地区の進捗率ですが、大体4割程度ということですよ。

○予算特別委員長（近藤善人議員） もう一度はっきりとお願いします。

○土木課長（鈴木英樹君） 先ほど毛受委員が言われてました概要書にあります道路新設改良工事の3地区の進捗状況なんですけど、全体で約4割程度ということですよ。

（ページ数の声あり）

○土木課長（鈴木英樹君） 概要の26ページの下段です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 概要の28ページの上に、立地適正化計画策定事業ということで849万4,000円あります。そのうちの計画だけだと815万4,000円なんですけれども、これ、2年かけて計画をつくるということですが、30年度は何をするのか、それから31年度、2年目の事業費については、計画策定の総事業費でもいいんですが、どのくらいを考えておられるのかをお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

河北室長。

○市街地整備推進室長（河北裕喜君） まず、立地適正化計画、2カ年で策定をいたしますが、この策定のプロセスは、1年度目、つまり平成30年度に関係する計画の整理をしたりだとか、あとはいわゆる都市構造の評価というのをいたします。これがよく言われる人口だとか人口密度、こういったところのGISを使った構造評価というのをしてまいります。ここは、実は都市計画のマスタープランの策定のときにも一部作業としてはしておるんですが、国勢調査がその間にありまして、27年度のデータを更新をするような形で進めていきたいと考えております。

それとあわせて、まちづくりの方針並びに目指すべき都市の構造と誘導方針の検討ぐらいまでを今年度、平成30年度にしていきたいと思いますと考えております。

続いて、再来年度、平成31年度になりますが、こちらは都市機能誘導区域の中での施策並びに居住誘導区域での施策、事業といったところを、これも関係各部署の計画との整合を図りつつ取りまとめをしてまいりたいと考えております。

ちなみに、この2カ年の予算につきましては、実施計画の中でも記載がしてございます。平成30年度が849万4,000円、これは策定の委託費と委員報酬を入れてございます。来年度も同様の構成で715万4,000円というのを想定しております。これはあくまでも現時点での概算の見積もりということになります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 先ほどのページと同じ198、199の都市計画事務事業の先ほどの1つ上の同居リフォームの促進事業補助金150万について聞かせてください。

これは、昨年の予算が90万、今回150万で60万上げると、大きく上げるというふうにも見

れるんですが、60万上げた、増した理由というのは何なんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 29年度予算につきましては、委員の言われるとおり3件分でした。実際に、少し問い合わせと、あと申し込みも実際は5件ございましたので、2件分につきましては補正で対応させていただきました。その実績をもとに30年は5件という形にさせていただきました。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどの立地適正化計画の件ですが、これは委託先はどういったようなところが想定されているのか。それから、1枚めくった前のページの策定委員会の報酬が34万円上がっておりますが、これは何回開催される予定なのか、お願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

河北室長。

○市街地整備推進室長（河北裕喜君） まず、後半で御質問いただきました策定委員会の報酬についてですが、こちら策定委員会の設置の条例の中で20名以内ということでお話をさせていただいておりますが、そのうちいわゆる報酬が発生する委員さんが17名という仮置きをした上で4回分を見ております。こちらは今年度の策定の作業にあわせて適宜開催をしていきたいと考えております。

そして、委託をする業者ということになるかと思いますが、いわゆる都市計画だとか、こういった都市構造の関係に詳しいコンサルタント事業者ということになるかと思われます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 概要の29ページの上のほう、桜ヶ丘沓掛線改良工事、改良事業ですけど、これと予算書のほうの259ページに載っている調書ですけど、これを比べると、国、県の支出金だとか地方債というのは、この30年度分びったり数字が合ってるんですけど、一般財源の部分は概要のほうを見ると1億4,000万ぐらいになってるんですけど、調書では2,780万しか見込んでないわけですが、この差というのはどういうことになるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 済みません、ちょっと少しお時間いただけますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどの立地適正化計画の計画策定委託料の……。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ページ数を、済みません、お願いします。

○山盛さちえ委員 だから、立地適正化計画なので、概要の28、予算書の201です。ですが、この計画策定の委託料815万4,000円はどのようにして決まっていったのか。見積もりをとられたのか、どうされたのか、他市の既に計画策定しているところもあると思いますので、そういった状況もあわせて教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

河北室長。

○市街地整備推進室長（河北裕喜君） 今回、この予算の計上に当たりましては、先ほどお答えしたようなコンサルタントから3者見積もりをとって最も安い事業者の見積もりを計上させていただいております。あと、関連する周辺の市町で実際につくっている自治体の委託費というところかと思いますが、ある程度把握はしておるんですけども、それぞれ都市の構造、例えばですけれども、今、お話をかねてよりしております、例えば都市機能誘導区域の場所、想定する場所だとか、そういった居住誘導区域の範囲、あとはそれぞれの市町の面積であったりだとかということも含めて、あと、もう少し具体的なお話をすれば、直近の誘導区域における事業を想定しているものがあるかだとか、そういったことで結構各市町がそれぞれ状況が違うので、必ずしも横並びというわけにはいかないかなというふうには考えておりますが、金額としては妥当かというふうには考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 予算書の204ページ、205ページの緑化事業費のところの地域花いっぱい運動の補助金について聞かせてください。

これも3月補正でマイナス10万円、90万だったものが80万となりました。予算上は95万となっているんですが、新たに手を挙げたところがあって30年度はふやすということでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 団体数としては一緒なんですけど、これ、10万円ということで補助しておるんですが、その10万円、今までもらっていたある区さんが5万円がいいということに、規模を縮小したいということになりまして、10万円補助のところは5万円になったものだから、その分減額になったものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 これ、補正減されてて、90万が8万になって、今回は95万となっておりますので、やめたところがあって、また新たに加わったところがあるということでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 申しわけありません。今、私、反対のことを言ってしまうと、5万円のところが10万円になったということがございます。それで、プラスの5万円という形になっております。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございますか。

早川委員。

○早川直彦委員 3月の補正で10万円減で実質8万とあって、団体数が変わってるのか、減ったのとふえたのがちょっとわかりにくいですので、その辺、ちょっと関係を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 3月の補正では1つの区がやめられました。30年度につきましては新たな区が加わっていただいたものだから、そういうことがございます。

申しわけありません。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 概要の28ページの上、予算書の201ページの一番上の立地適正化計画策定業務ですが、815万4,000円の内容ですけれども、本会議の質疑の中で、国はいろいろ誘導のための補助メニューを持っていて、そのメニューについては、検討の俎上にあるけれども、今はちょっと申し上げ……。委員会でしたっけ。という答弁だったというふうに思いますが、これは条例のほうの審査だったので、それでもいたし方ないかなと思うんです。

が、策定の効果のことを、費用対効果を考えれば、ここでは考えられる補助金のメニューについて御提示いただく必要があるかなと思いますので、額等は別として、どんなメニューが考えられるかというぐらいはぜひ説明をしてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

河北室長。

○市街地整備推進室長（河北裕喜君） 立地適正化計画に係る予算、金融上の措置、支援措置の一覧というのが国のほうから出ております。この中で、私ども豊明市の計画、実際に事業を進めていくものとどういった形でマッチをしていくのか、整合を図って予算が、いわゆる補助がとれていくのかということについては、先ほど申し上げたように、30、31年の2カ年で、実際には策定をしながら各課の事業とすり合わせをしていって、補助の対象になるかどうかというのをさらに精査をしていくということになります。

あともう一つは、この2カ年の間に、補助の支援のメニューであったりだとか、制度そのものも今、流動的に変わっているところがありますので、期待するところとしてはふえたりだとかというものもあると思うんですが、一方で補助の対象から外れていくものも場合によってはあるのかというふうに考えております。

ただ、1つ、2つ例示をいうことでありましたので、今、例えばですけれども、立地適正化区域内、計画の区域内でいうと、今回、都市計画区域がこの計画の区域になりますので、豊明市内全域でということになれば、例えばですが、都市・地域交通戦略推進事業と言われる、いわゆる地域公共交通のこういったものも補助の対象になるというふうに今の時点では聞いておりますので、実際に今、進めている事業との整合というのをこの2年間で調整して補助の対象としていけるようにというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

近藤課長。

○都市計画課長（近藤 潔君） 先ほどの富永委員の宿題の部分ですが、概要の29ページの桜ヶ丘、ここの財源の内訳の部分ですが、あともう一つが予算書の259ページのほうの債務負担の表になります。259ページの債務負担の表につきましては、国庫補助対象事業だけでございまして、この概要書の29ページのほうは、市の附帯工事等の単独事業費分も入っておりますので、そこの部分の違いがこの一般財源のところにあられてるということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございますか。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） 先ほど富永委員がおっしゃいました概要書の7ページの最下段の21、22番の委託の件でございますが、28年度から比べますと、1割ずつぐらい設計は高くなっております。1割ずつぐらい設計が高くなって、その高くした額で予算を計上しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 概要28ページ、予算書201ページの立地適正化計画策定事業について、今、補助メニューとしては公共交通の部分が当たるんじゃないかということでしたが、その下の、概要の下のところに書いてあります寺池地区とか間米南部地区の区画整理等に係る部分についてもその対象になる可能性というのは、事業、補助メニューとしてはあるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 河北室長。

簡潔にお願いします。

○市街地整備推進室長（河北裕喜君） 可能性としては十分あると考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） これにて8款 土木費の質疑を終わります。

ここで10分間の休憩といたします。

午後3時14分休憩

午後3時24分再開

○予算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、9款 消防費について順次説明願います。

稲垣消防総務課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 9款 消防費について、豊明市一般会計予算のうち、消防本部所管分の歳出から主なものについて御説明させていただきますので、予算書204、205ページをお開きください。

9款 消防費は、消防広域化に伴い大きく形が変わっておりまして、市の直接事業として、市役所防災防犯対策室に所管がえの上、予算項目が残るものと消防組合負担金にかわ

るものの2つに分かれますので、その流れに沿って御説明させていただきます。

205ページの下欄の最上段、常備消防活動事業では、愛知県防災ヘリコプター運営協議会負担金及び女性防火クラブ交付金といった事業が市の直接事業として残ります。尾三消防組合負担金については、同組合の予算額35億1,000万円余から旧尾三消防組合の公債費を除き、各市町の分担金以外の歳入を充当した額の21.5553%の7億2,536万2,000円が本市の負担金となっております。前年度までの消防人件費や消防施設事業といった消防本部に係る費用に加えて、尾三消防組合の議会費を初めとする共通経費がこの負担金で賄われることとなります。

続きまして、206、207ページをお開きいただき、207ページの最上段、1事業、非常備消防活動事業については、消防団事務は引き続き市で行ってまいりますのでほぼ同じ構成となっております。前年度比45万6,000円の減は、消防戦闘用に使用するホースの配備が終了したことが主な理由です。

続きまして、208、209ページをお開きいただき、209ページの最上段、消防施設設置事業については、コンビニAED事業及び水利に係る事業が市の直接事業として予算項目に残ります。金額については、説明欄、AED借上料は同額、防火水槽設置工事費は43万2,000円の増、立上り消火栓等補助金については35万円の減となっております。

続きまして、その下、2事業、消防施設維持管理事業については、消防団施設及び水利施設にかかわる事業は残ります。各予算項目の金額については、前年度と同額またはほぼ同額となっております。

続きまして、歳入の主なものについて御説明いたしますので、60ページをお願いいたします。

14款 県支出金でございます。4段目、7目 消防費県補助金、61ページ、1節 消防施設費補助金としまして、消防団の資機材の整備費用に充てる南海トラフ地震等対策事業費補助金220万4,000円でございます。

以上で消防に係る9款ほかの説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 続いて説明をお願いいたします。

石川防災防犯対策室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） では、9款1項 消防費のうち、4目 災害対策費について、歳出から事業別に主な箇所を御説明いたします。

208、209ページをお願いします。

右ページ、1 災害対策事業は1,117万3,000円です。説明欄最上段の消耗品費ですが、更新を迎える非常食や保存水などの備蓄が38万3,000円の増額となっております。そのほか

は昨年とほぼ同額でございます。

続きまして、その下段、2 災害対策事務事業は1,824万4,000円です。説明欄、上から3行目の防災・消防団業務ですが、これは新年度より運用開始する消防の広域化に伴い、消防団事務、消防水利に関する事務、あるいは防災業務の補助などを行うため、一定程度の専門的知識を有する者を非常勤一般職員の一般事務員として雇用したいと考えておりますので122万6,000円の皆増となっております。

なお、この非常勤の一般事務員は2名雇用する予定で、勤務形態は平日の9時から午後3時の5時間を交互に1日置きで勤務する方法を考えています。

次に、その下、講師謝礼は、いわゆるHUG訓練の指導などを行っていただいているボランティア団体へ報酬を支払うため、10万円の増となっております。

次に、説明欄、下から3行目、印刷製本費は4万8,000円の増です。これは、大規模災害時において、個人や法人が所有する貨物車両等を物資搬送活動に御協力いただく災害時協力車両登録制度において登録いただいた車両に張っていただくためのステッカーを作成するためのものです。なお、本件は当初予算の概要30ページにも主要事業の概要として記載しております。

1枚おめくりください。

211ページ、説明欄6行目、防災行政無線免許更新委託料は70万9,000円の皆増です。電波法の規定により無線局の免許の有効期間は5年と定められており、新年度に再免許を受ける必要があるためです。その3つ下、全国瞬時警報システム受信機更新工事費は312万円の皆増です。これはいわゆるJアラートの受信機の更新工事となり、31年度より使用不可となる現行の受信機を充当率100%の起債事業で更新するものです。そのほかは昨年とほぼ同額でございます。

次に、歳入について主なものを御説明いたします。

60、61ページ、最下段をごらんください。

14款2項7目 消防費県補助金、右ページ、2 災害対策費補助金は115万4,000円です。車椅子などの要配慮者用備品や備蓄食料等に対する補助金となります。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。

9款 消防費について質疑に入ります。

稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 資料の説明をさせていただきたいのですが。

○予算特別委員長（近藤善人議員） お願いします。

○消防総務課長（稲垣 聡君） よろしくお願ひします。

消防本部所管分の資料について御説明いたします。

消防本部からは、尾三消防組合負担金 7 億 2,536 万 2,000 円の内訳と平成 29 年度との違いがわかるものとしての 2 つの資料を提出いたします。

それでは、尾三消防組合負担金 7 億 2,536 万 2,000 円の内訳をごらんください。

この資料は、尾三消防組合の平成 30 年度一般会計予算案をもとに豊明市が負担する 7 億 2,536 万 2,000 円の内訳を御説明したものです。

なお、尾三消防組合の予算案につきましては、尾三消防組合議会において審議いただくものでございますが、本市の負担金の内訳をお示しするため、組合議会の前でございますが、ここに示させていただきますのでよろしくお願ひいたします。

では、資料の上段、尾三消防組合、歳入歳出の本年度予算案については 35 億 1,007 万 1,000 円でございます。ここから分担金以外の歳入の額及び公債費の合計 1 億 4,494 万 7,000 円を引いた額が分担金対象額 33 億 6,512 万 4,000 円でございます。その金額を 5 市町で案分し、本市の負担金の 7 億 2,536 万 2,000 円が算出されております。

では、その下の表、負担金の内訳を御説明いたします。この表は款項についての予算額を示しており、それぞれに分担金以外の歳入額を充当し、その額を分担金対象額としてその額に本市の分担率 21.5553% を掛けることで款別に本市の負担金をお示ししました。

1 款 議会費は、予算額 162 万 5,000 円に対し、豊明市負担額 35 万円は、組合議員 18 人分の報酬、旅費です。

2 款 総務費、予算額 31 億 7,420 万 5,000 円、豊明市負担額 6 億 7,022 万 5,000 円は消防本部の需用費、消防組合全体に係る電算機器システムの借上・保守料、職員の人件費などです。

3 款 消防費、予算額 2 億 5,037 万 8,000 円、豊明市負担額 5,370 万 9,000 円は、消防・救急車両の維持管理経費、職員の被服、資機材の点検、購入、救急救命士を初めとした職員の教育費、通信指令維持管理経費、各署所の維持管理経費等です。

4 款 公債費、予算額 7,886 万 3,000 円は、現在の尾三消防組合としての債務であり、日進市、みよし市及び東郷町が負担するもので、本市の負担はございません。

5 款 予備費、予算額 500 万円、豊明市負担額 107 万 8,000 円は、緊急的な予備費でございます。

次に、裏面、消防広域化による変更点をごらんください。

平成 29 年度の違いがわかるものということで、こちらの資料を御用意させていただきました。この資料は、平成 30 年度豊明市予算の概要から、消防広域化に伴って平成 29 年度か

らの変更点とあわせて、右の欄、尾三消防組合へ移る事業と豊明市に残る事業のうち主な事業をお示ししております。

具体的には、2款の総務費、秘書人事管理費の1億5,498万5,000円の減額は共済費や健康診断の委託料の消防職員分であり、平成30年度からは尾三消防組合負担金に含まれることとなります。

中段、9款 消防費、常備消防費5億4,875万8,000円及び消防施設費5,690万8,000円の減額は常備消防の運営に必要な事業を尾三消防組合へ移すことによるもので、こちらも平成30年度から尾三消防組合の負担金に含まれることとなります。

最下段の表はこれらの予算の減額の合計7億6,065万1,000円を尾三消防組合の予算対象となる額とし、尾三消防組合への豊明市負担金7億2,536万2,000円と比較したものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。

質疑のある方は挙手願います。

三浦委員。

○三浦桂司委員 消防の前にちょっと。災害対策事務事業、概要の30ページです。災害時協力車両登録事業、金額は4万8,000円ですが、先ほど、軽トラの部隊の編成だと思うんですけども、このステッカー、現在何台が登録しておりますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） 昨年の夏ぐらいに暫定的に各区に対して調査をさせていただいたところ、20台強の手を挙げていただいている方がおみえになります。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございますか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 最終的に何台ぐらいを目標にしておりますかね。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） 将来的には50台を目標に適宜募集をかけていきたいと、そのように考えております。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 私のところにも区のほうから登録してほしいという依頼が来たんですけど、承諾したんですけども、内容が紙切れ1枚でちょっとよくわからなかったんですけども、ほかの人も多分十分理解できていないと思うんですが、災害発生時に、誰がトップで、どこでいつ車両を出すのかって、誰の指示に従うのかというのは、大枠はもうできておりますか、これからですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） 災害発生時において、個人だとか法人が所有する軽トラックなどの車両をあらかじめ登録いただいて、有事の際には物資搬送などで御協力をいただきたいというふうに考えているものでございます。

実際の運用は、災害対策本部の長である市長が必要と認めた場合に、区長様あるいは防理事様を通じて御協力をお願いする、そのように考えております。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 同じところですけども、今回の予算というのは、ステッカー何台分になっているのかということと、あと、これは常時張ってもらうという想定なのか、災害時なのかという運用についても教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） まず、予算の4万8,000円ですが、これは1枚880円が50枚で算定をしております。また、そのステッカーにつきましては、ふだんから張っていただくことによって地域の皆様の防災意識の向上を図りたいというふうに考えておりますので、通常時からその貼付をお願いするものでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 このステッカー、常時張ってもらうということになると、当然、紫外線だとか水には強いような仕様にされるということですよ。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） 以前にそういった失敗があったようですので、同じことがないようにしたいと思います。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 常時から張ってあるということだと、ステッカーのまだ登録商標の案だと思んですが、災害時のときに、例えば大金星のまちという部分を、それが適切かどうか、やっぱり心情から考えると、災害対策車両でもいいのではないかなという、その辺はどういうふうに考えればいいんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 小浮市長。

○市長（小浮正典君） 災害時において、大金星のまちについて気にされる方というのは、私は想定しておりません。

実際には、我々が想定しているのは、民間事業者とも運送の部分について協定を結んでるんですけども、運送事業者のほうもいろんな、自分たちの本業としての業務があるので、どこまで本当に手伝っていただけるのかわからないわけです。どれぐらいの避難所が運営されるのかも正直災害の規模によってわかりません。それに合わせて地域の皆様にその避難所のほうへ物資の中継拠点となる花き市場であるとか中京競馬場前から避難所のほうへ運んでいただけるのに協力いただける方を、地域のほうから募りたいと、そういった考えでおります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書207ページ、1項2目 非常備消防費、先ほども説明があった尾三消防連絡協議会負担金25万円は、尾三消防と豊明市の消防団の皆さんが定期的な協議の場があって、そこへ参加するための費用というか、そういう意味合いのお金ということでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） そのとおりでございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 具体的に言うと、その協議会場が市外なので、その往復のための移動の実費とか、そういった趣旨なんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） それも含まれておりますけども、それに含めまして、いろんな事業も催してますので、その金額だと思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 209ページ、災害対策事務事業の中の講師謝礼、HUG訓練と伺いました。とても好評なんですけれども、これは何回分を想定していらっしゃるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） 年間10回を予定をしております。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 同じく209ページの災害対策事業、その中で災害時の協力井戸水質等分析調査委託料とありますけど、これは登録してあるやつの水質を分析するという事によろしいですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） 現在、市内で75の御家庭から登録をいただいております、その中から20を選んで、毎年検査をしているものでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 毛受委員。

○毛受明宏委員 20ということですけど、75の中で、今、例えば井戸というのは飲料で使えるとか、そういうのもあるんですか、現在。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川室長。

○防災防犯対策室長（石川賢治君） 検査はしておるんですけども、飲料としての検査ではございません。洗水だとかちょっとしたもので使う水で使用するということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の205ページの一番下の枠です。広域化によって、先ほどの資料のほうでも説明がありましたが、いろんな補助金、例えば危険物安全協会補助金が尾三へ移る、昨年まであった少年消防クラブ関係の交付金、負担金がここから消えています。一方で、女性防火クラブ交付金はそのまま市に残る事業として上げられています、その理由をお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） これは、協議の中で、少年消防クラブは、尾三消防組合の中で事務を行うということでこちらのほうに移動しました。女性防火クラブにつきましては、これも話し合いの結果、市へ移管というふうになりました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 総務のほうにも関係してくるので、消防でまとめてということだったので伺いたしますが、2款1項の2目の秘書人事管理費の中に尾三消防派遣職員負担金1,800万が入っていて、これは出で入っていて、入のほう、雑入だったかな、入のほうで……。ちょっと待ってください、ページ数言いますね。

(79ページですの声あり)

○山盛さちえ委員 79ページのところに負担金として、今度は市に入ってくるお金で1,258万円というふうになっていますが、ここは、今、いただいた広域化による変更点の中には含まれていないのでしょうか。これを含めるとどういう状況になるのか教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） まず、こちらの変更点のほうでございしますが、ここはあくまでも予算の概要から引っ張ってきた数字でございまして、2款の秘書人事人件費がマイナスの154682になっておりますけども、消防広域化の変更点のほう、ここに秘書人事人件費ということで、マイナス154862という数字が上がっております。この中に、予算の概要のほうをお目通しいただくとおわかりいただけるんですけども、ここにうちのほうで払う1,800万円が、ここに入り込んだ中でこの相殺という形の数字になっております。それで、入のほうですけども、こちらのほうはあくまでも歳出のほうで変更点のほうを作成させてい

いただきましたので、ここにいわゆるうちのほうから派遣する職員に対する、尾三消防組合からのお金は後でここに入ってくると。これとは別に歳入で入っているということになります。

よろしいでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 ということからいくと、結局のところ、差額、一番下の枠の差額というところの数字がどういうふうになってくるんですかね。広域化によって、市が消防に負担するお金が結局どうなるのかというのをちょっともう一回教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） この差額が、542万円の差額が出ます。しかし、尾三消防組合から派遣する職員は2人、豊明市から尾三消防組合へ派遣する職員は1人になります。ですから、その差額が542万円ということなんです。ですから、そういう意味で、2人と1人ということで542万円分は相殺するというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 それはわかるんですけど、計算上わかるんですけど、それが広域化による市の負担の差額という点で見ると、ここに今、一番下に三角で3,500万円余書いてありますよね。そこの影響がどうなるかというのを知りたいんですけど。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） ですので、ここのほうは、まず広域化の変更点のほうで、歳出だけで書かさせていただきました。ここにまずうちのほうが払う1,800万円のほうはもう入ってます、既に。その結果のマイナス3,500万という形になって、ここに歳入を、要は差し引きしていただくと、この35289に対して歳入が1,258万ございますので、そのプラス効果があるというふうに御理解いただければと思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 質問が外れてしまうかもしれませんが、4月から消防が広域化され、この資料をいただいたんですけども、予算も含めて、区長が交代される区が多数あると思いますけども、立ち上がりの消火栓の点検とか申請とか消防団の依頼、変更する部分を消

防団とか、各区、各町内にどのように伝達していますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） これは、広報、それからチラシも広域化に伴いまして出しました。それから、あと区長会等を通じて周知をしていきます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 小浮市長。

○市長（小浮正典君） 補足します。区長会、全体の27区の区長さん、それから副区長さんに集まっていた会話は、例年4月の末に予定しております。4月の末に区長さんや副区長さんには周知したいと思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） 補足で申しわけございません。ちょっと確認しておりました、時期を。区長宛てには、まず、今の区長さん宛てにこういうふうな形で市の窓口が市の防災防犯対策室になりますよという案内文書をあす発送すると、こういう予定でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 今、一番上のところの、広域化による変更点の一番上の人事秘書管理費を29年度と30年の予算書を見たんですが、ここには確かに1,800万円が入っているんで、共済組合とかから消防の職員が抜ける分と、それから負担がふえる分が、今、この計算上出てきているという、そういうことですか。その人数なんですけど、広域化のときに、事務職と、それから消防吏員でしたっけ、2つ部というか課というか分かれていて、どちらが何人減って、消防職員のほうは、現場に行くほうは56人のままだったかな、変わらないとかって、何かそういうような人数の変動の説明があったかと思うんですが、29年は全員分で、30年のというか、広域化による豊明市の職員分というのは、7億2,500万円の内訳の総務費の1項の総務管理費の（正職335人）と書いてあるんですが、この中の何人に当たっていて、その2つの総務と消防と分かれたときに何人ずつなのかというのを29年と比較して教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） 実際には一緒になるものですから、豊明市の職員が何人という

ことは出せないということになるんですけども、1つの出し方として、予算人員が335人、これに対して本市の負担割合が21.5553%、これに乗じますと72.何人にとりいう形になりますので、人をちぎるわけにはいかんですけども、およそ72人分というようない形、これに対して当初予算は74人、正規職員は74人で組んでおりますというようない形でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございせんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 さっきお願いしたのは、いわゆる事務方さんと、それから消防職員のほうとで、現状と広域化前と広域化後とどうなりますかということであれば教えてもらいたかったんですけど。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） これも以前の説明のときにもお話しさせていただきましたけども、いわゆる署所、現場のほうの人数というのは変わりはございせん。53人プラス、それに加えて、今、2階にいる予防の人間が署に移りますので、いわゆる消防署、それから出張所に勤務する人数というのは58人という見込みでございせん。じゃ、結局残りが、先ほど言った案分でいく72.何人分かの残りということになりますので、結局総務に関しては豊明の事務だけやるわけじゃないものですから、新たな尾三消防組合の事務を総務としてやるものですから、それを、じゃ、豊明市の事務分が何人かということになると、それははっきりは出せませんので、先ほど言った約72人、予算人員から豊明市が負担すると思われる理論上の人数72人から、それから現場における人数58人を引けば、その残り14人が、いわゆる事務的なこと、通信も含めてやると、こういったような考え方で御理解いただければと思ひます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 29年度においては、事務部門と、それから消防合わせて何人で今現在業務をしておられたんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） 29年度でございせんけども、28年度に退職があつて、そのまま退職補充しておりせんので、74人で事務をやっておりました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 その中に消防長とかも含めてなので、今回広域化の1つのメリットとして、総務部門の人員が広域化によって効率化されるということだったんですが、そうすると、74と72分を市が負担するという、この2人分がちょうどというか、偶然かもしれませんが、うちから消防広域化によって移らない、削減される分にぴったり当たるのか、それともそれ以上かそれ以下かというのはどんな状況でしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） こちらのほうの比較、目安としてつくらせていただいたとおり、こちらのほうの金額が3,500万という形で上がっております。これがいわゆる予算、単純な前年度と30年度の予算の比較という形になって、こういった数字が上がってきております。2人分で1,800万円という、これは説明するに当たって、ちょうど人数の変動が、今現在74人おって、それが大体72になるということで、説明しやすいというか御理解いただきやすいということで800万掛ける2人の1,600万というような形で説明をさせていただいたところでございます。

ごらんいただいたとおり、こちらのほうの、うちのほうのいわゆる2款の秘書人事人件費の減、それから消防人件費の減、それに対して、尾三のほうの人件費のほうを見ますと、そこまでは、理論上の1,600万までは行ってませんけども、1,000万程度の減額効果が出ておると。なぜずれが生じたかという、これ、あくまでも予算上での話でございますので、29年度から30年度のいわゆる人件費のベースアップとか、制度改正の部分とか、そういった他の変動要素もでございます。あと、尾三のほうの予算の立て方といったこともございまして、例えば時間外手当を災害に備えてどれぐらい見るかということもございまして、聞いたところでございますと、尾三のほうは大規模災害に備えて、予備費も、とにかく自分のところしか財布がないわけですので、予備費も少ない中でやはり時間外手当はしっかりと確保したいということで、予算上、時間外手当はうちに比べると割合としては大きくなってのかなと思います。そういったこともあって、大体1,000万ぐらいは、今のここの、先ほど山盛委員の御質問の件の中では1,000万ぐらいは減っております。

いずれにしても、事人件費に関しましては、本来このまま単独消防のままでいけば78人職員数が必要になります。現状、雇用してないので机上の空論ではないかという御意見もいただきましたけども、ただ、実際、29年度、それから30年度と2年続けて職員採用を行っていないという非常に珍しい事実が起きてるわけでございますので、こういった事実からも導かれますように、事人件費に関しては明らかに削減効果はあるということは申し

上げることができるということを申し添えます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君） 増減は多少あると思うんですけども、ただ、言えることは、72人分職員の人件費で335人の職員を雇うことができるということは、非常に人件費を削減することなく評価できる大きなメリットだというふうに認識しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 74人のところ、消防長ともう一人どなたかということで、事務の効率化で72人の職員が、実際、広域消防のほうに移管というか、かわられたという、人数的には変わらない72人でいいですね。もっと少なかったとかやめてしまったということではなく、そのまま平行移動ということで間違いないかどうかという、まず1つ。とすると、72人が移って72人分の人件費を払っておることになると、そういう意味では変わらないのかなというふうに思える部分が1つ、それから、人件費が豊明市と、それから尾三消防と若干給与表に変わりがあったので調整するというような話があったんですが、その調整による影響みたいなものがもしわかれば教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

簡潔にお願いいたします。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） まず、尾三へ移る人間は72人という御理解で結構でございます。

それから、あと何でした。

（給料アップの声あり）

○消防長（土屋正典君） 給料に関しましては、現給保障ということで直近上位に張りつけることを原則としておりますので、級が変わらなければ尾三と同じ給料表を使っていますので同じ額というような形に、同じ級号給ということになりますね。いわゆる、尾三職制に合わせて昇格があるとか、事実的な昇任があるとするれば、ごめんなさい、事実的じゃなくて、尾三の職制に合わせて級をかえないといけない場合があるとしたら、それは直近上位ですので、誤差としては数百円かそこらの話になります。

いずれにしても、今の豊明市の給料をベースにしますので、そこから大きく水準が上がるということはありません。現給保障でございますので。という形で。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほど質問した205ページの一番下にあります少年消防クラブは尾三のほうへ、女性防火クラブ交付金は豊明市に残るという、協議した結果というお答えでしたが、その理由までお聞かせください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） これに関しては、まず大原則として非常備消防に係る部分、いわゆる消防団、これに関しては市の所管、固有の事務であるということで所管にすると。女性防火クラブもそれに類するといえますか、準ずるという考え方で、これは特に異論もなく、それぞれ今現在も市町2市1町がそういったような関係のところをやっておりますので、ここは何も異論もなくそういう形になりました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 209ページの一番下の枠の上から3つ目の防災・消防団業務、2人分122万6,000円、先ほど、広域化によるもので9時から3時まで、1日置きに2人という説明だったんですが、総務のほうの2人分の1,800万でしたっけ、負担金払いますよね。その2人分の負担金を払って、豊明のほうの消防団とかの業務をやってもらうんだという説明を聞いたような気がするんですが、ここにもまた消防団業務2人分が出てきて、ちょっとよくわからないんですが、その辺の説明をお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） 市のほうに移管する業務でございます。今現在は消防総務課の庶務担当のほうで4人が担当しております。4人が担当しておる中で、そこでいわゆる今回移る事業というものに関しては、ほぼほぼ半分ぐらい、2人分、2人足ぐらいは要るのかなと。それに加えて、予防のほうから市役所へ移る業務、それから消防署のほうから、例えばAEDの関係とか、コンビニAEDの関係とかそういったものも市役所に移ります。そういったものから考えると3人やそこらは欲しいと、人数としてはね。そういう形になります。これに関しましては、どちらにしても、円滑な広域化を果たすために、広域化によって市民の皆さんとか、あるいは消防団とか、そういった関係団体の皆さんに御迷惑を

かけるようなことがあってはならんものですから、そういったことを円滑に移行するために、そのために組合から最初は2人を派遣してもらおうと。ですから、これはたしかいわゆるこっちから派遣するのは1人で向こうから来るのは2人だもんだから、1人分持ち出しというような形になるんですけども、これに関しては円滑な移行を果たすためのいわゆる時限的な初期投資費用であるというような形で御理解いただければなというふうに思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 私が伺っているのは、1人と2人の入れかえというか、という部分じゃなくて、209ページの122万6,000円、この2人を負担金で払った人、2人分の負担も払いつつまた給料払うって変でしょう。だから、そこを説明してもらいたかった。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） 済みません。ちょっと誤認をしておりました。こちらは、122万6,000円というのは、我々の組合消防のほうから派遣する2人とは別に、非常勤一般職として、実質2人を雇うんですけども、交代、シェアして働きますので実質1人分、2人と、あとそれとは別に1人分ということですので、負担金とはもともとだから話が違うと、こういうことでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 それはわかっているのですが、そこまで広域化によって負担金も2人分払い、さらに延べ1人というか、延べじゃない、実際1人分の122万6,000円も必要になっちゃうんですかと。それほどの業務があるのか。それが、いただいた資料の広域化による変更点の中のどこに入って……。これ、入ってますか、その分は。お願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君） まず人数に関しては、先ほど3人は人数としては欲しいというようなことはお答えいたしました。それで、あとこちらの変更点なんかは122万6,000円ですけれども、ここの中には入っておりません。これはあくまでも説明のためにいわゆる予算の概要から引っ張ってきた話でございますので、そこは御理解いただければと思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員　ということは、この広域化によって今の122万6,000円分は追加でかかると、ふえる。なので、差額として計算すると結局どうなるのかという、最終的に数字で教えてください。額的に何と足したことになりますとか、そうじゃなくて、実際どのくらいコストダウンになるのか、それが一番の広域化の皆さんが提案されるときにのメリットだったので、そこ、ちゃんと言っていただけないとわかりません。お願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員）　答弁願います。

土屋消防長。

○消防長（土屋正典君）　ですから、こちらのほうに関しましては122万6,000円、これは消防団事務、それから、もちろん災害等の事務もやってもらいますけども、その分というのはここには入っておりませんので、マイナス35289から削減効果としては1226を減じていただければという形の御理解でよろしいかと思えます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員）　ほかにございませんか。

稲垣課長。

○消防総務課長（稲垣 聡君）　先ほど少年消防クラブの交付金の18万円のことについてですけども、尾三ではなくて学校教育に移管しましたけども、予算の編成段階で、ゼロ予算で各学校がこれでこれまでどおり実施することとしてあります。したがって、29年度は18万円でしたけども、30年度はゼロということになっております。

以上です。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員）　これにて9款　消防費の質疑を終わります。

9款に関する職員の方は静かに退席していただきます。

（全然静かじゃないの声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員）　9款の職員の方は静かに退席をお願いします。

山盛委員、着席してください。

続いて、10款　教育費について説明願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君）　それでは、学校教育課所管分について説明をさせていただきます。歳出の主なものから説明をさせていただきます。

予算書の212、213ページをお願いいたします。

213ページの最下段、10款1項2目3　事務局事務事業は1,755万5,000円で、29年度と比較しまして1,014万1,000円の増額です。これは、213ページ、説明欄、下から5行目、電算

関係委託料、こちらのほうは学齢システム導入委託などで317万9,000円の増、1枚おめくりいただきました215ページ、最上段、電算関係借上料、こちらのほうは校務支援システムの導入により699万1,000円の増などによるものであります。

中段の3目1 教育振興事業は、予算額5,192万2,000円で、871万8,000円の増額であります。これは、215ページ、説明欄、下から3行目、小中学校英語指導委託料で722万3,000円の増、1枚おめくりいただきました217ページ、説明欄、上から5行目、学校プール指導業務委託料で223万1,000円の増によるものであります。

下段に移ります。3 教育相談事業は、予算額1,421万1,000円で、212万2,000円の増額であります。これは、ことし1月に開所しました南部教育支援センターの増設に伴い教育相談員を1名増員するもので、254万7,000円の増であります。

予算書を1枚おめくりいただきまして、219ページ、4 教育振興事務事業は、予算額2億353万9,000円で、528万1,000円の増額であります。これは、特別支援教育支援員をことし、29年度の37人から4名増員し、41名体制にするもので、説明欄の中段、特別支援教育支援業務で658万2,000円の増額などであります。

1枚おめくりいただき、220、221ページをお開きください。

中段の2項 小学校費、1目1 小学校維持管理事業は、予算額4,871万円で、791万4,000円の減額です。これは館小学校のプール塗装改修工事などの営繕工事が終了したことによるものであります。引き続き市内小学校の3年生、4年生を対象としたトイレの改修工事設計業務委託を実施し、便器の洋式化は進めてまいります。

1枚おめくりいただき、222、223ページをお願いいたします。

2目3 小学校扶助事業は、予算額1,929万7,000円で、56万8,000円の増額です。これは、平成31年度入学児童に対し就学援助の入学前支給を行うためのもので、要保護・準要保護就学援助費の60万9,000円の増などによるものであります。

1枚おめくりいただき、224、225ページをお願いいたします。

3項 中学校費、2目3 中学校扶助事業は、予算額2,862万円で、141万9,000円の増額です。こちらも小学校と同様に、平成31年度入学生徒に対し就学援助の入学前支給を行うためのもので、要保護・準要保護就学援助費を142万2,000円増額するものであります。

続きまして、少し飛んでいただいて、246ページ、247ページをお願いいたします。

10款5項3目3 給食センター維持管理事業は、予算額5,378万6,000円で、2,205万6,000円の減額であります。これは説明欄の下から2行目、営繕工事費の2,062万6,000円の減によるもので、栄調理場の床塗装改修工事が終了したことによるものです。

続きまして、歳入の主なものの説明をいたしますので、前に戻っていただいて、48ペー

ジ、49ページをお願いいたします。

13款2項6目1 教育振興費補助金は、2,420万6,000円であります。これは、幼稚園就園奨励費補助金とどよう塾に対する地域未来塾事業補助金でございます。また、教育支援体制整備事業費補助金は、定住外国人日本語教育推進事業プレクラス・プレスクールによるもので、例年補正予算で計上しておりましたが、今回は当初予算より計上させていただいたものです。

続きまして、62、63ページをお開きください。

14款2項8目1 教育振興費補助金128万2,000円は、どよう塾に対する地域未来塾補助金とスクールソーシャルワーカー活用事業費補助金であります。

続きまして、76、77ページをお願いいたします。

19款5項4目の一番下、5 学校給食費徴収金2億7,027万円は学校給食費実費徴収金であります。

以上で学校教育課所管部分の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 続けて説明願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） それでは、生涯学習課所管分の当初予算について主なものを説明します。

歳出より説明します。

予算書の234、235ページをごらんください。

10款4項4目 文化財保護費は、617万7,000円の減です。これは、主に大狭間湿地土地購入費がなくなったことによるものです。新規事業としましては、戦人塚改修工事を計上しました。

236、247ページをごらんください。

7目 文化会館費は、3億4,121万円の減です。これは、主に人件費、営繕工事費を含む維持管理費がなくなったことによるものです。

238、239ページをごらんください。

8目 青少年対策費は、640万4,000円の増です。これは、主に三崎小学校放課後子ども教室運営事業を計上したことによるものです。

240ページ、241ページをごらんください。

1目 保健体育総務費は、129万円の減です。これは、スポーツ推進計画書の印刷製本費がなくなったこと及びスポーツ推進員のウインドブレーカー等の購入がなくなったことによるものでございます。

242、243ページをごらんください。

2目 体育施設費は、6,365万7,000円の増です。これは、次ページ、説明欄、体育館等営繕工事に勅使テニスコート改修事業が組み込まれたことによるものです。

260ページをごらんください。

債務負担行為で、平成31年度以降にわたるものについての調書について説明します。下から2段目、文化会館に係る指定管理者の指定は、平成30年度から5年間としており、平成30年度から平成34年度までの支出限度額は4億6,163万円です。

続いて、歳入について説明しますので、38、39ページをごらんください。

使用料、7目 教育使用料の社会教育使用料は、506万6,000円のうち生涯学習課分は図書館部分を除く505万円です。

その下、保健体育使用料は142万1,000円です。

48、49ページをごらんください。

最下段、国庫補助事業、3節 文化財保護費補助金538万4,000円は戦人塚改修工事に対する国庫補助金です。

62ページ、63ページをごらんください。

県補助金、8目 教育費県補助金の青少年対策費補助金は、放課後子ども教室推進事業費補助金855万4,000円です。補助対象経費のうちおおむね3分の2が補助されます。

68、69ページ、市町村事務移譲交付金ですが、これも2段目、例年どおり組み込まれております。

84ページ、85ページをごらんください。

雑入のうち生涯学習課分は、85ページ下から6行目の生涯学習課雑入から次ページ4行目のスポーツ振興くじ助成金までです。スポーツ振興くじ助成金は、勅使テニスコート改修事業に充てられます。

13ページに戻っていただきまして、第3表、地方債です。

下から3段目、体育施設整備事業です。先ほど説明しました勅使テニスコート改修事業に充てられます。

以上で生涯学習課所管の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 続いて説明願います。

条図書館長。

○図書館長（条 和広君） それでは、図書館所管の当初予算について御説明いたします。

予算書の230、231ページをお開きください。

10款4項3目 図書館費は、前年度より1,351万円増の1億936万2,000円でございます。

主なものにつきまして、事業別に御説明いたします。

231ページ、最下段、2 図書館活動事業は3,703万2,000円を計上しております。説明欄の最終行、司書業務等1,767万9,000円は非常勤一般職員の報酬でございます。

1 ページおめくりいただき、233ページをごらんください。

説明欄の上段、上から7行目、図書館資料購入費1,400万円は、一般書や児童書等の図書購入費などでございます。

次に、その下段、3 図書館維持管理事業は3,418万円を計上しております。説明欄、最終行、図書館営繕工事費277万4,000円となっており、施設等の維持管理に係る経費でございます。

以上で図書館所管の当初予算の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） それでは、資料請求のあった資料について説明したいと思えます。

資料ナンバー1の文化会館維持管理事業の指定管理料について、積算内訳及びそれらに相当する平成29年度予算額を比較できるものということがありましたが、今回用意させていただいたものは2行書いてありまして、指定管理料の積算につきましては、29年度は既に事業等が縮小しておりますので、積算については、26年からの3年間の数字の実績をもとに指定管理料は算出させていただいております。29年度と比べても、余り比べようがないものですから、活動しておりました28年度の予算書を提出させていただきました。その中で1点だけちょっと違うところは、人件費のところの正職員が、予算書は2,813万1,000円で計上されておりますが、実績が3,595万7,000円ですので、実績に基づいて指定管理料は計算しておりますので、ここの部分だけはちょっと実績を使わせていただきました。あとは、指定管理料の算出につきましては、指定管理にかかわる歳出額から指定管理料の中の歳入と思われる分を引かせていただいたものの残りの、一番下、9,232万6,000円で計上させていただきました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 会議の途中ですが、ここで10分間の休憩といたします。

午後4時26分休憩

午後4時36分再開

○予算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 済みません、48ページ、49ページに訂正がありますので、よろしく願いいたします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 49ページですか。

○生涯学習課長（高木安司君） 予算書の48、49ページをお願いいたします。

下段の、一番、文化財保護費補助金でございますが、大変申しわけありません、文化財の「財」を間違えておりますので。済みませんでした。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 10款 教育費について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 概要の49ページ、予算書の213ページ、事務局費、事務局人件費について願います。

職員数が13人、特別職1名、一般職12人となっています。昨年度までは9人だったと思いますが、9人から12人にふえた、この分は誰の分になるのか教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） こちらのほうの3人の増になりますが、今年度、29年の10月異動で、庶務係に1人職員が増になっております。30年度につきましては、機構改革のほうで、学校教育課のほうへ係が1つふえる予定をしております。そのところへ2人分が充てられている、そのようなふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 じゃ、次です。

49ページ、213ページは同じですけど、事務局費の中に学校プール開放事業があります。学校プール管理業務委託料とプール開放委託料を合わせると、合計で29年度比99万6,000円減になっていますが、この理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 30年度の学校プール開放につきましては、今年度と同様に、栄小学校と中央小学校、この2校のほうを開放し、あわせて民間のプール施設のほう、こちらのほうも今年度と同様、2日間開放する予定をしております。ただし、30年度にお

いては、小学校の開放日を、ことしは20日間だったのに対して、5日縮小した15日の開放ということで予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 概要49ページ、予算書217ページをお願いします。

教育振興費、教育振興事業についてですけど、ここに学校プール指導業務委託料が新規で223万1,000円計上されています。この内容について教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） こちらのほうは、豊明小学校のプールの授業を、民間のほうへお願いをする事業であります。豊明小学校のプールにつきましては、以前より地盤のほう下がっているという状況がございました。教育委員会でも、そういった部分で定期的に測量とかの実施をしておりました。また、専門業者のほうからも、少しお話を聞くような機会もございました。かつては線路側のほうに少し盛り土というか、そういった部分が流れた形跡があるものの、現在はすごく安定している状態ということで、業者のほうからは伺っております。

しかしながら、今後巨大地震等々の発生というのも、そういった部分に備えまして、今、プールにある水を抜いた形で地盤にかかる負担を軽減する対応というのをとっております。30年度からは学校のプールのほうを、民間のプール施設、こちらのほうを利用して、またそのインストラクターの補助も受けながらプール授業を実施していく予定です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 同じページ、概要49ページ、予算書217ページの教育振興費、教育振興補助事業についてお願いします。

この中に、食物アレルギー学校生活管理指導表作成補助金が30万円、新規で計上されています。どういう内容なのか御説明ください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） こちらのほうは、平成30年度より食物アレルギー疾患を持つ子どもさんの詳しい状況を把握するために、学校に提出をしていただいております学

校生活管理指導表、こちらのほうに係る文書料、こちらのほうを児童生徒1人当たり年間3,000円を上限に補助をするものです。アレルギー疾患の子どもを持つ保護者の方の支援、負担軽減のために、平成30年度より実施をするものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 217ページの、先ほどの学校プール指導業務委託料223万1,000円ですが、これは、積算根拠はどんなふうになっているのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 豊明小学校の児童は、おおよそですけども300人という形になります。学校のプールで行う授業のこま数というのは、年間で1学年に対して10こまをやっていただくという形になっておりますので、300人を10こま、民間の施設のプールを利用して授業を行うための積算という形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（済みません、ごめんなさいの声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 済みません、説明不足でした。

この中には、学校から民間施設へ行く輸送代も含まれての値段でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 概要49ページ、予算書219ページ、教育振興費、教育振興事務事業についてお願いします。

この中に、教員補助業務が45万5,000円ふえて4,014万円になっています。教員補助の方の人数は、29年度と30年度では17人で変わらないと私は思っていたのですが、45万円ふえた理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 教員補助につきましては、今、委員がおっしゃるとおり、平成30年度も17人体制の人数は変わりません。ただし、内訳のほうといたしまして、短時

間で働いていただくための教員補助員、こちらのほうは時給という形になりますが、その方が14人、あと、月額報酬で働いていただく方、こちら3人ということで積算をさせていただきました。その部分の差額で45万5,000円がふえたものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 概要の49ページ、予算書の221ページと225ページ両方にまたがって、学校管理費の中に小学校管理事務事業の光熱水費、中学校管理事務事業の光熱水費について書いてありますが、小学校の光熱水費が386万6,000円減、中学校の光熱水費が180万1,000円減の見込みで予算が組まれています。光熱費をこれだけ減らすことができるという見込みの根拠を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 学校現場につきましては、こちらのほうから常日ごろ省エネに努めていただいて、光熱水費を抑えていただくようにというお願いは毎年しているところであります。そういった部分で、年々、光熱水費のほうは減少傾向にあります。

また、一部小中学校の電気量に関しては、そういった民間のほうの電力を契約をしたりという努力もしております。また、このたびの耐震改修工事で、例えば体育館の照明等も、それまでの水銀灯のほうからLEDに変更をしたりという部分がございますので、そういった部分で削減が見込めるということで減らしたものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 概要の49ページ、予算書の221ページの学校管理費、小学校管理事務事業、電算関係委託料についてお願いします。

この小学校の電算関係委託料が181万5,000円減になっていますけど、この内容と理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 小学校へのタブレット端末の導入に伴って、1年目は使い方がなかなかわからないということで、ICT支援業務委託を行ってございました。こちらのほうは1年という形でやっておりますので、4校分が終了したことにより減額をする

に至ったものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。
(発言する者あり)

○予算特別委員長（近藤善人議員） ごめんなさい。

ほかにございませんか。

蟹井委員。

(一般質問で聞くこと、なくなっちゃうにの声あり)

○蟹井智行委員 概要の49ページ、予算書の223ページ、学校管理費、小学校管理事務事業の機器借上料についてお願いします。

ここに244万5,000円減の104万5,000円の予算になっているこの内容と理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 小中学校で使用している印刷機、こちらのほうを今年度リース契約をするということで上げたものでございます。ただし、今年度、こちらのほうの入札行為を行ったところ、見積もり徴集の段階で、かなり安価に購入ができるということがわかりました。こちらのほうを考えまして、今年度備品として購入をさせていただきましたので、その部分の借上料を減額させていただいたものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 同じページ、小学校の管理事務事業、管理用備品購入費が489万9,000円減になっています。同じく概要の50ページ、予算書の225ページ、中学校の管理事務事業、管理用備品購入費が250万3,000円も減になっています。小学校も中学校もこんなにたくさん減っている理由を教えてくださいと思います。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 市の予算執行が平成30年度から変わるという部分がございます。それまで購入価格1万円以上のものが備品だったものが、これが3万円になりました。ですので、備品購入費のほうから消耗品のほうへ移管した部分でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 概要の49ページ、予算書の223ページ、教育振興費、小学校教育振興事業の中に教材費があります。これが280万6,000円減になっています。同じく、予算書227ページの中学校の教育振興事業の中に教材費がありますが、これも62万1,000円減になっています。この理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） こちらのほうも先ほどの備品と同様、消耗品のほうへ移管をさせていただいたものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 213ページの事務局人件費、一般職員の給与が12人分になっていますが、29年度は9人でしたので3人増になりますが、その理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

（聞いたよの声あり）

○山盛さちえ委員 あっ、ごめん、聞いた。ごめん。

（発言する者あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 概要の50ページ、予算書の225ページ、学校管理費、中学校人件費についてです。一般職給が3人となっています。29年度は職員数が2人になっていましたが、どこの学校で1人ふえたのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 29年度は中学校の用務員、栄中と杵掛中に再任用の職員を2人配置をしておりました。30年度は3中学校、全ての中学校に再任用の用務員を配置するというふえております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 その関係で、225ページの学校管理費、中学校管理事務事業の学校用務員業務が105万円減ということになるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 議員がおっしゃるとおりです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書223ページと227ページで、まず223ページの小学校の図書の購入費用は29年度と比べると微減だと思うんですが、十分な図書が購入できるのかどうかというのが教えていただきたいと思います。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 学校図書の購入につきましては、一応入札を行いまして、定価よりも安く入れられるような形の契約を結ばさせていただいております。30年度も同じ形で予算執行する予定ですので、30年度も今年度同様、十分な図書が買えると思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 では、さっき言った223と227にまたがって、小中学校それぞれで、1つの学校で購入できる冊数はわかりますか。もしくは、わからなかったら全体の冊数でもいいです。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 済みません、少しお時間を下さい。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 予算書の231ページの一番上の表ですけども、上から2段目、とよあけ市民大学「ひまわり」補助金130万円ですけど、これ、確か平成26年から28年度までの3年間で自主運営に持っていくというようなことだったと思うんですけども、これを昨年同様に補助するという、こういう根拠は何でしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 3年間で一応軌道に乗せる予定でおったんですが、やはり今、かなり講座数も191講座で2,000人ぐらい受講しておるんですけど、なかなかこれぐらいでは、かなり一生懸命やっておるんですけど、なかなかそういった、そこだけで経済的にやっていけるということまでいきませんので、当分の間は、やはりこの30万円がないと事務運営ができないということで、入れていきたいというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 事務局人件費の3人増の件ですが、庶務が1人、29年の秋からふえたことはいいとしても、あと、係がふえるからということなんですが、30年からどういう係が、どういう業務についての係をふやす必要ができたのか、お願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 30年度から学校教育課にふえる係は、まだしっかりとしたものは出ておりませんので、名称の部分はやっと確実ではないんですが、施設に関する係、教育施設係、こちらのほうをつくって、こちらのほうの仕事につきましては、教育施設のマネジメントですとか、あと、文科省のほうからは学校施設長寿命化計画、こちらのほうが平成32年までにつくりなさいというお話がございます。こちらのほうの計画の作成のほうに当たってまいります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（関連での声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 公共施設のマネジメントとか長寿命化も今、進んで、30年度中に計画ができるんですけども、それとは別に、また教育施設って公共施設の中で教育委員会が持っている施設が非常に多いものですから、何かダブった感があるんですけど、もうちょっと説明してください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

加藤部長。

○教育部長（加藤賢司君） 今回、教育委員会のほうで策定を求めているのは、学校施設

の長寿命化計画ということでありまして、これは文科省のほうからつくりなさいというふうに言われていまして、これは平成32年までに必ず策定しなさいと。こちらについては32年なんですけども、実はこちらの策定をしないと国庫補助の対象が厳しくなるであろうと、そのような見解も伺っておりますので、それを私ども、32年を早めて、30年度に何とかつくりたいなと思っています。

ただ、基礎資料につきましては、現在、企画課のほうで公共施設白書とかそういうものを使っておりますので、そのデータを活用させていただいて、委託に出すのではなくて職員直営で策定をしていきたいと、そういうことも考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 予算書の49ページが一番下ですけども、文化財保護費の補助金の538万4,000円のうち、戦人塚の改修工事に当たるのはどれだけでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 全額でございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 清水委員。

○清水義昭委員 予算書の235ページになると思うんですが、歳出のほうで、戦人塚の改修工事に当たる費用というのはどれが該当しますでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） まず、戦人塚改修工事費966万5,000円と、あと、この中に入ってしまったおるんですけど、調査設計等委託料197万8,000円のうち、110万4,000円余りがその管理委託費になるもので、その合計が今回の対象事業費になります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 戦人塚の改修についてですけど、設計も工事も今年度で、30年度で予算計上されているということは、もう30年度で完了する予定ということでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 設計はもう既に終わっておって、今、説明したのは管理

委託費ですので、工事の管理委託、それで、工事自体は30年度で終わります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 今度は図書館のほうでして、予算書231ページ、図書館費の一番下の司書業務等費用が130万円増加しているのは、どういった中身でしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

条図書館長。

○図書館長（条 和広君） 司書業務等とは、図書館で勤務する非常勤一般職員の報酬でございます。本年度から再任用職員が1名減っております。その分について、非常勤一般職員を増員することによって補うものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（発言する者あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 先ほど郷右近委員から質問いただきました図書館のほうの図書の冊数なのですが、こちら、1冊1冊学校が買うものは価格が違いますので、本当に概算という形をお願いをいたします。小学校が約2,400冊、中学校のほうは約1,300冊で予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じく231ページの図書館人件費の上から5行目、超過勤務手当が昨年は90万でしたが今回200万計上していますが、何か開館日がふえるとか、どういった理由でしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

条図書館長。

○図書館長（条 和広君） 先ほどの答弁のところでも申し上げましたとおり、本年度から再任用職員が1名減っておりまして、その分、超過勤務がふえたことに対応するものでございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 済みません。さっきの続きで、同じように図書館のほうの資料購入費の図書を購入に充てると思うんですけど、1,400万円で29年度と同額なのですが、購入予定の本の冊数などわかったらお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

糸図書館長。

○図書館長（糸 和広君） 予算上でございますが、約6,000冊を予定をしております。ただし、昨年並みの購入を予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 概要の51ページの、ちょっと確認なんですけども、文化財保護事業の土地購入費1,761万、これ、大狭間湿地の土地の購入なんですけども、これ、通路を含めて全て購入したということではよろしいですか。途中の私有地とか、いろいろ道があると思うんですけども、その部分はどうなっているか、ちょっと教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） あくまでも大狭間湿地敷地内を今、借用しておりまして、そこの部分で通路までは購入しておりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 先ほどのふじえ委員が質疑した231ページの図書館活動事業、図書館人事費と、司書の業務等のところが昨年度の予算に比べて133万ふえています。委託というか、そちらのほうの人をふやしている分があって、なおかつ残業もふえるということなんではないか。また違う、全然違う業務をするということなんではないか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

糸図書館長。

○図書館長（糸 和広君） 超過勤務手当については、実績に伴うものを計上したものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 その業務のほうの下のほうで133万ふやしているんですけど、そこと業務が

違うということなんでしょうか。同じ業務の補助で入るのか、全然違うことをやるのか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

糸図書館長。

○図書館長（糸 和広君） 非常勤一般職の業務は主に受付カウンターで、本を、貸したり借りたりするものなのですが、同じく一般職員、正職員もそちらに入りますので、基本的には一緒になる部分もありますし、正職員でしかやらない部分もございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（関連での声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 要するに133万ふえるんですよ。133万円分の人件費の部分で、当然仕事を補うわけですよ。補ってもなおかつ残業もふえるというところは、そうすると非常勤の方の効果が出ていないんじゃないかともとれるんですが、その辺はどういうふうに考えればいいんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

糸図書館長。

○図書館長（糸 和広君） こちらの超過勤務手当につきましては、実績を見込んだものでございますので、別にダブるということではございません。

（発言する者あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 関連なんですけど、再任用の方が1名減をして、その分を残業手当で賄いたいという最初の回答で、もう一方で、司書業務等で1名非常勤の一般職員さんを、1名だと思ってるんですけど、増員されるんですよ。ですから、頭数でいけば再任用のかわりに非常勤一般職員を採用しているんだから、基本的には予算的にはそう変わらんんじゃないかという思いがするんですけど、そこは、どうして残業手当をふやすんでしょうか。時間帯が違うんじゃないですか、勤務時間帯とか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

糸図書館長。

（発言する者あり）

○図書館長（糸 和広君） 非常勤一般職については、窓口部分のカバーでございます。それ以外についてが、超勤分の実績に合わせたものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（ようわからんけどの声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 郷右近委員。

（ちょっと誰か回答しての声あり）

○郷右近 修委員 予算書223ページ、それから227ページの小学校、中学校の扶助費、就学援助の、まず基準が1.35で同じ数字かということと、あと、入学前給付を行うと思うんですが、その入学前給付を行う予定なのは、中学校の入学のみだったかを確認したいです。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） まず、就学援助につきましては、委員が言われるように、1.35以下ということで変わりはありません。また、入学前支給については、新しく小学校へ上がる児童と、新しく中学校へ入る生徒の分を予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 その支給時期は、おおよそ何月ごろを予定されるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） この支給時期については、何とかなるべく早い時期、できれば1月中ぐらいにはお支払いができるように努力をしてみたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 概要50ページ、予算書233ページ、図書館費、図書館維持管理事業についてお願いします。

先ほどの説明で、図書館営繕工事費は施設維持管理に充てるという話でしたけど、201万2,000円ふえている増額の理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

糸館長。

○図書館長（糸 和広君） 敷地内の照明灯の改修工事及び館内の監視カメラ取りかえ工

事を計上したことによるものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 245ページの、給食センターの残飯回収配送等委託料が去年よりも大分上がっておるんですけど、370万程度。これは、大幅に引き上がってる理由というのを説明願います。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） こちらのほうは、学校で提供している牛乳、こちらのほうが、現在は飲み残し牛乳については納入業者がそのまま持ち帰っておったということですが、平成30年度よりこちらのほうができないという結果になりました。基本的には飲み残し牛乳というのは、県のほうの一般廃棄物と産業廃棄物等に当たるという指摘もございましたので、こちらの飲み残し牛乳を運搬するためと処分するための費用を計上させていただいたものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 239ページの放課後子ども教室の関連でお願いします。

一番上の運営等業務の635万7,000円の前年度比200万くらい増したのと、それから、ずっと下のほうに来て、放課後子ども教室運営業務委託料の2,587万1,000円、これはおよそ300万くらいふえているんですが、それぞれの理由をまず教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 上段にあります運営業務、これは中央小学校分です。これを90日見た額が増の理由でございませう。

下の部分、放課後子ども教室の委託料のほうですが、これは三崎小学校を9月から今のところ開校をする予定で、週5日を想定した形で383万9,000円を増額したものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 予算書でいうと236、237ページになりますけれども、先ほど指定管理料

の資料を丁寧につくっていただいて、年度も28年度の数値を拾っていただいて、ありがとうございました。

それで、ちょっと三、四点お伺いいたしますのでメモリながら聞いていただきたいと思いますのですが、まず、正職員の欄、人件費のところ、28年度予算書では5名ということが備考欄に書いてありますが、このうち何名かが多分、文化行政関係で残るだろうと思うんですが、その人数は何人かということが1点。それから、五、六行下の光熱水費のところ、随分指定管理料のほうが減っておりますが、これは文化会館のLED化とか新電力とか、そういったようなことなのでしょうか。理由をお願いいたします。

それから、さらにまた五、六行下がりまして、舞台総合管理が直営の場合よりも指定管理で400万ほど少なくなっておりますけれども、舞台総合管理、今までと同じようなことをやっていかなければならないんですが、この辺が金額が下がっている理由を御説明いただきたいと思います。

それから、最後にもう一点、申しわけないですが、そこからまた六、七行下の事業委託費で、備考欄に市民フェスティバルとか呈茶会だとか、市民美術展とかいろいろ催し物の名称が書いてありますけれども、これが、これまで市の直営では1,400万かかっておったものが400万で済むということですのでけれども、こういった開催団体のほうには影響はないのでしょうか。

以上4点ですが、よろしく願いいたします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） まず、正職の人数からお答えいたします。

平成28年度も5名おりましたので、予算書も5名ですし、職員も5名で実績が出ております。職員が残るかどうかというのは、来週内示が出ますので。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 石川部長。

○行政経営部長（石川順一君） 文化会館については、予算上、29年度が正職3名、再任用1名、28年度は5名だったということですが、29年4名という形でございますが、これが生涯学習課のほうに移りまして、文化協会等の担当に1名という形を予算化しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 続けて、光熱水費の減について御説明します。

光熱水費につきましては、3月から新電力に切りかえておりますので、入札上、大きく

落ちるといふふうに考えております。新たに、今回、天井改修工事の中で、客席のほうをLED化しておりますので、それもコストが下がるんじゃないかなと考えております。1年目につきましては電気料金を精算させていただきまして、その金額が固まった段階で後の4年間を光熱費で上げていきますので、かなり安くなるというふうに、実績、出てみないとわからないんですけど、そういうふうに考えております。

あと、舞台総合管理が大きく落ちるんじゃないかという話もあるんですけど、これ、舞台総合管理だけではなくて、実績を見ながら若干、委託料については切り詰めております。今回、特に舞台管理を得意とする業者がとりましたものですから、大きくその辺の方が兼務されて事務もやられたりすると思っておりますので、この辺が大きく落ちてくるんじゃないかなと考えております。

文化事業でございます。これ、今まで私どもが自主事業としまして1,400万くらい組んでおりました。そのうち、市民に影響のある市民フェスティバルですとか市民美術展につきましては400万ほど費用を見て、これを受託事業として相手に委託で出します。で、向こうはこれを必ずやっていただく。あとの事業につきましては、普通のコンサート、そうしたものにつきましては向こうの自主事業として運営していただくということになっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 今、正職が28年度予算で5名で、指定管理になったら何名になるかということをお聞きしたい。今、30年度予算のことを言われましたので、指定管理になったら何名常駐していただけるか、教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 正職員は、この積算では2名で考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（常駐はの声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 3名でございます。済みません。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 後藤委員。

○後藤 学委員 関連で、済みません。

4つ目の質問の事業委託費のところ、1,400万が400万になった、そのうちの400万は市民フェスティバル等の事業の費用で、これは従来と同じという、そういうことですね。そうしますと、あと1,000万円分は、これまで文化事業に市がお金を出しておったんですけど、それはもうなくなって、この指定管理者の営業ベースでやるという、そういうことになるということですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） そのとおりでございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書215ページ、1項3目の教育振興費で、部活動外部指導者等謝礼費用300万円は、29年度当初予算より50万円減ですが、これは中学校の部活の外部指導者への謝礼ということでよかったのでしょうか。それと、名古屋市の最近の報道もありますけど、30年度も小学校の部活はやっぱりやるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） こちらのほうは、今、外部指導者につきましては、小学校のほうで7人、例えば太鼓ですとか、そういった外部指導者の方がお見えになります。残りの約95人ぐらいは、全て中学校のほうの登録者ということでございます。

小学校の部活に関しては、回数的には余り多くはございません。ただし、30年度も活動はしていくという予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 先ほどの、ちょっと答弁でつけ加えたいことがありますので、お願いいたします。

後藤委員から言われました、自主事業のうちの1,000万はどうかという話なんですけど、当然事業者のほうでやっていただくんですけど、そういった事業計画につきましても私どもに提出していただきますので、適正な運営をされるというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 同じく文化会館の件ですが、今度、歳入のほうの会場使用料のところを見ると……。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ページ数をお願いします。

○山盛さちえ委員 資料です。このいただいた資料。

施設使用料という、上から2つ目の枠ですが、28年と指定管理の金額を比較すると500万ぐらい違ってくるんですけど、これは施設使用料ということは、ホールだとか会議室とかを借りたときの使用料ですよ。これが500万も変わるというのはどういう積算になっているんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） あくまでも指定管理料のほうは実績で上げていますので、予算上こうやって組まれていますけど、実績で組むと1,500万ぐらいになるということで、この数字が出ております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 小中学校の英語の指導事業、215ページの下から3、2,166万8,000円があるんですけど、これは外国人英語指導助手として4名から6名の予算だと思んですけど、この2名増員という対応をされることによって、大体小学校の英語指導はそれでオーケーというか十分な対応なんでしょうか。それと、その先生2名プラスする2名の当ては、当てはあると言うと変ですけど、採用は、現状はどういうふうでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） こちらのALTにつきましては、業者のほうへ委託をしているところで、2名増をお願いしていくものでございます。平成30年度は、小学校の5、6年生が年間で50時間、3、4年生は年間で15時間の外国語の授業をやるという形になっておりまして、32年度の本格実施に向けて、こういったALTを増員させて補助をしていくものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほどお伺いしました予算書239ページの放課後子ども教室の件なん

ですが、直営と委託と両方合わせると500万ぐらいふえる、事業としては大きくなるんですが、国、県支出金は、前年度と比較すると半分ぐらいに減るんですよ、歳入のほう見ればそうなっているんですけど、それはどういう理由なんですか。お願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 3月補正でもお願いしましたように、今までは当初予算に全事業費を組み入れて、その3分の2を掛けるという形で入を計算しておりました。今回、余りにも大きな額を減額させていただいたものですから、あんまりよくないということで、今回は対象経費をなるべく精査できるだけ、まだ当初ですからはっきり全部はできないんですけど、その部分をかなり精査した状態で上げさせていただいたものから、かなり入が大きく下がったものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 放課後子ども教室はもっとずっと前から、もう何年もやっているんですけど、そのころからでも、こうやって対象以外の補助金を返還してきたんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） もらってはないものから、請求する額が少なかっただけで、返還はしていません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 ちょっと言葉のあやなんですけど、要するに予算よりも少なくいただくようなことが、過去においてもずっと続いてたということですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 減額して、幅はちょっと何とも言えんですけど、減額してきたというのが今までのあれです、読めないものから。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 続いて、済みません。

対象経費になるものとならないものという、そういうことで補助金を減らすというのはこの29年度補正から初めて何か具体的に聞いたという、ちょっと認識なので、ちょっと申

しわけないんですけども、通常3分の2を出していただけるという、そういうルールだったんですけども、対象になるものとならないものというのは、そんなにたくさんあるんでしょうか。それが、例えば民間に委託することによって対象外の事業がふえたとか、そういったようなことにつながっていることはないんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 補助対象かどうかというのは細かい色分けがあるんですけど、大きなところでいいますと、4時間勤務までは補助対象内で、4時間を超えた場合については補助対象外になりますですとか、あと、会議でも研修はならないとか、有給や何かで休まれたときの給与保障はならないですとか、実績になって初めて出てくるものもあるものですから、そういった形で、今までは大きな事業費の中に3分の2を掛けて算出しておりましたが、大体何%ぐらいというのは、大まかにはだんだん読めてきますので、今回そういった形で、絞った形で、今回計上させていただきました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（関連での声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 山盛委員。

○山盛さちえ委員 そうすると、対象経費以外のものでも、放課後子ども教室を運営していく上で必ず必要なものなのか、それとも対象以外は外すとか、やらずに済むようなものが入っているということはないんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 済みませんので、当然経費として入れさせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

蟹井委員。

○蟹井智行委員 概要の51ページをお願いします。

文化会館費が指定管理になるので、ほとんどの項目、ゼロになって、指定管理料だけ上がっているんですけど、真ん中辺に豊明市児童合唱団補助金、これもゼロになっています。豊明市児童合唱団は今後も活動を続けると思いますが、ここでの補助金は、今後どこから出るのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 文化芸術にかかわる次世代育成のための支援事業の一環で、指定管理者業者のほうから自主事業として提案を受けております。ですので、同様なそれ以上のものやっていたらいいんじゃないかなというふうに考えております。当然、経費については指定管理料以外でやっていただきますので、市にとってもメリットがあるんじゃないかなと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 最初のほうの質問で出てきたところの再確認なんですが、217ページの学校プールの指導業務委託と、221ページの下にあるスクールバスの委託料と、最初の学校プールのほうは、この223万1,000円のほうにバスの運行の費用が含まれるというふうに答弁があったんですが、221ページの小学校管理業務事業のほうにもスクールバスの委託料とありますが、これとはまた別なんでしょうか。また、別だったらどの部分のものが入っているんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 今、委員が言われたように、学校プールの委託料につきましては、輸送費と、そこを借りるための費用、あと、インストラクターのそういった補助事業、全て含んでの金額でございます。

もう一つ出てくるスクールバスに関しましては、これは今、とよあけ創生推進室のほうで行っている事業のほうを、学校教育課のほうへ移管をしたものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 申しわけございません。沓掛小学校の下校のためのバスの費用でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 概要の8ページですけれども、いっぱいありますけど、恐らく今までの

答弁を聞いていると同じようなことになるのかなと思いますので、代表して図書館についてだけ伺います。

31番目の図書館維持管理事業、これ、電気工作物保守委託、これが実績報告書の153ページでありますけど、これが、この年分は9万5,040円なのが予算では15万120円ということで、58%アップしています。平成27年の予算との比較でも11万3,400円でしたから、32%と大幅に上がっている理由。

それと、この次は非常に理想的な形になっているんですけど、空調設備保守業務委託は、平成27年の予算では245万1,600円だったのが、16%減の205万2,000円、これが長期継続契約の単年度の額なんですね。平成30年度の今回の予算はそれに1%だけふやした208万5,480円となっているわけですけど、ぜひ、ほかもこういうふうになるといいなと思っているんですが、ほかはなかなかできない中、今回ここではできている、特別な何か理由があるのか。

それから、その次の施設清掃委託、これは平成28年の決算実績報告書でいいますと374万7,600円、これが予算案では544万4,000円ということで45%アップしています。平成27年の予算との比較をしても395万6,000円でしたから、38%増と大幅アップになっている。この3つについて伺います。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

条館長。

○図書館長（条 和広君） まず、電気工作物保守委託につきましては、技術作業員の労務賃金の増加が原因になっております。それから、平成29年については契約実績の予算計上であったものが、平成30年は見積もり上限を計上したものでございます。

次に、空調設備保守委託業務につきましては、参考見積もりを徴集したところ、29年度の契約実績と変わらないものが徴集されましたので、その額を計上いたしました。

それから、施設清掃委託につきましては、清掃作業員の賃金の増加分が増加の要因、それから、電気工作物と同じく29年度は契約実績の計上、平成30年度は見積もり上限の計上の増加分。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ちょうど長期継続契約のところを開いていたんで、8ページの33番の施設清掃委託料なんですけど、これ、3年間の長期継続だと思うんですけど、これが初年度に当たるのかな、平成30年度が。これだけ支払額が多いような感じがするんですけど、この積算

根拠を教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

糸図書館長。

○図書館長（糸 和広君） 30年度のみ、栄分室のエアコン分解洗浄を行いますので、その分、30年度のみが増額になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

鵜飼副委員長。

○鵜飼貞雄委員 概要の33ページ、お願いします。

勅使テニスコートの改修事業なんですけど、余り詳しくないんで、わからないんで教えてほしくて、恐らくこの工事の中では排水性を高めるための下の土盤、下地づくりと、あと、サーフェスの砂入り人工芝、そういったものになってくるのかなと思うんですが、これの試算の内訳というか、わかればわかる範囲で教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

（発言する者あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 内訳をお願いします。

○生涯学習課長（高木安司君） しばらく時間を下さい。

○予算特別委員長（近藤善人議員） じゃ、後にします。

ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 同じページの、予算書でいうと245ページの体育施設費の上のところに設計監理等委託料512万円が計上されています。かなり、これ、体育施設の関連ですので、何のこれ、設計委託なんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） これは、勅使グラウンドの全面改修工事の設計委託料でございます。

（関連での声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 早川委員。

○早川直彦委員 これも第3次の実施計画書を見ると、翌年に1億2,000万ほど出ているのと、ほかにもキュービクルをかえたりとか、ネットをかえたりとか、附属のものもあると思うんですが、大規模な工事をするための設計の委託、その部分でもグラウンドの部分で

ということなのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） グラウンドの全面の土の入れかえ等がございまして、金額につきましては設計を終わってからじゃないと確定しませんので、工事費については概算で入っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございせんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 予算書の247の給食センターの備品購入費で5,187万3,000円の高額が入っているんですけど、これは第3次計画書を読みますと、学校給食で使用する調理器具の整備ということなんですけど、給食センターの中における備品の調理器具を入れかえるとか、新しく変えるという意味合いでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） こちらのほうは、栄調理場の食器を洗うための食洗機、こちらのほう、今あるものは平成5年に購入をしたものでございます。これと同じタイプのものを予算計上したものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございせんか。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 先ほど鶏飼委員からあった質問でございしますが、直工でするので、半分ぐらいに合計がなっちゃうんですけど、直工でいいますと、土工が300万ぐらい、舗装工事が3,800万、附帯工事が1,400万、撤去工事が300万で、600万ぐらいになります。あとは共通仮設費だとか、現場管理費、一般管理費を含めて、この金額になります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございせんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の関連で、同じ概要の勅使テニスコートなんですけど、ちょっと金額が大きいのでお聞きしたいんですけど、この勅使テニスコートは整備されて何年たっていて、利用状況、どのくらい利用されていて、今後使いやすいテニスコートに変えるかとい

う、もし年代層もわかればお願いします。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） しばらく時間いただきたいと思います。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 済みません、ついでに聞いておきます。

砂入り人工芝の耐用年数、どれくらいで見えていますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 10年と聞いております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 247ページの、先ほどの給食センターの備品購入ですけども、とても長く使っておられて、同じものを買いかえるという説明だったのでちょっと確認したいんですが、仕様を余り細かくしてしまうと高額になるというか、選択肢がなくなるということがあって、入札の、特に備品の場合の仕様のつくり方というのに工夫が必要だというのは何度も議会から指摘されていると思うんですが、この食洗機についてはどのような方法をとられるのか教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

馬場課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 洗浄能力については今と同程度のもので、あと、こちらのほうの栄調理場の施設のほうもかなり古くて狭い部分というのがございますので、その施設の中へおさまるタイプの機械を選定していきたいと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 概要の10ページの、物品の借り入れのほうの長期継続契約ですけど、これ、AEDを、これまでは単年度で使っていたというか、購入したものを、今回、長期継続契約でということなんですけど、この費用が、3月補正のときの立ち上がり消火栓の関係で、消防のほうで何基とかいう話があって、そのときに聞いてみたら、1器、AEDは20万円ぐらいだという話だったんですけど、今回リースで7年間で54万6,000円となって

いるんですけど、これは、例えば今まで屋内だったのを屋外にするとか、何か特別な理由があってこれだけの価格になっているんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 同様な形式で置くんですが、一応見積もりをとってやりましたが、またこれ、執行の段階で当然リースといえども購入の入札をやって、さらにリースの入札をやりますので、もっと適正に運用されると思いますので、一応このもとなになった数字は見積もりをいただいて、その中で出した数字でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） まだたくさんありますでしょうか。答弁漏れ。

（まだ幾つも、幾つかありますの声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 会議の途中ですが、ここで10分の休憩といたします。

午後5時38分休憩

午後5時48分再開

○予算特別委員長（近藤善人議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

高木課長。

○生涯学習課長（高木安司君） ふじえ委員からありました質問に、まだ答えておりませんので答えさせていただきます。

勅使グラウンドのテニスコートにつきましては、昭和54年の12月から供用開始でございます。28年度の利用実績につきましては、2万7,077人が利用しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 図書館の光熱費なので、何ページになるかな。概要じゃないほうで、予算書のほうで233ページですね。図書館維持管理事業の光熱水費ですけど、前の年と比べて2万3,000円しか下がっていないんですけど、照明をLEDにしたのもっと大きく下がってもよさそうなものですけど、何か、例えばほかに上がる要因があつて相殺されるとか、何か特殊な要因があるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

糸図書館長。

○図書館長（糸 和広君） 光熱水費につきましては、LEDの設置前に予算編成時期で

ございましたので、その効果が不明でございましたので、昨年同額、昨年の実績を計上させていただきます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） これにて、10款 教育費の質疑を終わります。

10款に係る職員については、静かに退席をお願いします。

（関係職員以外退席をなす）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 続いて、11款 災害復旧費について説明をお願いします。

鈴木課長。

○土木課長（鈴木英樹君） それでは、11款の災害復旧費について御説明いたします。

予算書の246、247ページをお願いいたします。

下段の1項1目 農業土木災害復旧費は、農業土木災害復旧工事費として頭出しとして5万円を計上しております。

248、249ページをお願いいたします。

上段の2項1目 道路河川災害復旧費は、道路及び河川災害復旧工事費として頭出しとして5万円を計上しております。

続きまして、歳入の説明をいたしますので、48、49ページをお願いします。

13款2項4目 農林水産業費国庫補助金と、その下、5目 土木費国庫補助金につきましては、事業費の3分の2が県と国から補助されますので、3万3,000円ずつ計上しております。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。

11款の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） これにて11款の質疑を終わります。

続いて、12款から14款までについて説明願います。

伊藤財政課長。

○財政課長（伊藤正弘君） 財政課所管について御説明申し上げます。

予算書248ページ、249ページをお願い申し上げます。

12款の公債費であります。公債費は1目 元金と2目の利子から成ります。元金のほう

は前年度より6,889万円の増額となります。主な要因といたしましては、償還が終了する市債で4,764万6,000円の減、償還が開始となる市債で1億914万6,000円の増となります。この差額となります6,149万8,000円、これが要因となるものでございます。

新たに償還の開始となる市債の主なものといたしましては、平成26年度債の臨時財政対策債5,126万6,000円や、平成28年度債の学校施設改修工事1,125万4,000円などがございます。

一方、利子につきましては、前年度より1,442万4,000円減しております。この主な要因は、償還が終了するものや元利均等償還が進みまして、元金に対して利子が減少するもの、また、利率見直しによる減少などがございます。

続きまして、同ページの下段をお願い申し上げます。

13款の諸支出金であります。基金の積み立てでございます。財政調整基金積立事業31万1,000円から減債基金積立事業1,000円までは利子のみの計上となっております。利息は0.01%で積算しております。

続きまして、250ページ、251ページをお願い申し上げます。

14款の予備費でございます。予備費は3,000万円を計上させていただきました。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 説明は終わりました。

12款から14款までについて質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） これにて12款から14款までの質疑を終わります。

一般会計の各款別の質疑が終了しましたので、総括的な質疑を行います。

質疑のある方は挙手願います。

早川委員。

○早川直彦委員 資料2をもとに、全体的についてお伺いしたいのでよろしくお願ひします。

資料2の②で、29年度が528とありますが、これ、例えば消防がなくなるということで比べると528から78引くと450となります。30年度は消防がないですので451と、29年度と30年度、消防を除くとプラス1名というふうになっています。

金額でいうと、消防の部分を29年度引いて、30年度と比較すると2,500万ほど減っていると、これは、答弁では給料の高い人が退職することによって減っているというのがあったんですが、1人ふえるということで間違いはないのかどうかということと、3番目の非常勤

の一般職員の人数と人件費、こちらも29年度と30年度と比較すると24人ふえます。人件費は両方の差が663万円ほどふえていると、非常勤のほうがふえているという形になります。人数は1人ふえ、プラス非常勤も663万ふえるということ、また、残業につきましては資料2の4のところの超過勤務があるんですが、こちらは市民生活部、選挙の関係も機構改革の部分もということなんですが、2,500万円は減っているけど、市民生活部に關するところは残業がふえているというふうにありました。

これを、予算ベースですので、実際は人事が発表されて形が決まると思うんですが、人事の関係で人を減らすということが現状ではなかなか難しいのか、私、消防が減って、若干減るのかなというふうには思ったんですが、余り減ってなく、非常勤のほうもふえてますので、その辺はどういうふうに捉えればいいんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川部長。

○行政経営部長（石川順一君） まず、職員数でございますが、平成29年の予算上は497名、それが消防のほうが減っておるんですが、正職74名と再任用4名で78名減となっておりますので、実質は消防の減を引くと419名でございます。420名、正職としては1増で、31名の再任用職員はそのままという形でございます。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（総括、総括の声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 地方交付税と臨時財政対策債について、ちょっとお聞きします。

愛知県内だけで結構ですけれども、地方交付税の交付団体で臨財債を發行せずに財政運営している団体はあるのかどうか。また、もう一点は、地方交付税は受けているけど臨財債の借り入れをしていない団体が、借入限度額まで、かなり少ない団体があるのかどうか、これ、把握しているか伺いたいと思います。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

伊藤財政課長。

○財政課長（伊藤正弘君） 少しお待ちください。

普通交付税の交付団体で、臨時財政対策債を發行していないということですのでよろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○財政課長（伊藤正弘君） ということで申し上げますと、県内では、ほぼ満額の發行をほとんどの団体がしておりますが、2団体、4割ぐらいの發行にしているところと、全く

発行していないところと、それぞれ1団体ずつありまして、その2つは2つとも交付団体であります。本市と同じように交付団体でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 問題がなかったら、どこの団体か、これは言えますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁をお願いします。

○三浦桂司委員 4割ほどと申し上げたのは瀬戸市さんでございますのと、全く発行していない団体と申し上げたのは半田市さんでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 発行していない理由というのは、当市はつかんでおりますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁をお願いします。

伊藤財政課長。

○財政課長（伊藤正弘君） 瀬戸市さんにつきましては、今、申し上げた数字は直近の決算値でございますので、平成28年度の数字になります。で、資産の売却があったというふうに聞いておりますので、恐らく振り替えて臨財債を発行しなかったのではなかろうかという推察が成り立つところでございますのと、もう一つは、半田市さんにつきましては、もともと非常に市債の残高が高い時期があって、発行をとめているというふうに聞いております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 済みません、さっきの数字が、石川部長の説明がちょっとよくわからなかったんですが、またちょっとお聞きしますが、419という数字、説明がされたと思うんですが、そうすると30年度と比べて、29年度、実質消防を除いたら何人ふえるということなんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁をお願いします。

石川部長。

○行政経営部長（石川順一君） 実際の数字で申し上げますと、消防の部分の正規職員74名でございますので、全体497名から74名を引いた423名正職、それから、再任用は31名で

消防4人がかわりますので27名、合わせて460名という形になります。

(発言する者あり)

○行政経営部長(石川順一君) それで、30年の予算は、正職が420名と再任用が31名の451名でございます。

○予算特別委員長(近藤善人議員) ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 補助金等の一覧表ありがとうございます。

全部で128の交付金とか団体等への予算ですけど、この中で、まず、2点お伺いしたいんですけど、1点目は、この補助金の中には原資が、国とか県があろうかと思えます。金額はいいんですけど、どこの団体なり事業が、県とか国からの軍資金が入っているところ、原資が入っているところの項目をまず教えていただきたいのが1点と、もう一つは、この一覧表の中で、前年度の対比は右側の比較を見ればわかるんですけど、その中で、とりわけ30年度の予算の中で、特徴的にこの事業なりこの団体、事業の中では市が事業費として補助するものとか運営費補助等がありますけれど、予算対比の中で特徴的に減らしたとかふやしたとかという、補助金とか交付金の特徴的なところだけでいいですので、説明をいただきたいと思えます。

○予算特別委員長(近藤善人議員) 答弁願います。

伊藤財政課長。

○財政課長(伊藤正弘君) まず特定の財源を持った補助金があるかどうかという御質問でございますが、この資料の冒頭での説明の際に、ちょっとシステム上、しっかりそういうひもつきの管理ができておりませんという話を申し上げたんですけども、私どもで査定をさせていただいておるものですから、そのときに手で記録をしております。

その手の記録をちょっとひもといている数字というのがありまして、22件ほどがこの表の中で特定の財源を持っているというふうに把握をしております。

どんなものかということをお願いしたほうがよろしいと思えますので申し上げますと、この表でいきますと、順に申し上げます。5番、6番というような申し上げ方でもよろしいでしょうか。

(はい、結構ですの声あり)

○財政課長(伊藤正弘君) 5番、6番、24番、28番、40番、41番、43番、48番、49番、50番、51番、58番、60番、64番、66番、71番、72番、裏に行きまして87番、90番、92番、102番、一応以上でございます。

それと、2つ目の特徴的なものということで、今、委員おっしゃっているところからし

ますと、団体補助の運営費補助というような性質のものが、私どもも分類はかけておりますので、この分類でいきますと、アのBみたいなものが、団体でありかつ運営費補助というような性質のものでございまして、その中での増減というところで少し申し上げますと、19番の、ちょっと順序があちこち行くかもしれませんが、19番で、これは廃止しております、目的を達したということで。ただ、啓発事業自体の活動はこの補助がなくても継続されるということが確認できましたので、廃止しております。

それと、94番は、これは尾三に移動したものでございます。

それと、先ほど9款のほうで若干出ましたけど、96番の少年消防クラブ交付金、これも同じように、補助はなくても教育現場のほうで啓発活動が継続できるという確認がとれましたので、補助事業としては終了させてもらっております。

あと、122番の児童合唱団補助金、これは先ほど10款でありました指定管理となる中での再編が検討できるということで廃止させてもらっております。

あと、文化協会の123番、その下でございまして、これは活動が終了しておりますので閉じておるといようなこと、さらに増減ということで、今、申し上げたのが閉じたものでございました。

あと、増減で申し上げますと、大きな増減ですと、20番の社会福祉協議会の運営費補助金が減額が大きいということ、これは人員に張りついた増減が起こる補助事業でございまして、そういうことです。

あと、25番シルバー人材センター、ここについては逆に増しておりますが、これも人員に張りついて増減しております。それと、40番の放課後児童健全育成事業補助金は、民間児童クラブの方々の補助事業でございまして、その費目の内容によって増減が生じるというようなところでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 もう既に答弁があつて、重複になってしまうかもしれないですが、申しわけないですけど、資料ナンバーの2のところ、超過勤務手当、各部の資料ですけど、おおむね全体で減っているんですが、この全体的に減っているという、そのもとの理由は、予算書でいう252、253のところのように、再任用職員や非常勤一般職員が増加していたりして各部に増員が図られているので、事務作業量なんか1人当たり少し短縮されるからというふうに認識しているんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

平下課長。

○秘書広報課長（平下義之君） これ、例えば前年度の超勤よりも2億4,000万ぐらい多いんですけど、これは消防の分を除いた分で、あとの残りは同じですので、再任用でもありますが、全般的に抑えて、今年度と同様というふうに考えています。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございますか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 あと、細かいところなんですけど、その中で市民生活部が超勤手当はふえているんですけど、これは、そういった増員が市民生活部の中でもそれぞれの部署であったと思うんですが、それでも何か新たな業務なんかがあるからでしたっけか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

平下課長。

○秘書広報課長（平下義之君） 税務課と債権管理課というのができたんで、市民生活部はふえました。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

後藤委員。

○後藤 学委員 資料請求は特にしなかったんですけど、都市計画税のことでちょっとお伺いしたいと思います。

先ほど都市計画事業の下水の繰出金のところで、都市計画税の充当部分が幾らかというふうにお聞きしたら、それは決算のときだというような御回答だったんですけど、予算のときにも目的税として都市計画税を徴収して予算に上げていますので、該当になる街路・公園・下水ですか、に配分しておると思うんですが、大まかでいいですが、街路・公園・下水の大まかでいいですので、どんなふうに配分しているか、今、数字が出せれば教えていただきたいと思います。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

伊藤財政課長。

○財政課長（伊藤正弘君） 申しわけないんですが、その割合といいたいでしょうか、配分の割合というのはちょっと、今、現状つかんでおりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

三浦委員。

○三浦桂司委員 概要の2ページにあるんですけども、総括のほうがいいと思ひまして、繰入金の8億1,083万2,900円の部分で財調が7億8,000万、教育基金が1,300万、公共施設

基金が1,000万、水上太陽光が1,083万と聞きました。

財調の部分についてお聞きします。30年度の財政調整基金と将来負担比率について、財調基金を標準財政規模の10%に想定して試算すると、将来負担比率というのは何%悪化するか、これ、昨年質問でも18%という回答がありましたけども、今年度は何%か試算してありますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○財政課長（伊藤正弘君） 昨年度申し上げた数字でほぼ変わらない動きになるというふうに思っておりますので、もし基金の積み立てができないとすると、将来負担比率が1.5%下がると申し上げた記憶がありますのと、それによってまたさらに、今、三浦委員おっしゃられたように、標準財政規模の10%に基金がなっていたらどうなるのかということ、18.5%、今より下がりますと申し上げた記憶がございますので、マイナスの21%という今、いい状況、黒字の状況になっておりますから、かなり一気にゼロに寄っていくというような、それでもまだ黒字のエリアにはおりますので、全国的に見ると健全な状況にはあると思うんですが、それが今の、1年後にしたところとしても同じような形になるかと思われま。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（関連での声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 財調の部分ですけど、基金ですが、これも30億という数字がちょっと多過ぎるんじゃないかと、減額されないかと、国の補助金が、そういう心配の声がありましたけども、県内市町と比べて財政調整基金がどの位置にあるか、これ、わかりますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

伊藤財政課長。

○財政課長（伊藤正弘君） ちょっとだけお待ちいただきますと……。財政調整基金のほうは額で並べますと、団体の規模によって、大きさがそれぞれで、余り意味がなくなってしまうので、先ほど申し上げた標準財政規模の占める割合ということで並べてみました数字を持っておりますので、それを申し上げますと、豊明市は今、9位ということで、標準財政規模の23.7%というところにおります。ですので、37団体中9位というところにおります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 いただきました資料ナンバー2の③の非常勤一般職員の人数と人件費という表でお伺いいたしますが、29年、30年で産休とか育休とか病休とか、そういった方の代替要員として採用されている人数がわかれば教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

平下課長。

○秘書広報課長（平下義之君） 30年度の休職職員の代替は16人です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 29年と比較したいんですが、29年、わかりますか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

平下課長。

○秘書広報課長（平下義之君） 29年は20人です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 済みません、先ほどの補助金で1点だけ、もう一度再質問したいんですけど、例えば、先ほどの県か国かのこのひもつき財源が入っている番号を言っていたいたんですけれど、例えば67番の土地改良事業等補助金で、金額は10万円なんですけど、こういうこの類いは、例えばこの予算書でいくと、59ページに同じ名称で土地改良事業費等補助金、これ、金額全然違いますけど、2,013万5,000円なんですけど、この国の補助金と市が行っているこの土地改良等事業補助金とは、これはまた別物ということで、そこから、国からの予算は入っていないという理解でいいんですか。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○財政課長（伊藤正弘君） 入ってないというふうに認識しております。67番につきましては。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほど、早川議員が質問しました正職のほうの人数なんですけれども、なかなかちょっと数字が書きとめられなかったということもあるので、ここに資料出していただいたのは予算上の人数ということで理解するんですが、多分、実数のほうで497人のところ消防を引いてどうのこうのという説明があったと思うので、29年と30年の実態というか、実数の部分でもう一度、ゆっくり説明してもらっていいでしょうか。30年新規採用、それから退職、そういった関係もわかればあわせて教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川部長。

○行政経営部長（石川順一君） もう一度、予算ベースでございしますが、29年4月が正職497名、平成30年4月の当初予算では420名、77名の減員でございします。再任用につきましては31名で、変わりはありません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございせんか。

富永委員。

○富永秀一委員 さっきフライングで聞いちゃったことをちょっと。

予算書の252、3のところですけど、その他特別職というのは、前に90人減って、今回その他特別職94人ふえているんですけど、これ、どういう人たちということになりますかね。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川部長。

○行政経営部長（石川順一君） ふえた部分でございしますが、選挙の関係と統計調査員、住宅土地統計調査によるものでございします。内訳ですけども、住宅土地統計調査で71名、選挙の関係で30名ほどということでございします。

終わります。

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございせんか。

山盛委員。

○山盛さちえ委員 先ほど聞いた件ですが、29年の4月1日で497人で、30年の4月1日で420人って今、言われたと思うんですが、そうすると77人減ということになって、消防が74人でしたか、そうすると消防以上に人数が、何でどこが減ったのかちょっとよくわからないんで、教えていただきたい。

で、それに対して、このいただいた資料、451人というのはその420と再任用31を足した人数ということで、これは合致しているという、そういうことですよ。あと、さっき言いました新規採用と退職はわかりますか。この29年度、何人退職して何人採用するかとい

う部分が、わかったら教えてください。

○予算特別委員長（近藤善人議員） 答弁願います。

石川部長。

○行政経営部長（石川順一君） 正職だけで申し上げますと、先ほど497名でございますが、そのうち消防が減った部分が74名ですので423名、で、それ以上に3名減って420名になるんですけど、この3名につきましては、給食センターの調理員のほうが退職で減員しておるといふことでございます。

まだ今年度の退職者と採用者については、ちょっと申し上げられないので、申しわけございません。

（採用は言えるんじゃないのの声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 以上で総括的な質疑を終わります。

以上で一般会計の質疑を終結します。

本日の予算特別委員会はここまでといたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○予算特別委員長（近藤善人議員） 御異議なしと認めます。よって、本日の委員会はここまでといたします。長時間御苦労さまでした。

午後6時22分散会